

令和 7 年度

市民アンケート実施結果

報 告 書

令和 7 年 8 月

鹿角市総務部政策企画課総合戦略室

目 次

I	実施概要	3
II	回収状況	4
III	調査の総括	5
IV	設問別集計結果	17
1	市の政策について	18
2	運動の実施状況について	28
3	中心市街地について	30
4	学校の統廃合について	32
5	公共交通について	34
6	観光資源や魅力について	37
7	大館能代空港の利用について	40
8	カーボンニュートラルについて	44
9	コモッセの利用状況について	45
10	芸術鑑賞について	46
11	男女共同参画について	48
12	十和田高校跡地の活用について	50
13	まちの満足度について	52
14	自由意見	59
資料	令和7年度市民アンケート回答票	75

I 実施概要

1 実施目的

政策評価の一環として、第7次鹿角市総合計画の成果指標に係るデータを把握するとともに、各施策に対するニーズ（需要）を調査・把握し、今後の政策推進に活用するほか、広聴の一環として市民の意見を市政に反映することを目的とします。

2 設問構成

設問	設問の趣旨	担当課
1 あなた自身について	居住地区、性別、年代、職業の確認	—
2 市の政策について	第7次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略における取組方針毎の満足度と重要度の把握	政策企画課
3 運動の実施状況について	運動や生活活動の頻度とその時間の把握	スポーツ振興課
4 中心市街地について	中心市街地の生活環境に対する満足度と不満要因の把握	政策企画課
5 学校の統廃合について	学校の再編を進めることに対する意向とその理由の把握	総務学事課
6 公共交通について	バス（予約型乗合タクシーを含む）または鉄道の利用頻度と外出目的及び日常生活で公共交通に不便を感じている人の割合	生活環境課
7 観光について	提供する必要のある観光コンテンツについて 観光により本市の地域経済が発展していると感じる割合 観光により本市の伝統や文化が守られ、生かされていると感じる割合	産業活力課
8 大館能代空港の利用について	大館能代空港の利用割合及び運賃助成制度の認知度の把握	産業活力課
9 カーボンニュートラルについて	「2030ゼロ・カーボンシティ宣言」の認知度	産業活力課
10 コモッセの利用状況について	コモッセの利用状況の把握	生涯学習課
11 芸術鑑賞について	芸術鑑賞した割合の把握	生涯学習課
12 男女共同参画について	男女の地位は平等になったと感じる割合及び性別役割分担意識に対する意識調査	生活環境課
13 十和田高校跡地の活用について	跡地活用に対する考え及び跡地活用の方向性	政策企画課
14 まちの満足度について	まちに活力や魅力、快適な環境があると思う方の割合の把握	政策企画課
15 自由意見	市に対する提言、改善要望 第7次総合計画後期計画に望むことなど	—

3 実施期間

令和7年5月29日（木）～6月13日（金）まで

4 実施対象

令和7年5月末時点で住民基本台帳に登録されている方のうち、無作為によって抽出した満年齢18歳から74歳までの市民900人。抽出にあたっては性別、年齢、地域条件を考慮し均衡を図ったほか、令和4年度から令和6年度までの市民アンケート調査対象者を除いています。

5 実施方法

- (1) 配付 自治会長及び広報等配布員による配付（一部郵送）
- (2) 回収 郵便（受取人払い）による回収及びインターネット回答による受付

II 回収状況

1 回収率

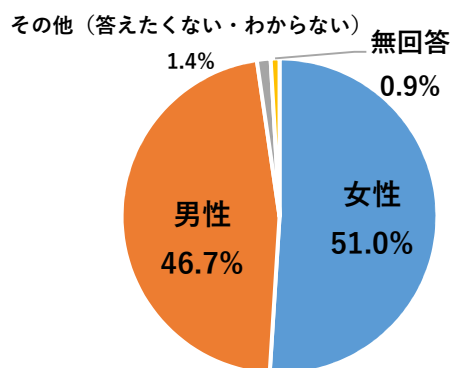
48.6%（437 人／900 人） ※令和 6 年度の回収率 52.1%（469 人／900 人）

2 回答者の属性

市民アンケートの属性別の対象者数、回答者数及び回収率は次のとおりです。構成比¹は、その区分の対象者（回答者）が全対象者（回答者）のうち何%を占めているかを表しています。回収率²は、その区分の対象者数のうち何%³が回答を寄せたかを表しています。

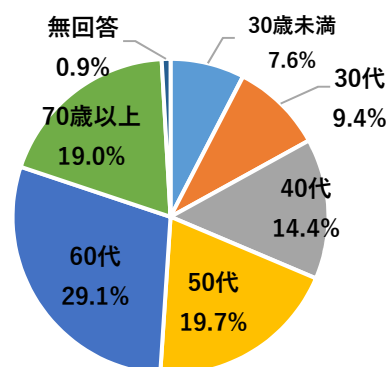
(1) 男女別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
女 性	434	48.2%	223	51.0%	51.4%
男 性	466	51.8%	204	46.7%	43.8%
その他			6	1.4%	
無回答	-	-	4	0.9%	-
計	900	100%	437	100%	48.6%



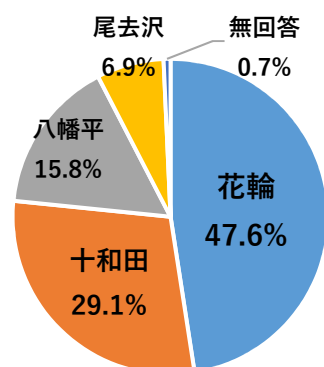
(2) 年代別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
30 歳未満	99	11.0%	33	7.6%	33.3%
30 代	98	10.9%	41	9.4%	41.8%
40 代	167	18.5%	63	14.4%	37.7%
50 代	178	19.8%	86	19.7%	48.3%
60 代	225	25.0%	127	29.1%	56.4%
70 歳以上	133	14.8%	83	19.0%	62.4%
無回答	-	-	4	0.9%	-
計	900	100%	437	100.1%	48.6%



(3) 地区別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
花 輪	428	47.6%	208	47.6%	48.6%
十和田	296	32.6%	127	29.1%	42.9%
八幡平	109	12.2%	69	15.8%	63.3%
尾去沢	67	7.6%	30	6.9%	44.8%
無回答	-	-	3	0.7%	-
計	900	100%	437	100.1%	48.6%



¹ 構成比 = その区分に属する対象者数（回答者数）÷ 全対象者数（全回答者数）

² 回収率 = その区分に属する回答者数 ÷ その区分に属する対象者数

³ 各設問における項目選択の割合（%）は、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合があります。

Ⅲ 調査の総括

III 調査の総括

1 市の政策について

▶ 詳細分析 P 18

(1) 市が進めている取組に対する満足度

順位	取組方針	満足度 スコア	回答者の割合						
			満足 (5)	やや満足 (4)	普通 (3)	やや不満 (2)	不満 (1)	わから ない	無回答
1 位	⑬ごみの適正処理と資源 リサイクルの推進	3.27	10.1%	19.7%	54.7%	7.6%	3.4%	3.0%	1.6%
2 位	④心身の健康づくり	3.20	8.7%	17.8%	53.5%	6.9%	4.8%	5.3%	3.0%
3 位	⑯火災や救急に対する 体制強化の推進	3.16	4.3%	14.0%	60.4%	5.9%	1.6%	11.9%	1.8%
4 位	⑳スポーツの力で まちの魅力向上	3.06	4.6%	13.7%	54.9%	8.5%	4.6%	12.1%	1.6%
5 位	⑩衛生的で良好な 生活環境の確保	3.05	8.7%	12.6%	52.6%	12.6%	6.4%	5.3%	1.8%

市が進めている取組に対する満足度として最も高い評価を得たのは、「ごみの適正処理と資源リサイクルの推進」です。ごみの分別や減量化に関する継続的な意識啓発により、市民の環境意識が高まったことが挙げられます。さらに、分別方法が比較的簡便で、日常生活において大きな負担を感じさせない点も、市民の満足度向上に寄与していると考えられます。

2 番目は「心身の健康づくり」です。各種検診や感染症予防対策などの取組が充実していることに加え、RIZAP との連携による健康づくり事業等の実施を通じて、市民の健康意識の向上が図られた点が評価されたものと考えられます。

3 番目は「火災や救急に対する体制強化の推進」です。迅速な出動態勢の整備、救急搬送の迅速化といった取組みにより、安全・安心な暮らしを支える体制が着実に整っている点が評価されたものと考えられます。

4 番目は「スポーツの力でまちの魅力向上」です。国民スポーツ大会など全国規模の大会の開催や、総合競技場をはじめとする充実したスポーツ施設の整備・活用が、市民から評価されたものと考えられます。

5 番目は「衛生的で良好な生活環境の確保」です。水洗化の着実な普及や、安全な水道水の安定供給が評価されたものと考えられます。

(2) 今後のまちづくりに対する重要度

順位	取組方針	重要度 スコア	回答者の割合						
			重要 (5)	やや重要 (4)	普通 (3)	あまり重要 でない(2)	重要でない (1)	わから ない	無回答
1 位	⑤適切な医療を受けられる体制の整備	4.56	64.5%	17.2%	9.4%	0.2%	0.9%	0.9%	6.9%
2 位	②市民等の意欲のある就労・就農への支援	4.37	48.5%	26.1%	13.3%	0.9%	0.2%	6.4%	4.6%
3 位	⑦地域ぐるみの子育て支援の充実	4.36	51.0%	19.9%	16.7%	0.7%	0.5%	3.4%	7.8%
4 位	①地域産業の成長に対する支援	4.32	44.9%	26.5%	14.4%	0.9%	0.2%	7.6%	5.5%
5 位	⑦災害に強いまちの基盤整備の推進	4.14	38.0%	31.1%	23.6%	0.2%	0.2%	3.4%	3.4%

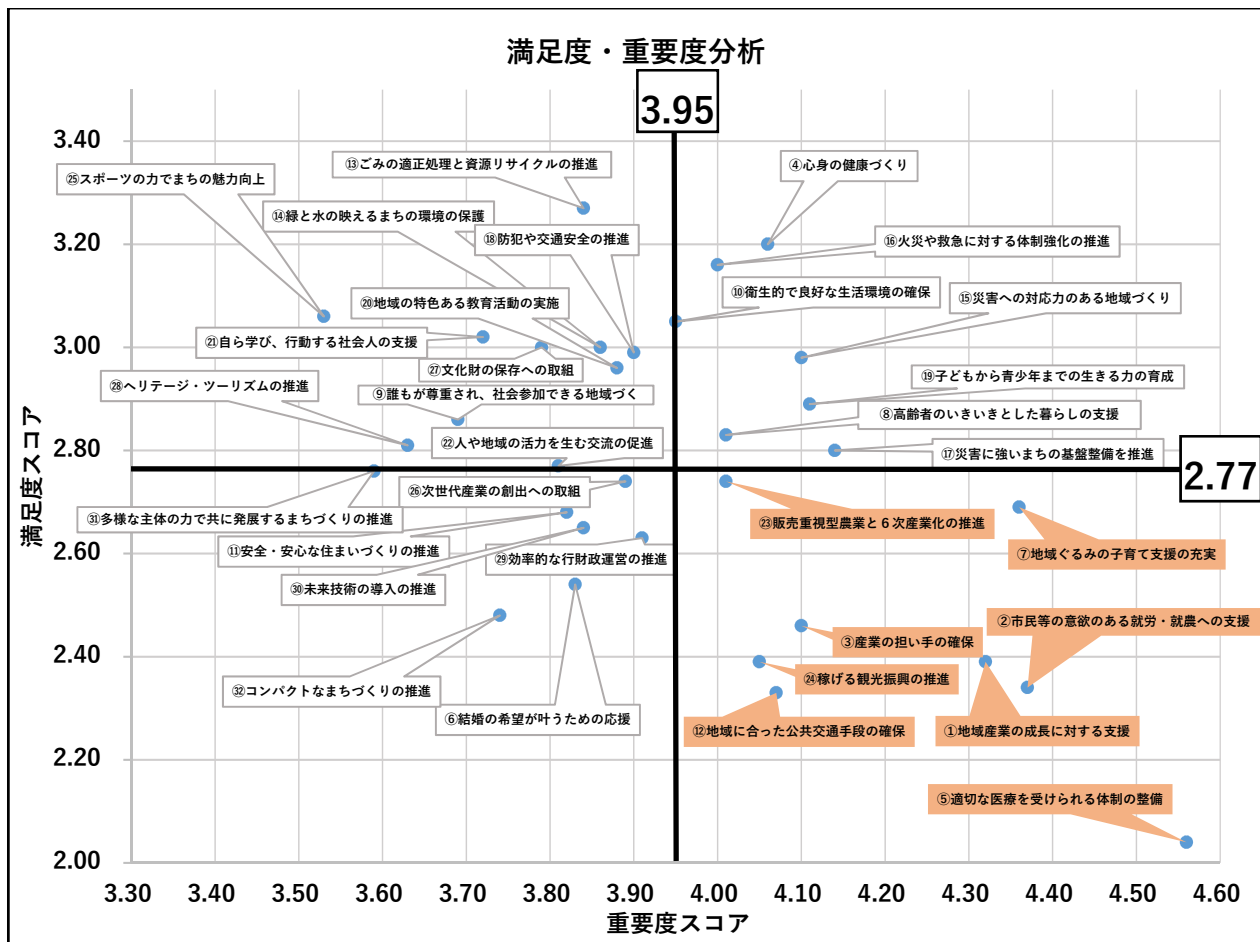
今後のまちづくりに対する重要度として、最も多くの市民に選ばれたのは「適切な医療を受けられる体制の整備」です。前年度と同様に、出産環境の整備や医師・看護師の確保を求める意見が多く寄せられました。

2 番目は「市民等の意欲のある就労・就農への支援」で、就労者の賃上げや、若者が働きたいと思えるような魅力的な職種の創出を求める意見がありました。

3 番目は「地域ぐるみの子育て支援の充実」で、子育て世帯への経済的支援や、雨天時や冬季でも安心して遊べる屋内施設の整備を求める意見が見られました。

4 番目は「地域産業の成長に対する支援」で、基盤産業である農業の振興をはじめ、産業間の連携強化や、地元企業を大切にしてほしいといった意見が寄せられました。

5 番目は「災害に強いまちの基盤整備の推進」で、近年の大雪を踏まえ、道路除雪の強化を求める意見が多く見られました。



本市の32の取組方針における「満足度」と「重要度」の回答結果からそれぞれの平均を求め、縦軸に満足度、横軸に重要度を取り、散布図として表しています。散布図では、「満足度」と「重要度」の平均値から4つの領域に分けることができ、特に右下の領域は市民の満足度が低く、かつ今後のまちづくりにとって重要度が高いと考えている「重点化領域」となり、重点的な改善が求められる分野となります。

満足度・重要度が共に高いのは、「④心身の健康づくり」、「⑧高齢者のいきいきとした暮らしの支援」、「⑩衛生的で良好な生活環境の確保」、「⑮災害への対応力のある地域づくり」、「⑯火災や救急に対する体制強化の推進」、「⑰災害に強いまちの基盤整備を推進」、「⑲子どもから青少年までの生きる力の育成」、であり、今後も重点的に取組を継続していく分野といえます。

一方、満足度が低く、重要度が高いのは、「①地域産業の成長に対する支援」、「②市民等の意欲のある就労・就農への支援」、「③産業の担い手の確保」、「⑤適切な医療を受けられる体制の整備」、「⑦地域ぐるみの子育て支援の充実」、「⑫地域に合った公共交通手段の確保」、「⑬販売重視型農業と6次産業化の推進」、「⑭稼げる観光振興の推進」の8項目でした。

人口減少が進み、若者の確保が難しくなっている中、本市の産業振興と産業の担い手を確保する分野については、市の重要な課題として捉えています。また、適切な医療を受けられる体制の整備についても、医師や医療従事者の不足が顕在化している中で、地域の暮らしを守るために必要な医療水準の維持を目指します。

2 運動の実施状況について

週 1 回以上の頻度で運動やスポーツを実施する市民の割合						▶詳細分析 P 28
基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
52.2%	52.8%	61.5%	57.0%	62.5%	55.9%	65.0%

(第3次鹿角市スポーツ推進計画成果指標)

日常的なスポーツ活動の実施率は 55.9% となり、前年 (62.5%) を 6.6 ポイント下回りました。チャレンジデーや各種スポーツイベントによる啓発に加え、個人でも取り組める運動の推奨を進めているものの、目標値 (65.0%) には届いていません。

30～50 歳代では実施率の大幅な減少が見られ、すべての働き盛り世代において顕著な低下が確認されました。この背景には、家庭や仕事との両立による時間的・心理的余裕の不足や、運動機会そのものの減少が影響している可能性があります。

これらの年代は将来的に生活習慣病のリスクが高まる傾向にあることから、このような減少傾向を軽視せず、早期の対策が求められます。今後は、ライフスタイルの多様化や年代ごとのニーズに応じた、より柔軟で参加しやすい運動機会の創出が重要です。

3 中心市街地について

中心市街地の環境に満足している市民の割合						▶詳細分析 P 30
基準値 (H30-R2 平均)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
53.6%	58.1%	55.9%	58.1%	55.9%	54.9%	60.0%

(鹿角市中心市街地活性化プラン数値目標)

「満足」「やや満足」と回答した割合は 54.9% で前年を 1.0 ポイント下回りました。

基準値である 53.6% をわずかに上回ってはいるものの、令和 3 年度の 58.1% をピークに、近年は減少傾向が続いています。

満足していない理由については、公共交通の本数や路線が少なく利用しづらいこと、駐車場の不足が多く挙げられています。また、商店街の空き店舗の増加や若者向け店舗の減少により活気が失われ、買い物の不便さも指摘されています。さらに、公共施設が分散しているため移動が不便であり、さらなる集約化を望む意見が多くありました。加えて、子どもや若者向けの遊び場や屋内施設の不足についても、改善を求める意見が見られます。

特に、女性や若年層における満足度の低下が顕著であり、今後はこの層に配慮した施策の検討と対応が求められます。

4 学校の統廃合について

学校の統廃合が必要だと感じている人の割合	83.1%	▶詳細分析 P 32
----------------------	-------	------------

「統合したほうがよい」または「統合することもやむを得ない」と回答した割合が 83.1%となりました。その理由として、少人数では教育活動や部活動に支障が生じることや、集団での学びや成長の機会が得られるようにするために一定規模の児童生徒数を確保する必要があることなどが挙げられました。

一方、「統合しないほうがよい」と回答した割合は 12.4%となりました。その理由として、再編統合により通学距離が延びることで保護者の負担が増えることや、地域から学校がなくなることで地域の活気が低下することなどが挙げられました。

回答者の多くが学校の再編統合の必要性について、一定の理解を示していると捉えられることから、今後、本市の次代を担う児童生徒にとって望ましい教育環境を整備するため、学校の再編について検討していきます。

5 公共交通機関の利用について

数年間、公共交通を利用したことの無い人の割合						▶詳細分析 P 34
—	R2	R3	R4	R5	R6	—
—	70.8%	—	—	—	77.8%	—

(地域公共交通計画参考指標)

公共交通に不便を感じる市民の割合						▶詳細分析 P 36
—	R2	R3	R4	R5	R6	—
—	20.2%	—	—	—	22.4%	—

(地域公共交通計画参考指標)

日常の移動手段として自家用車を利用している人が 9 割以上いると考えられ、利用時間や行先に制限のない自家用車と比較して、制限の多い公共交通は不便と感じている人が多くなっています。

運行本数の増便を望む意見が多いものの、利用者の減少とともに運行本数も減便せざるを得ない状況から、今後の増便対応は難しい状況にあります。

また、公共交通を必要とする人は市内各地に分散しており、最寄りのバス停まで距離がある「公共交通空白・不便地域」も存在します。こうした地域に対しては、地域住民と協議を重ねながら、地域が主体となって運行する「地域乗合交通」の導入を進めていきます。

あわせて、既存の交通資源を最大限に活用し、需要に応じた路線の見直しや効率化を図ることで利便性の向上に努めるとともに、公共交通利用者への支援制度の周知・啓発を通じて、市民の関心を高め、地域に必要な公共交通の維持につなげていきます。

6 観光資源や魅力について

▶ 詳細分析 P 37

順位	おすすめしたい、提供すべきだと思う観光コンテンツ	割合	回答者数
1 位	温泉	33.4%	146 人
2 位	自然景観	32.5%	142 人
3 位	歴史・文化	21.7%	95 人
4 位	食	19.2%	84 人
5 位	イベント	11.9%	52 人
6 位	体験プログラム	11.0%	48 人
7 位	その他	5.3%	23 人

観光客などへおすすめしたい、提供する必要がある観光コンテンツについては、温泉が 33.4%、自然景観が 32.5%と 3 割を超えており、多くの人が温泉や自然景観を本市の観光の強みと捉えています。

本市の観光の魅力は、温泉や自然景観、歴史・文化、食など多岐にわたりますが、市民はそれぞれの項目を魅力と感じており、それらの魅力を複合的に PR することが重要と捉えています。

観光振興の取組みが、地域経済に寄与していると感じている人の割合

33.0%

▶ 詳細分析 P 38

市民の半数以上が観光振興の効果を「感じない」と回答した背景には、「情報が届いていない」「PR が不十分」といった課題があることが明らかとなりました。

観光施策の実施自体に問題があるというよりも、その内容や成果が市民に十分に伝わっておらず、地域全体での共有や実感に至っていないことを示しています。観光振興を市民生活や地域の活性化と結びつけていくには、成果の見える化や地域住民への情報発信の強化、また、住民が関与できる仕組みづくりが求められます。

観光振興の取組みが、伝統や文化を守り活かされていると感じている人の割合

46.2%

▶ 詳細分析 P 39

観光振興の取組みにより、伝統や文化が守られ活かされていると感じている人の割合は、約半数にとどまりました。

「とても感じる」または「まあまあ感じる」と回答した理由としては、花輪ばやしや毛馬内盆踊りといった伝統芸能の継承や、大湯環状列石などの文化遺産の保存が挙げられており、こうした取組みが評価されていることがうかがえます。

今後も、地域の伝統芸能や文化遺産の保存・活用に引き続き取り組みながら、観光資源としての魅力発信を強化していくことが求められます。

7 大館能代空港の利用について

昨年度に空港を利用した人の割合						▶詳細分析 P 40
—	R2	R3	R4	R5	R6	—
—	—	—	—	12.4%	11.7%	—

利用した空港	順位	利用率	回答者数
1. 大館能代空港⇄羽田空港	1 位	76.5%	39 人
3. 青森空港⇄新千歳空港	2 位	13.7%	7 人
5. その他	3 位	13.7%	7 人
2. 青森空港⇄羽田空港	4 位	9.8%	5 人
4. いわて花巻空港⇄伊丹空港	5 位	2.0%	1 人

昨年 1 年間に空港を利用した人の割合は 11.7%でした。利用者のうち 4 分の 3 が大館能代空港を利用しており、羽田空港行きの空路においては主に大館能代空港が選択されていることが分かりました。

年代別でみると 30 代以下の若年層における利用者の比率が高く、他の年代と比較しても前年からの伸び率が上がっていますが、全体の空港利用率は 11.7%と依然として低く、引き続き空港利用促進施策に取り組む必要があります。

大館能代空港は、道の駅にも指定されているほか、各種イベント等も開催されていることから、単なる移動手段としてだけではなく魅力を P R しながらさらなる航空需要の掘り起こしにつなげていくことが重要です。

運賃助成制度の認知度						▶詳細分析 P 42
—	R2	R3	R4	R5	R6	—
—	—	—	—	23.9%	33.0%	—

大館能代空港の利用促進を目的として、鹿角市に住民登録のある方等を対象に運賃助成を実施しています。

令和 6 年度のアンケート調査では、制度の認知度は前年より向上しているものの、依然として 6 割以上の市民が「知らなかった」と回答しています。

運賃助成制度を活用することで、他の交通手段と比べて安価に利用できる点や、空港利用の利便性について、引き続き広報・周知に努め、空港の更なる利用促進を図ってまいります。

8 カーボンニュートラルについて

「鹿角市2030ゼロ・カーボンシティ宣言」の認知度						▶詳細分析 P 44
—	R2	R3	R4	R5	R6	—
—	—	32.3%	39.6%	38.4%	47.1%	—

ゼロ・カーボンシティ宣言の認知度は47.1%と、前年より8.7ポイント上昇し、宣言以降で最も高い水準となりました。男女別、年代別、地区別いずれにおいても前年を上回る結果となっており、「ゼロ・カーボンシティ」や「カーボンニュートラル」といった言葉が市内に浸透しつつあることがうかがえます。

一方で、女性や若年層においては依然として認知度が低く、今後の課題と捉えています。施策全体の底上げを図るため、情報発信による普及啓発を強化するとともに、各種補助制度の活用促進や再生可能エネルギーの利用推進などを通じて、市民一人ひとりがゼロカーボンの担い手であるという意識を醸成し、その取組が自身の生活に直結していることを実感していただけるよう、より効果的な施策を展開してまいります。

9 コモッセの利用状況について

1年間にコモッセを利用した割合						▶詳細分析 P 45
—	R2	R3	R4	R5	R6	—
—	50.6%	54.7%	62.5%	60.2%	66.6%	—

コモッセの利用率は全体で66.6%となり、前年より6.4ポイント増加しました。特に30代・40代では70%を超える高い割合となっており、男女別、年代別、地域別のいずれの区分においても60%以上の利用が見られるなど、幅広く市民に利用されていることがうかがえます。

一方で、利用しない理由としては「行く機会がない」「参加したい催しがない」といった回答が多く見られ、今後は各施設が連携した事業の内容や情報発信の工夫が求められます。また、「公共交通機関が少ない」との意見が複数あり、アクセス手段の改善が求められます。

10 芸術鑑賞について

1年間に文化芸術鑑賞に親しんだ割合						▶詳細分析 P 46
—	R2	R3	R4	R5	R6	—
—	23.0%	26.5%	44.1%	43.7%	40.7%	—

芸術鑑賞をした人の割合は40.7%で前年より3.0ポイント減少しました。また、鑑賞した人のうち、コモッセの文化ホールで鑑賞した人の割合は66.3%で前年より7.4ポイント減少しました。

今後も文化芸術に触れる機会を継続しつつ、他事業との集約開催など来場意欲を高める方法や広い世代へ届く情報発信を図ってまいります。

11 男女共同参画の状況について

男女の地位が平等になったと感じている人の割合							▶ 詳細分析 P 48
—	R1	R2	R3	R4	R5	R6	—
—	26.7%	—	—	—	—	26.5%	—

性別役割分担意識を感じる人がいる人の割合	45.3%	▶ 詳細分析 P 49
-----------------------------	--------------	-------------

「男女の地位が平等であると感じている」と回答した市民の割合は 26.5% となり、前回調査から 0.2 ポイントの微減となりました。

一方で、「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」と感じている市民の割合は 55.4% で、前回調査より 4.4 ポイント減少したものの、依然として半数を超えており、根深い性別による格差意識がうかがえます。

また、性別役割分担意識に関しては、女性の 55.6% が「感じるがある」と回答したのに対し、男性の 62.3% は「感じることはない」と回答しており、男女間で意識に大きな差があることが明らかとなりました。

今後も、男女共同参画社会の実現に向けて、市民が性別にとらわれずに個性と能力を十分に発揮できる社会づくりをめざし、固定的な性別役割意識の解消に向けた啓発や、考えるきっかけづくりに引き続き取り組んでいきます。

12 十和田高校跡地の活用について

市が取得し活用すべきと回答した割合

30.2%

▶詳細分析 P 50

「市が取得し活用すべき」との回答が 30.2%を占め、市による取得・活用を望む意見が一定程度見られました。一方で、「民間が取得し活用すべき」(18.1%) および「市は取得すべきではない」(12.1%) とする意見を合わせると 30.2%であり、市による取得に慎重であるべきとの考えも一定の割合を占めています。

最も多かった回答は「わからない」(34.6%) であり、跡地活用に対する具体的な関心や判断意識が市民全体に広がっていないことが分かりました。

順位	跡地活用の方向性（1位：2点 2位：1点として集計）	割合	回答数
1位	企業誘致など地元で働く人を増やす産業用地	31.3%	191 点
2位	観光・商業施設による賑わいの創出	24.5%	150 点
3位	子どものための関連施設用地	17.8%	109 点
4位	公共施設の集約化・複合化などの再配置用地	12.6%	77 点
5位	居住を進める住宅用地	7.5%	46 点
6位	わからない	3.8%	23 点
7位	その他	2.5%	15 点

前問で「市が取得」「民間が取得」と回答した方を対象に、跡地活用の方向性について優先順位をつけて選択してもらい、1位を2点、2位を1点として加重集計を行いました。

もっとも多くの点数を得たのは「企業誘致など地元で働く人を増やす産業用地」で、次いで「観光・商業施設による賑わいの創出」が挙がっており、地域ににぎわいをもたらす活用への関心が強いことが分かります。

一方で、公共施設の再配置などの行政主導型の用途は、相対的に支持が低く、跡地の活用には即効性や経済効果を重視する意識が高いといえます。

今後は、民間による利活用の可能性を引き続き探るとともに、地域にとって最も望ましい活用方法について柔軟に検討してまいります。

13 まちの満足度について

▶ 詳細分析 P 52

第7次鹿角市総合計画前期基本計画における戦略目標について、各分野の取組がどのように評価されているかを把握することを目的としています。

(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合)

設問項目	R1 (基準値)	R6	基準値との差
1. 市の産業（会社、店舗、農業など）は元気で活力があると思う	19.5%	16.7%	▲2.8
2. 心身ともに健康に暮らせていると思う	58.7%	51.5%	▲7.2
3. 生活環境が快適なまちだと思う	49.7%	41.8%	▲7.9
4. 安全で安心して暮らせるまちだと思う	77.6%	69.1%	▲8.5
5. 市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思う	23.4%	16.2%	▲7.2
6. 文化遺産が豊富で誇れるまちだと思う	51.3%	52.4%	+1.1
7. 自分に必要な行政サービスが受けられていると思う	59.8%	51.5%	▲8.3

7つの設問のうち、6つの満足度で基準値を下回りました。

満足度の低下には、物価高騰による生活への影響、医師不足などの社会インフラの不十分さに加え、近年増加しているクマの出没など、経済的・社会的な複数の課題が複合的に影響していると考えられます。

さらに、商業活動の縮小や地域行事・イベントの減少などにより、地域全体に活気や明るい話題が乏しくなっていることが、市民の閉塞感を高め、意識面に影響を与えていると推察されます。

こうした中で、市が実施している各種事業については、その効果がより多くの市民に届くよう、情報発信の手法やタイミングを工夫し、伝わりやすい発信の強化を図ってまいります。

また、前述の課題に対しては、部署横断的な連携体制を構築し、より実効性の高い施策の企画・実行に取り組むことで、市民の満足度の回復と地域の活性化を目指します。

IV 設問別集計結果

1 市の政策について

設問2 あなたは、市が進めている取組にどれくらい満足していますか。また、今後のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えていますか。あなたの考えに一番近い番号を、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

◆市が進めている取組に対する満足度

第7次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略目標を達成するために定めた32の取組方針に関連する事柄について、5「満足」、4「やや満足」、3「普通」、2「やや不満」、1「不満」、0「わからない」の中から1つを選択する形式で「これまでの満足度」に関する状況を調査しています。

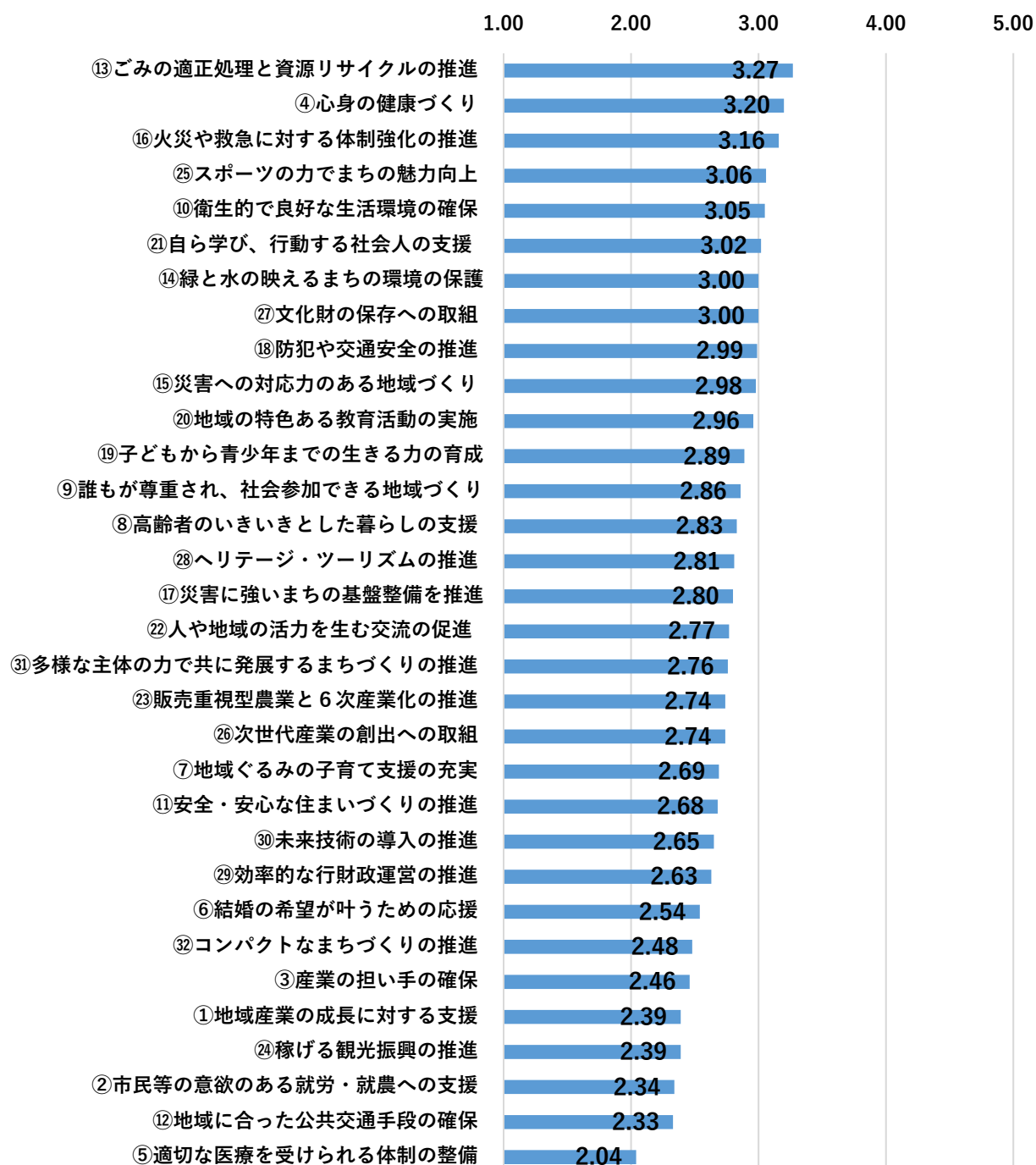
(1) 全体

〔単位：点〕

順位	取組方針	満足度スコア	回答者の割合						
			満足 (5)	やや満足 (4)	普通 (3)	やや不満 (2)	不満 (1)	わからない	無回答
1位	⑬ごみの適正処理と資源リサイクルの推進	3.27	10.1%	19.7%	54.7%	7.6%	3.4%	3.0%	1.6%
2位	④心身の健康づくり	3.20	8.7%	17.8%	53.5%	6.9%	4.8%	5.3%	3.0%
3位	⑯火災や救急に対する体制強化の推進	3.16	4.3%	14.0%	60.4%	5.9%	1.6%	11.9%	1.8%
4位	⑳スポーツの力でまちの魅力向上	3.06	4.6%	13.7%	54.9%	8.5%	4.6%	12.1%	1.6%
5位	⑩衛生的で良好な生活環境の確保	3.05	8.7%	12.6%	52.6%	12.6%	6.4%	5.3%	1.8%
6位	㉑自ら学び、行動する社会人の支援	3.02	3.7%	11.2%	57.2%	10.3%	3.4%	12.4%	1.8%
7位	⑭緑と水の映えるまちの環境の保護	3.00	3.9%	11.4%	60.0%	9.8%	4.6%	8.9%	1.4%
〃	㉒文化財の保存への取組	3.00	2.1%	11.9%	56.3%	11.9%	2.1%	14.4%	1.4%
9位	⑮防犯や交通安全の推進	2.99	2.3%	11.0%	62.2%	10.3%	3.0%	10.1%	1.1%
10位	⑮災害への対応力のある地域づくり	2.98	3.2%	9.6%	60.9%	10.8%	3.7%	10.5%	1.4%
11位	㉓地域の特色ある教育活動の実施	2.96	2.1%	10.8%	54.2%	10.3%	3.9%	16.7%	2.1%
12位	⑲子どもから青少年までの生きる力の育成	2.89	2.5%	9.8%	53.1%	11.9%	5.9%	15.1%	1.6%
13位	⑨誰もが尊重され、社会参加できる地域づくり	2.86	1.4%	4.6%	51.0%	9.4%	3.9%	27.9%	1.8%
14位	⑧高齢者のいきいきとした暮らしの支援	2.83	3.0%	12.4%	44.9%	16.0%	8.5%	14.2%	1.1%
15位	㉔ヘリテージ・ツーリズムの推進	2.81	0.9%	6.2%	52.2%	14.2%	4.1%	20.1%	2.3%
16位	⑰災害に強いまちの基盤整備を推進	2.80	1.8%	8.2%	55.1%	14.9%	7.3%	11.4%	1.1%

順位	取組方針	満足度 スコア	回答者の割合						
			満足 (5)	やや満足 (4)	普通 (3)	やや不満 (2)	不満 (1)	わから ない	無回答
17 位	㊸人や地域の活力を生む交流の促進	2.77	0.7%	6.9%	49.7%	15.6%	5.5%	20.1%	1.6%
18 位	㊹多様な主体の力で共に発展するまちづくりの推進	2.76	0.7%	4.8%	57.4%	12.1%	6.9%	15.6%	2.5%
19 位	㊺販売重視型農業と6次産業化の推進	2.74	0.7%	4.8%	49.0%	16.9%	4.3%	22.0%	2.3%
〃	㊻次世代産業の創出への取組	2.74	1.1%	5.0%	45.3%	13.7%	5.9%	26.1%	2.7%
21 位	㊼地域ぐるみの子育て支援の充実	2.69	3.0%	11.0%	38.7%	15.3%	13.5%	15.1%	3.4%
22 位	㊽安全・安心な住まいづくりの推進	2.68	1.6%	5.0%	53.8%	20.1%	8.2%	9.8%	1.4%
23 位	㊾未来技術の導入の推進	2.65	0.2%	3.9%	46.0%	14.9%	7.6%	22.7%	4.8%
24 位	㊿効率的な行財政運営の推進	2.63	0.5%	3.7%	48.7%	16.5%	8.2%	18.3%	4.1%
25 位	㊱結婚の希望が叶うための応援	2.54	0.9%	2.5%	40.3%	14.6%	10.8%	28.1%	2.7%
26 位	㊲コンパクトなまちづくりの推進	2.48	0.0%	4.1%	42.3%	17.6%	13.5%	19.7%	2.7%
27 位	㊳産業の担い手の確保	2.46	1.6%	5.7%	33.2%	21.1%	14.6%	20.8%	3.0%
28 位	㊴地域産業の成長に対する支援	2.39	0.9%	3.9%	34.6%	21.5%	15.6%	20.6%	3.0%
〃	㊵稼げる観光振興の推進	2.39	0.2%	3.0%	41.4%	22.9%	15.8%	14.9%	1.8%
30 位	㊶市民等の意欲のある就労・就農への支援	2.34	0.5%	4.3%	35.9%	22.0%	18.3%	16.5%	2.5%
31 位	㊷地域に合った公共交通手段の確保	2.33	0.2%	4.3%	42.6%	23.3%	21.3%	5.7%	2.5%
32 位	㊸適切な医療を受けられる体制の整備	2.04	1.4%	6.4%	22.9%	30.7%	35.5%	1.8%	1.4%

市が進めている取組に対する満足度



(2) 分析結果

市が進めている取組に対する満足度のスコアの最大値は 3.27、最小値は 2.04、平均は 2.77 となりました。

満足度として最も高い評価を得たのは「ごみの適正処理と資源リサイクルの推進」です。ごみの分別や減量化に関する継続的な意識啓発により、市民の環境意識が高まったことが挙げられます。さらに、分別方法が比較的簡便で、日常生活において大きな負担を感じさせない点も、市民の満足度向上に寄与していると考えられます。

2 番目は「心身の健康づくり」です。各種検診や感染症予防対策などの取組が充実していることに加え、RIZAP との連携による健康づくり事業等の実施を通じて、市民の健康意識の向上が図られた点が評価されたものと考えられます。

3 番目は「火災や救急に対する体制強化の推進」です。迅速な出動態勢の整備、救急搬送の迅速化といった取組により、安心・安全な暮らしを支える体制が着実に整っているが評価されたものと考えられます。

4 番目は「スポーツの力でまちの魅力向上」です。国民スポーツ大会など全国規模の大会の開催や、総合競技場をはじめとする充実したスポーツ施設の整備・活用が、市民から評価されたものと考えられます。

5 番目は「衛生的で良好な生活環境の確保」です。水洗化の着実な普及や、安全な水道水の安定供給が評価されたものと考えられます。

◆今後のまちづくりに対する重要度

第7次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略目標を達成するために定めた32の取組方針に関連する事柄について、5「重要」、4「やや重要」、3「普通」、2「あまり重要でない」、1「重要でない」、0「わからない」の中から1つを選択する形式で「これからの重要度」に関する状況を調査しています。

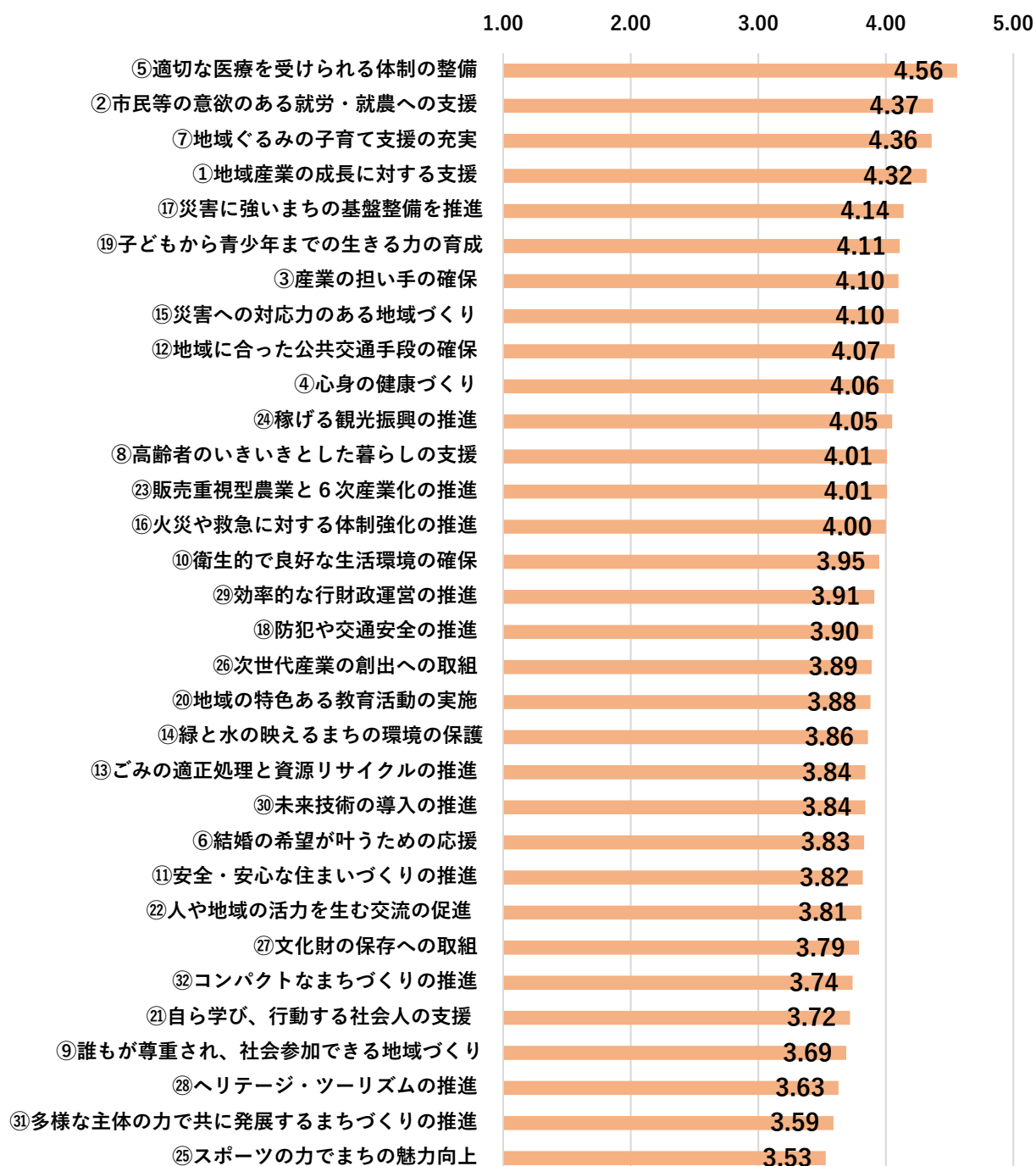
(1) 全体

〔単位：点〕

順位	取組方針	重要度 スコア	回答者の割合						
			重要 (5)	やや重要 (4)	普通 (3)	あまり重要 でない(2)	重要でない (1)	わから ない	無回答
1位	⑤適切な医療を受けられる体制の整備	4.56	64.5%	17.2%	9.4%	0.2%	0.9%	0.9%	6.9%
2位	②市民等の意欲のある就労・就農への支援	4.37	48.5%	26.1%	13.3%	0.9%	0.2%	6.4%	4.6%
3位	⑦地域ぐるみの子育て支援の充実	4.36	51.0%	19.9%	16.7%	0.7%	0.5%	3.4%	7.8%
4位	①地域産業の成長に対する支援	4.32	44.9%	26.5%	14.4%	0.9%	0.2%	7.6%	5.5%
5位	⑰災害に強いまちの基盤整備を推進	4.14	38.0%	31.1%	23.6%	0.2%	0.2%	3.4%	3.4%
6位	⑲子どもから青少年までの生きる力の育成	4.11	35.5%	30.9%	24.0%	0.2%	0.5%	5.0%	3.9%
7位	③産業の担い手の確保	4.10	36.4%	28.4%	16.7%	3.0%	1.8%	8.9%	4.8%
〃	⑮災害への対応力のある地域づくり	4.10	36.2%	30.4%	26.3%	0.5%	0.0%	3.0%	3.7%
9位	⑫地域に合った公共交通手段の確保	4.07	32.5%	36.8%	21.5%	1.1%	0.7%	2.7%	4.6%
10位	④心身の健康づくり	4.06	35.9%	25.6%	25.9%	1.4%	0.7%	2.3%	8.2%
11位	⑳稼げる観光振興の推進	4.05	34.1%	30.9%	21.3%	3.0%	0.7%	6.6%	3.4%
12位	⑧高齢者のいきいきとした暮らしの支援	4.01	35.7%	27.5%	22.9%	2.3%	2.5%	2.7%	6.4%
〃	㉓販売重視型農業と6次産業化の推進	4.01	27.7%	32.7%	23.6%	1.1%	0.5%	10.5%	3.9%
14位	⑯火災や救急に対する体制強化の推進	4.00	31.1%	32.5%	28.4%	0.5%	0.5%	3.2%	3.9%
15位	⑩衛生的で良好な生活環境の確保	3.95	30.0%	30.7%	31.6%	0.2%	0.9%	2.1%	4.6%
16位	㉑効率的な行財政運営の推進	3.91	25.6%	28.6%	29.5%	1.6%	0.2%	8.5%	5.9%
17位	⑱防犯や交通安全の推進	3.90	29.1%	30.2%	33.0%	1.6%	0.7%	2.5%	3.0%
18位	㉒次世代産業の創出への取組	3.89	25.9%	26.1%	26.5%	2.3%	1.1%	13.5%	4.6%
19位	㉔地域の特色ある教育活動の実施	3.88	26.5%	27.9%	33.4%	1.1%	0.5%	6.6%	3.9%

順位	取組方針	重要度 スコア	回答者の割合						
			重要 (5)	やや重要 (4)	普通 (3)	あまり重要 でない(2)	重要でない (1)	わから ない	無回答
20 位	⑭緑と水の映えるまちの環境の保護	3.86	28.1%	26.3%	36.4%	1.1%	0.9%	2.7%	4.3%
21 位	⑬ごみの適正処理と資源リサイクルの推進	3.84	25.9%	28.8%	38.4%	0.7%	0.5%	1.4%	4.3%
〃	⑩未来技術の導入の推進	3.84	22.0%	28.8%	29.5%	2.1%	0.5%	10.5%	6.6%
23 位	⑥結婚の希望が叶うための応援	3.83	28.4%	20.8%	29.1%	3.2%	2.3%	8.9%	7.3%
24 位	⑪安全・安心な住まいづくりの推進	3.82	23.8%	33.0%	34.3%	1.8%	0.9%	1.8%	4.3%
25 位	⑫人や地域の活力を生む交流の促進	3.81	23.3%	30.7%	29.3%	2.7%	1.6%	8.9%	3.4%
26 位	⑰文化財の保存への取組	3.79	24.3%	27.5%	35.7%	2.5%	0.9%	5.9%	3.2%
27 位	⑬コンパクトなまちづくりの推進	3.74	21.7%	27.5%	30.2%	4.3%	1.6%	10.3%	4.3%
28 位	⑳自ら学び、行動する社会人の支援	3.72	20.1%	26.5%	41.0%	2.1%	0.2%	6.4%	3.7%
29 位	⑨誰もが尊重され、社会参加できる地域づくり	3.69	19.9%	28.6%	33.0%	1.1%	3.7%	9.4%	4.3%
30 位	㉔ヘリテージ・ツーリズムの推進	3.63	19.2%	24.5%	36.6%	4.6%	1.8%	9.4%	3.9%
31 位	㉑多様な主体の力で共に発展するまちづくりの推進	3.59	15.6%	27.0%	40.7%	3.0%	1.6%	8.0%	4.1%
32 位	㉕スポーツの力でまちの魅力向上	3.53	19.2%	20.8%	42.3%	4.8%	3.4%	5.5%	3.9%

市が進めている取組に対する重要度



(2) 分析結果

今後のまちづくりに対する重要度に関するスコアの最大値は 4.56、最小値は 3.56、平均は 3.53 となりました。

今後のまちづくりに対する重要度として、最も多くの市民に選ばれたのは「適切な医療を受けられる体制の整備」です。全体の回答では、「重要」「やや重要」と回答した割合が 81.7%に達し、高い関心が示されました。年代別に見ても大きな差はなく、すべての年代で重要性が高く認識されていることが分かります。自由記述では、出産環境の整備に対する要望や、医師・看護師の不足を懸念する意見も多く寄せられました。

2 番目は「市民等の意欲のある就労・就農への支援」であり、「重要」「やや重要」と回答した割合は全体で 74.6%にのびりました。特に 30 歳未満では 81.8%と最も高く、若年層において就労・就農支援の必要性が強く認識されていることがうかがえます。

「若者が働きたいと思えるような魅力的な職種を増やしてほしい」といった意見も寄せられており、今後は若年層のニーズに応じた産業分野や働く環境の整備が求められます。

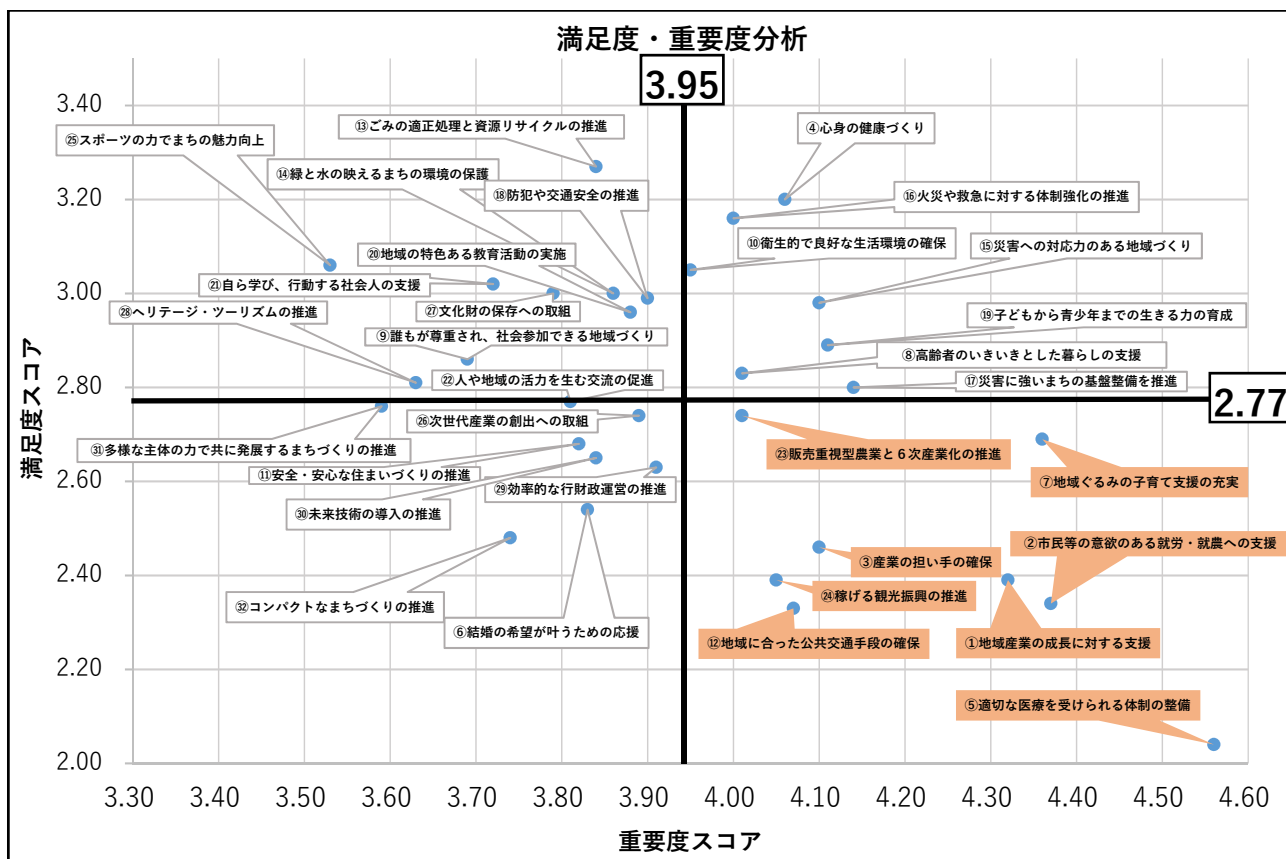
3 番目は「地域ぐるみの子育て支援の充実」で、「重要」または「やや重要」と回答した割合は 70.9%にのびりました。年代別では 30 歳未満が 84.8%と最も高く、特に若年層からは、安心して子育てができるような経済的支援を求める意見が寄せられました。また、雨天時や冬季でも子どもが遊べる屋内施設の整備を望む意見もあり、子育て環境のさらなる充実が求められています。

4 番目は「地域産業の成長に対する支援」については、「重要」「やや重要」と回答した割合が 71.4%に上りました。特に、生産年齢層である 30 歳未満から 50 代では 70%を超えており、基盤産業である農業の振興、産業間の連携強化、地元企業を大切にしてほしいといった意見が寄せられました。

5 番目は「災害に強いまちの基盤整備の推進」で、「重要」「やや重要」と回答した割合は 69.1%でした。年代別では 30 歳未満が 90.9%と最も高く、近年の大雪を踏まえ、道路除雪の強化を求める意見が多く見られました。

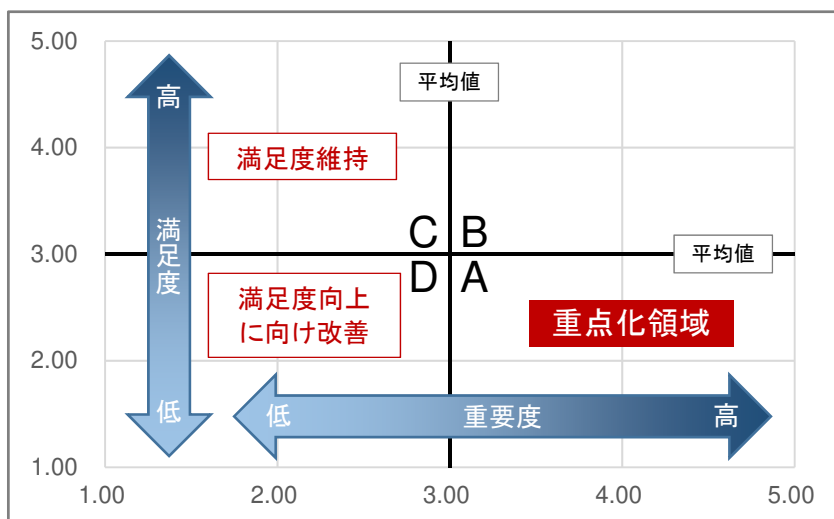
◆「満足度」と「重要度」によるクロス集計分析

(1) 満足度・重要度を表す散布図



(2) 満足度・重要度をクロス分析する散布図の見方

本市の32の取組方針における「満足度」と「重要度」の回答結果からそれぞれの平均を求め、縦軸に満足度、横軸に重要度を取り、散布図として表しています。散布図では、「満足度」と「重要度」の平均値から4つの領域に分けることができ、特にA領域は市民の満足度が低く、かつ今後のまちづくりにとって重要度が高いと考えている「重点化領域」となり、重点的な改善が求められる分野となります。



（３）分析結果

満足度・重要度が共に高いＢ領域（グラフ右上側）は、「④心身の健康づくり」、「⑧高齢者のいきいきとした暮らしの支援」、「⑩衛生的で良好な生活環境の確保」「⑮災害への対応力のある地域づくり」、「⑯火災や救急に対する体制強化の推進」、「⑰災害に強いまちの基盤整備を推進」、「⑲子どもから青少年までの生きる力の育成」、であり、今後も重点的に取組を継続していく分野といえます。

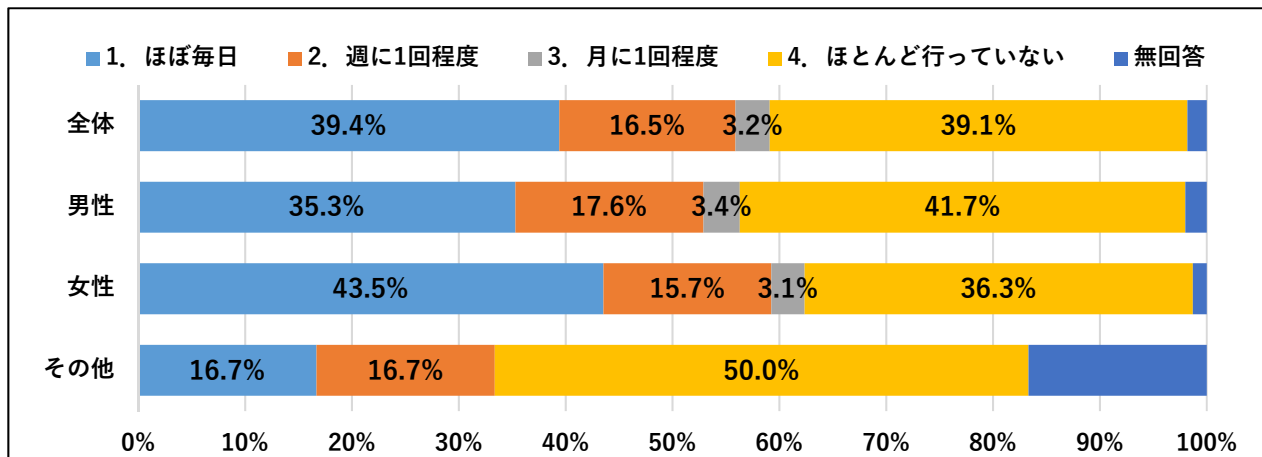
一方、満足度が低く、重要度が高いのは、「①地域産業の成長に対する支援」、「②市民等の意欲のある就労・就農への支援」、「③産業の担い手の確保」、「⑤適切な医療を受けられる体制の整備」、「⑦地域ぐるみの子育て支援の充実」、「⑫地域に合った公共交通手段の確保」、「⑲販売重視型農業と６次産業化の推進」、「⑳稼げる観光振興の推進」の８項目でした。

地域経済や暮らしの基盤に関わる分野では、産業支援や雇用創出の不足、医師不足による医療体制への不安、地域交通の不便さなどが課題となっています。また、子育て支援では一定の充実が図られているものの、学校給食費無償化などさらなる経済的支援への期待も見られます。観光や農業分野では、販路拡大や魅力発信の強化、受入体制の整備が求められており、地域経済の活性化に向けた戦略的な取組が求められています。

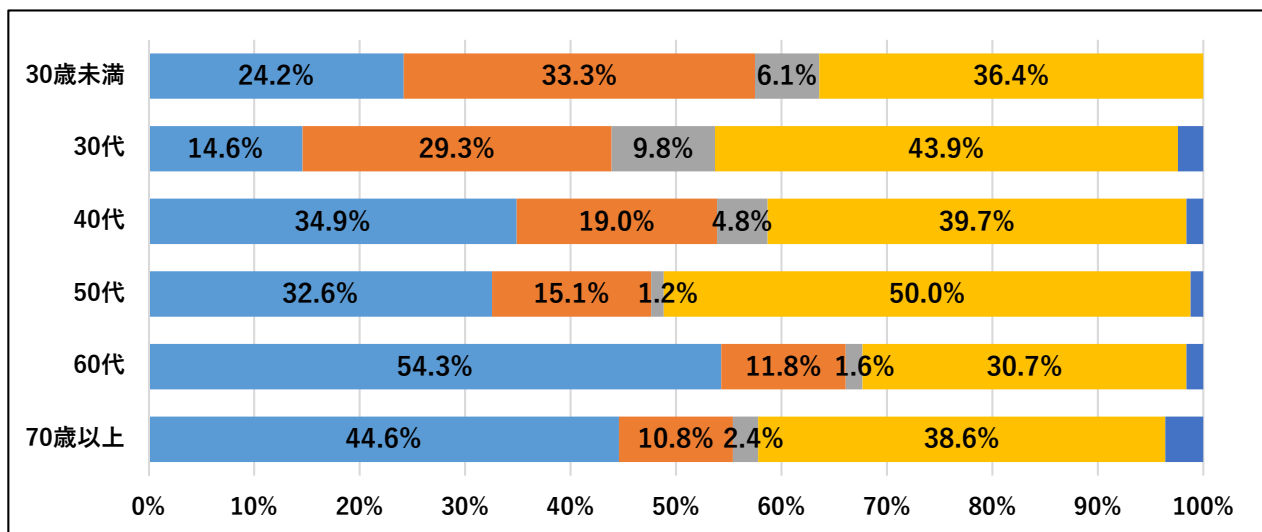
2 運動の実施状況について

設問3 あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。また、1回あたりの運動や活動の時間はどのくらいですか。

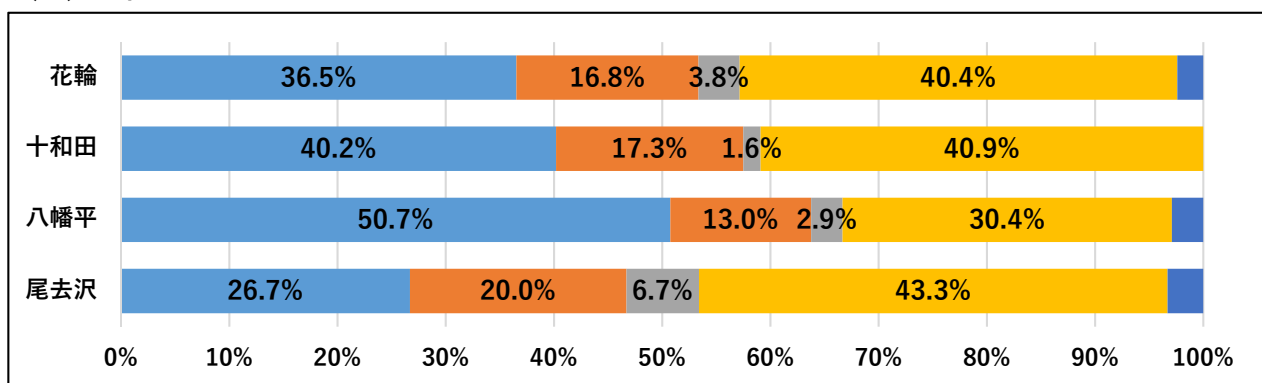
（1）全体／男女別



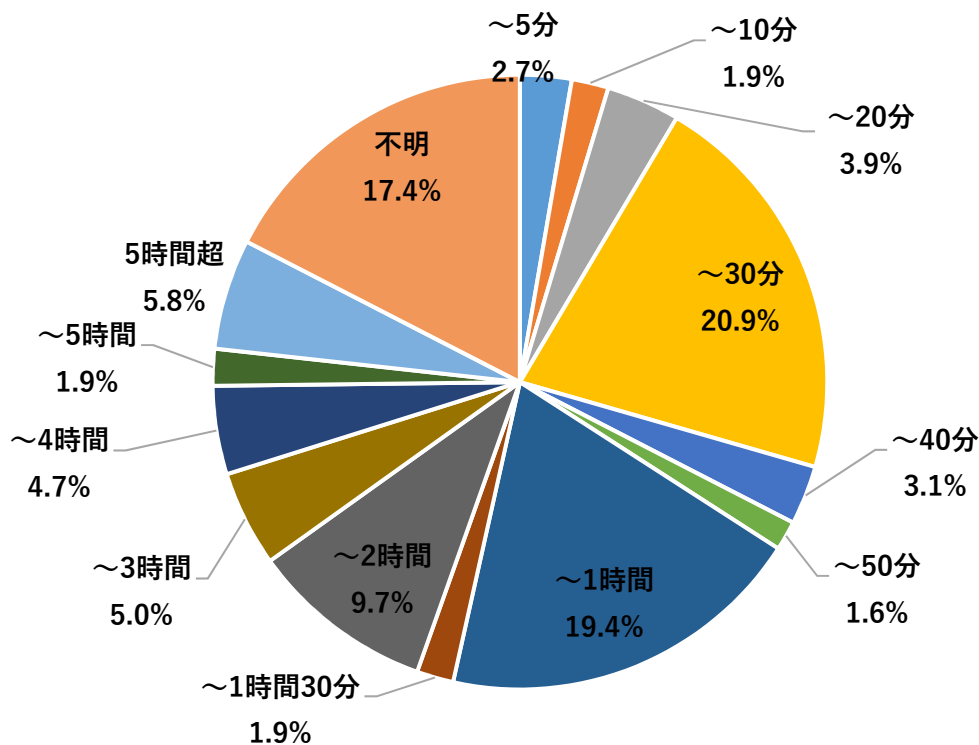
（2）年代別



（3）地区別



(4) 運動時間



(5) 分析結果

週1回以上、運動やスポーツを実施している割合は、55.9%と前年度と比較して6.6ポイント下回っています。年代別では、週に1回以上実施している割合は、前年度と比較して30代が7.4ポイント、40代が8.3ポイント、50歳代が4.4ポイントそれぞれ減少しています。

1回あたりの運動時間は、「~30分」が20.9%と最も多く、次いで「1時間」が19.4%となっています。1回あたり1時間以下の運動をしていると答えた方の多くは、ウォーキングやジョギング、ストレッチを主に行っており、「5時間超」と答えた方の多くは農作業や仕事と答えています。

30~50歳代では実施率の大幅な減少が見られ、すべての働き盛り世代において顕著な低下が確認されました。この背景には、家庭や仕事との両立による時間的・心理的余裕の不足や、運動機会そのものの減少が影響している可能性があります。

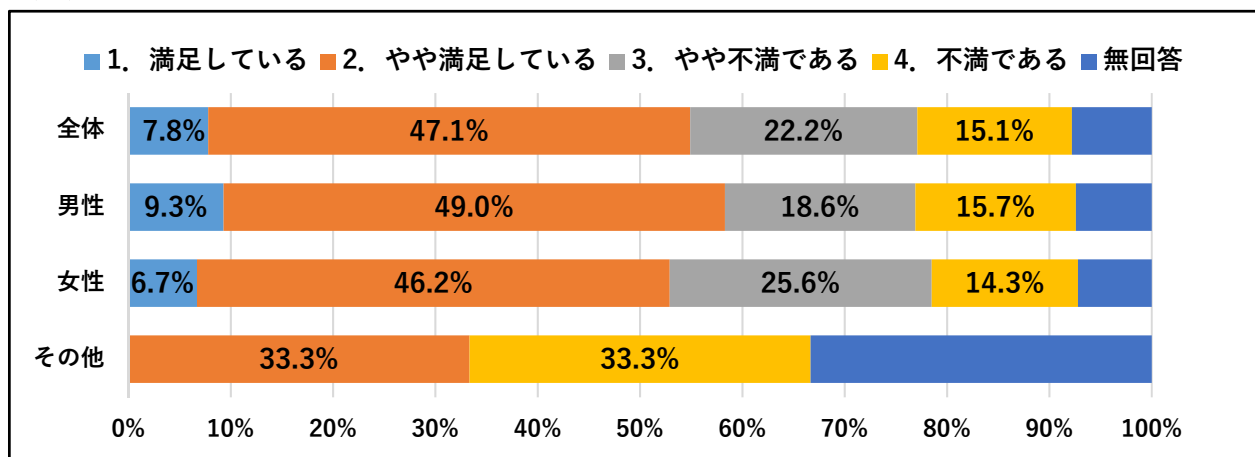
〔参考〕第3次鹿角市スポーツ推進計画成果指標と実績値（再掲）

週1回以上の頻度で運動やスポーツを実施する市民の割合						
基準値（R1）	R2	R3	R4	R5	R6	目標値（R7）
52.2%	52.8%	61.5%	57.0%	62.5%	55.9%	65.0%

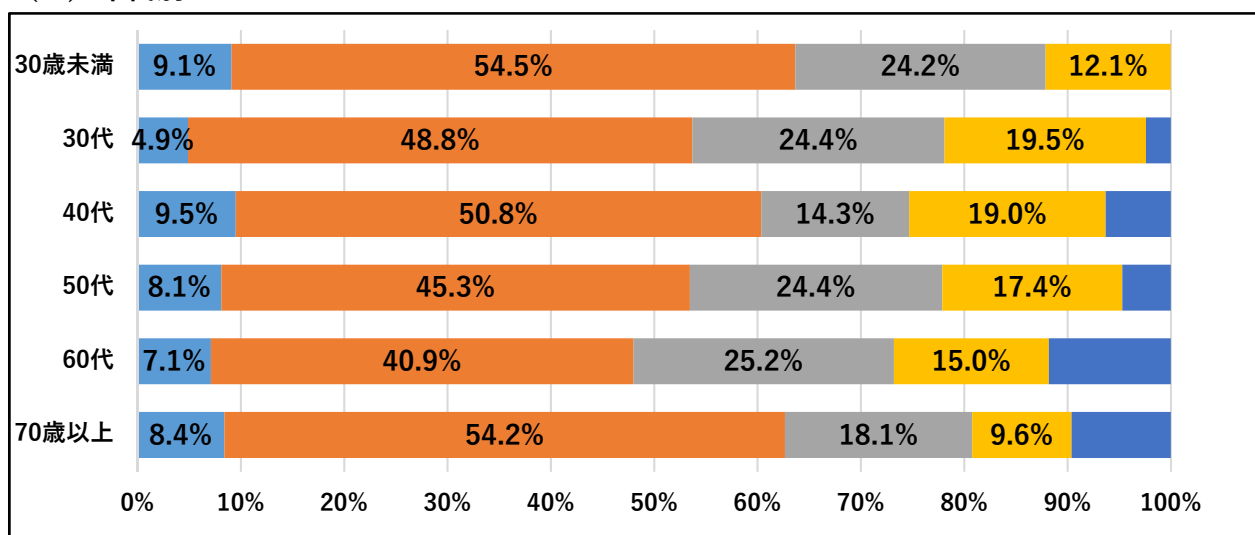
3 中心市街地について

設問4 あなたは、中心市街地の生活環境（住みごこちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

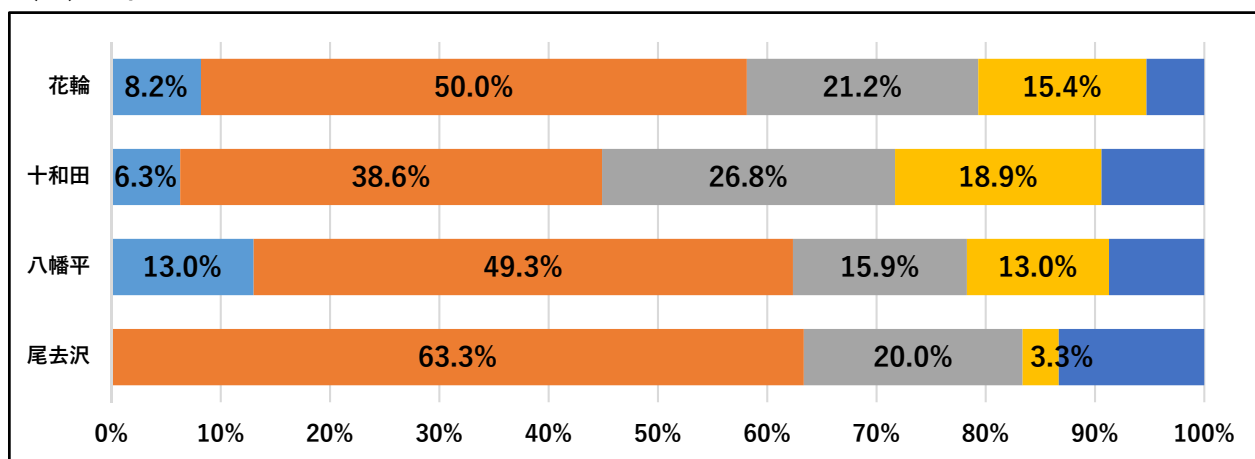
（1）全体／男女別



（2）年代別



（3）地区別



（４）分析結果

「満足」「やや満足」と回答した割合は 54.9%で、前年を 1.0 ポイント下回りました。

男女別では、男性の満足度は 58.3%で前年から 4.9 ポイント上昇した一方、女性は 52.9%で 6.0 ポイントの減少となりました。

年代別では、30 歳未満の満足度が 63.6%と最も高かったものの、令和 3 年度以降 70%以上を維持していたことを踏まえると大きな減少となっています。30 代についても、これまで 60%以上で推移していたところから大きく低下しており、若年層における満足度の低下が顕著です。

地区別では、十和田地区の満足度が 44.9%と最も低く、前年度から 9.9 ポイント減少しました。花輪地区は 58.2%でしたが、令和 3 年度の 68.7%から継続的に低下しており、5 年間で 10 ポイントの減少となっています。

満足していない理由としては、公共交通機関の不便さや駐車場の少なさといった交通面での課題が最も多く挙げられ、次いで、飲食店や商業施設の不足による「まちの活気のなさ」が指摘されています。

〔参考〕鹿角市中心市街地活性化プラン数値目標と実績値（再掲）

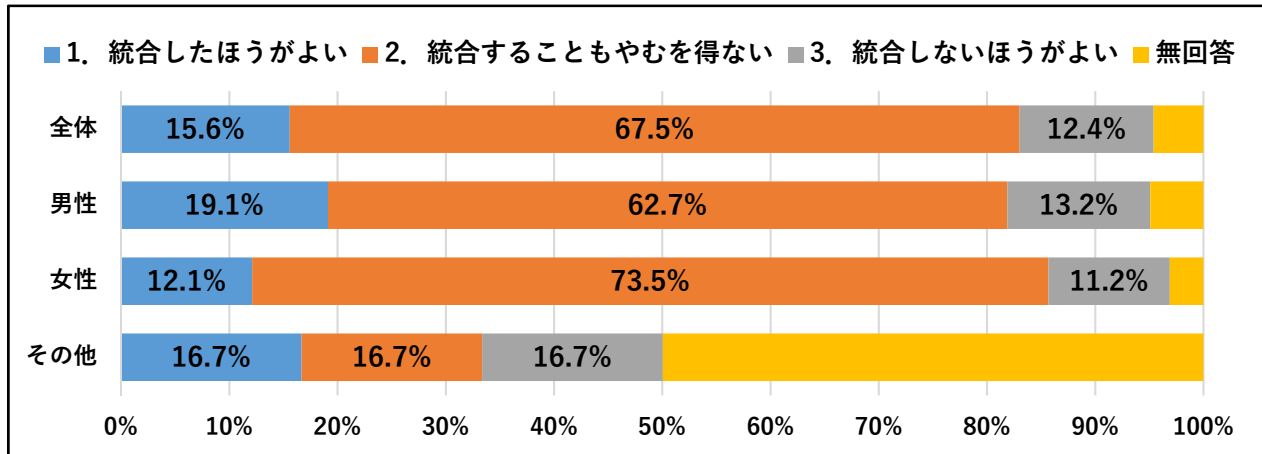
中心市街地の環境に満足している市民の割合						
基準値（H30-R2 平均）	R2	R3	R4	R5	R6	目標値（R7）
53.6%	58.1%	55.9%	58.1%	55.9%	54.9%	60.0%

（鹿角市中心市街地活性化プラン数値目標）

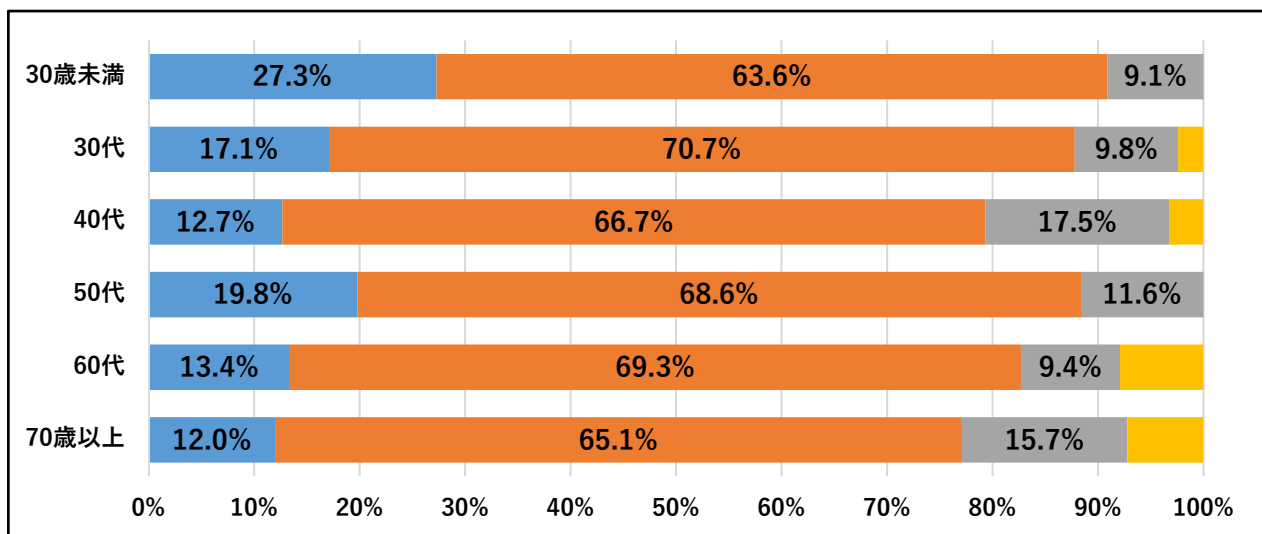
4 学校の統廃合について

設問5 現在、市内には小学校が6校、中学校が4校あります。児童生徒数の減少により、学校の小規模化が進んでいます。児童・生徒にとって望ましい学校規模にするために学校を再編統合することについてどのようにお考えですか。

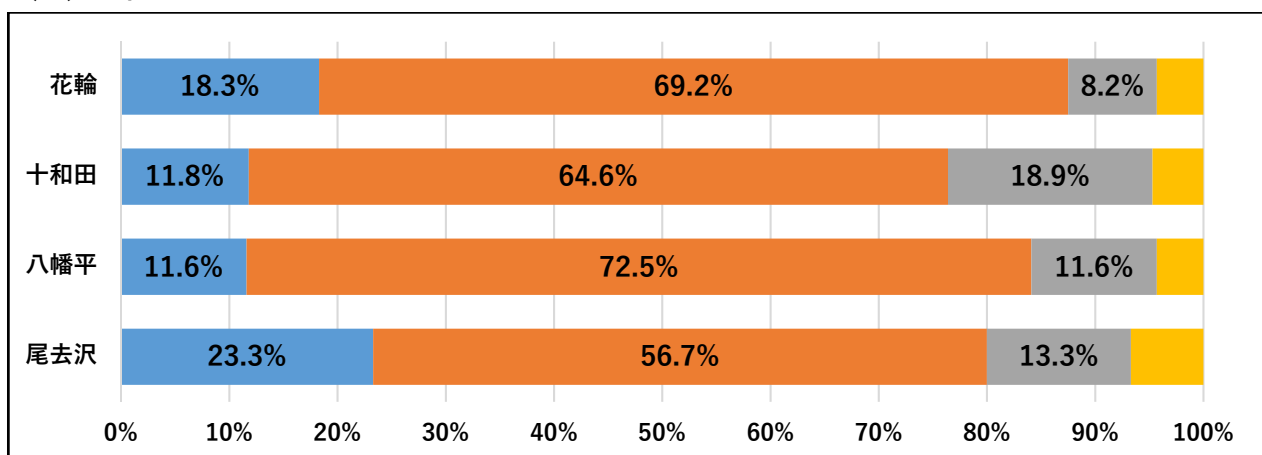
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



（４）分析結果

「統合したほうがよい」または「統合することもやむを得ない」と回答した割合は 83.1%でした。

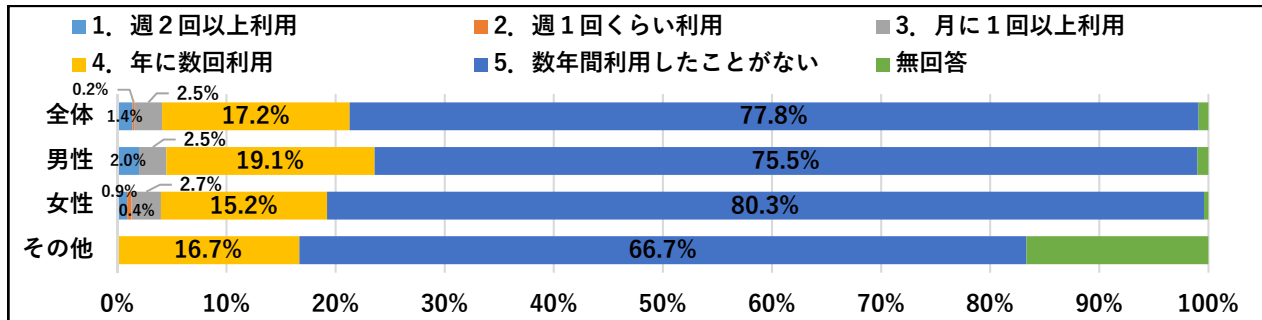
年代別では、30 歳未満が 90.9%と最も高いほか、最も低い 70 歳以上でも 77.1%となっていることから、全年代を通じて再編統合の必要性を感じていることがうかがえます。

地区別では、比較的規模の大きい学校がある花輪地区が 87.5%と最も高く、一方で最も低かったのは十和田地区で 76.4%でした。また、十和田地区は「統合しないほうがよい」と回答した割合が 18.9%と地区別で最も高く、再編統合した場合に、通学距離が長くなることを不安視する意見が多く見られました。

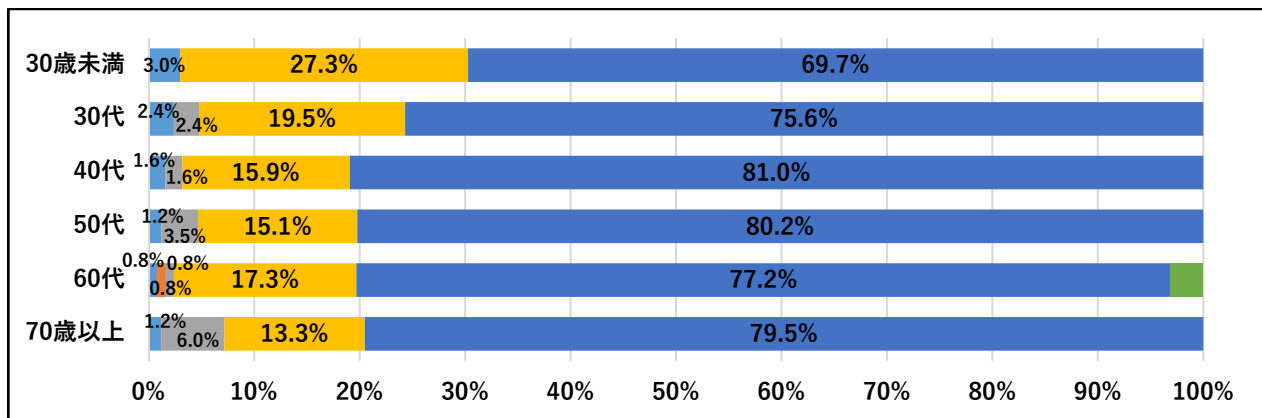
5 公共交通について

設問 6 ① バス（予約型乗り合いタクシー含む）または鉄道（以下、「公共交通機関」といいます。）の利用頻度はどれくらいですか。

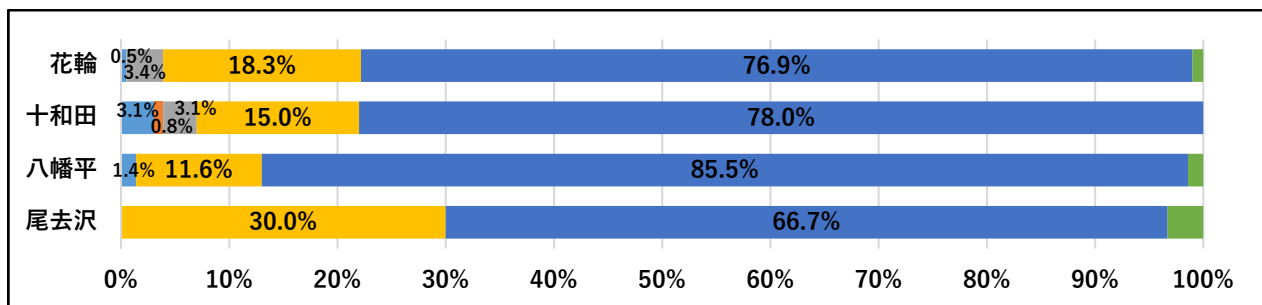
（１）全体／男女別



（２）年代別



（３）地区別



（４）分析結果

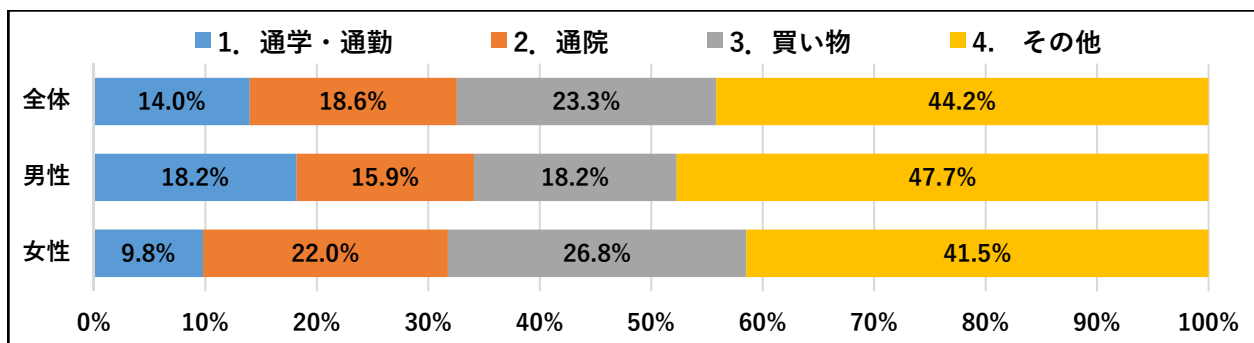
公共交通機関の利用頻度について、「数年間利用したことがない」または「年に数回利用」と回答した割合は 95.0%であり、ほとんどの市民が公共交通機関を日常の移動手段としていないことがうかがえます。

年代別では、「数年間利用したことがない」または「年に数回利用」と回答した割合は、30 歳未満が 97.0%と最も高くなっています。

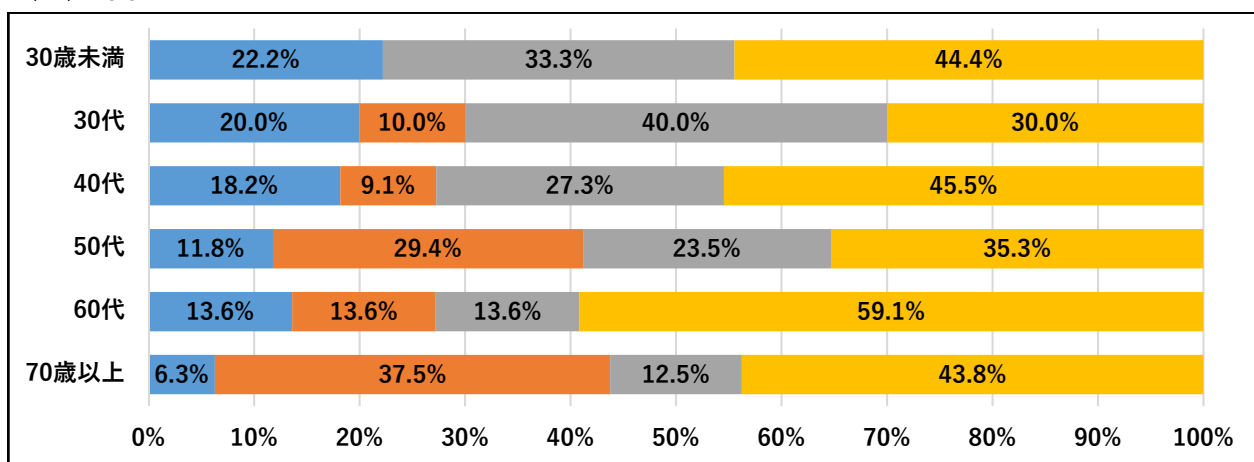
地区別では、「週2回以上利用」「週1回くらい利用」「月に1回以上利用」と回答した割合は、十和田地区が 7.0%である一方、尾去沢地区では 0%となっており、各地区で利用状況の割合に差があります。

【利用目的（n=86）】

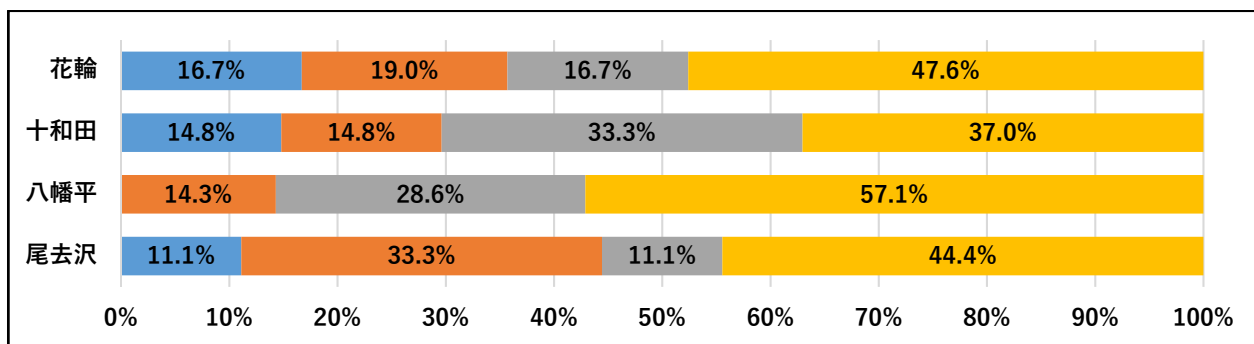
（１）全体／男女別



（２）年代別



（３）地区別



（４）分析結果

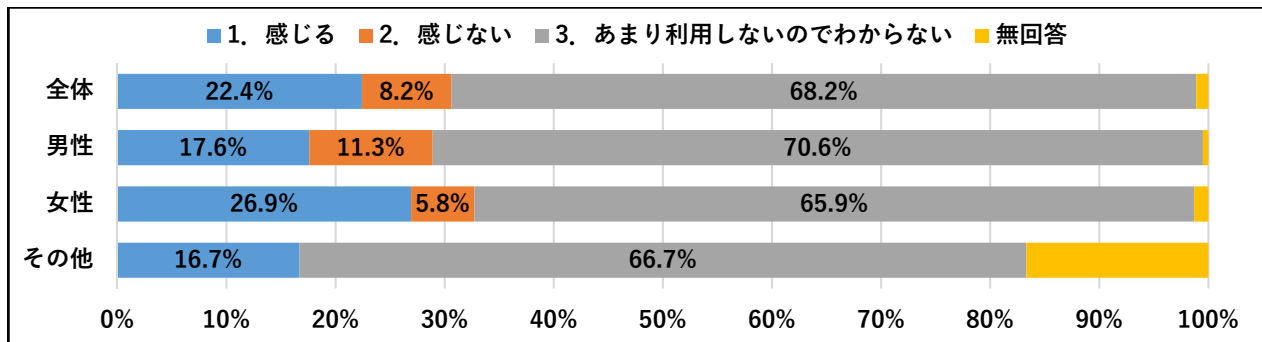
公共交通機関の利用目的として、「買い物」と回答した割合が 23.3%と最も高く、次いで「通院」が 18.6%、「通学・通勤」が 14.0%でした。

年代別では、「買い物」と回答した割合は 30 代が 40%と最も高く、次いで 30 歳未満が 33.3%と、若い年代では、「買い物」が主な目的として公共交通機関が利用されています。一方で、「通院」と回答した割合は 70 歳以上が 37.5%と最も高く、次いで 50 代が 29.4%と、高齢の年代では「通院」が主な目的として公共交通機関が利用されています。

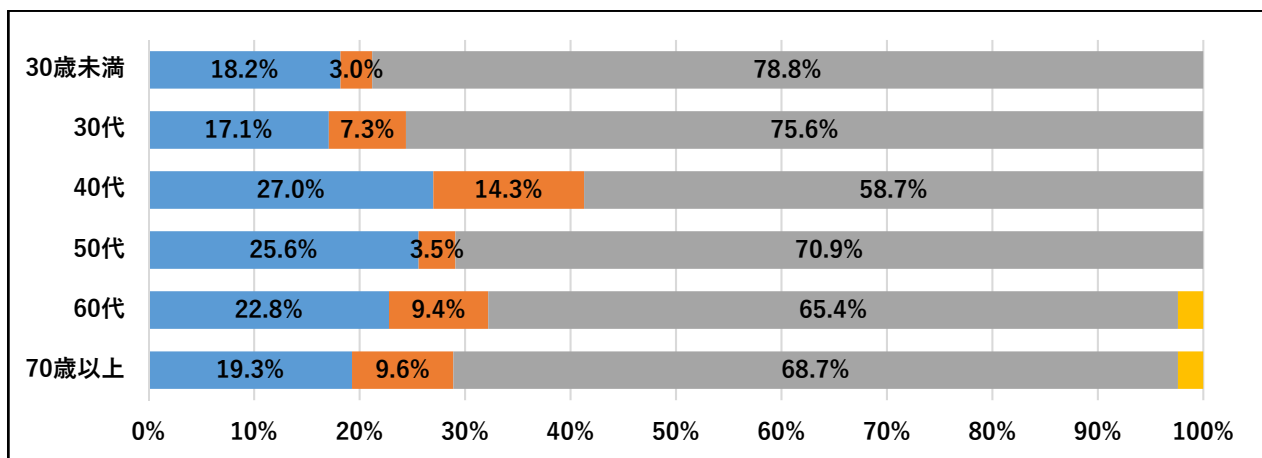
「その他」の具体的な回答内容として、「旅行」や「出張」など、主に遠出をする際の移動手段として、公共交通機関が利用されています。

設問 6② あなたは、普段の生活で、公共交通機関による移動に不便を感じていますか。

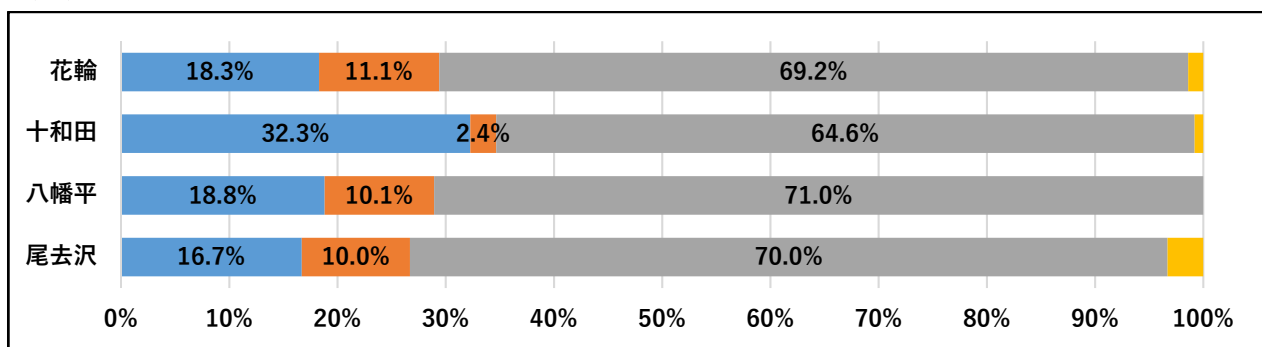
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

公共交通に不便を感じると回答した割合は、22.4%と、前回調査 (R3) の 20.2%と比較して 2.2ポイント増加しています。

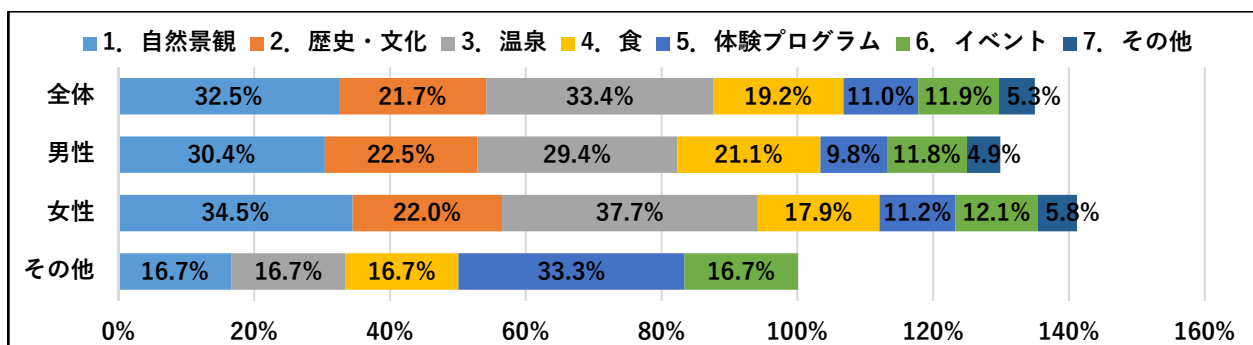
不便を感じる理由としては、バス、鉄道ともに「本数が少ない」、「休日の運行が少ない」といった意見が多数寄せられています。

公共交通が不便かどうか、「あまり利用しないのでわからない」との回答が 68.2%で過半数を超えており、日常的に利用しない方からの公共交通機関への関心が低いことがうかがえます。

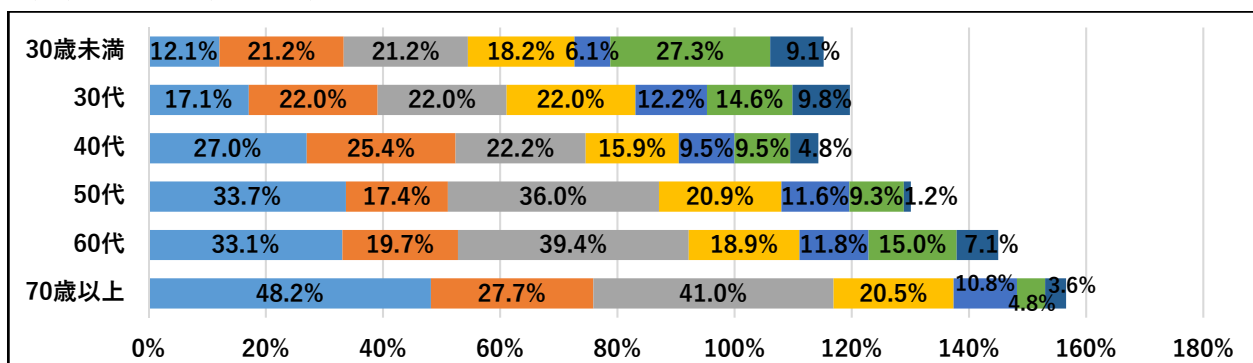
6 観光資源や魅力について

設問 7① 本市では、持続可能な観光地づくりを進めようとしています。あなたは、本市で観光などへおすすめしたい、提供する必要がある観光コンテンツは何だと思いませんか。
(複数回答可)

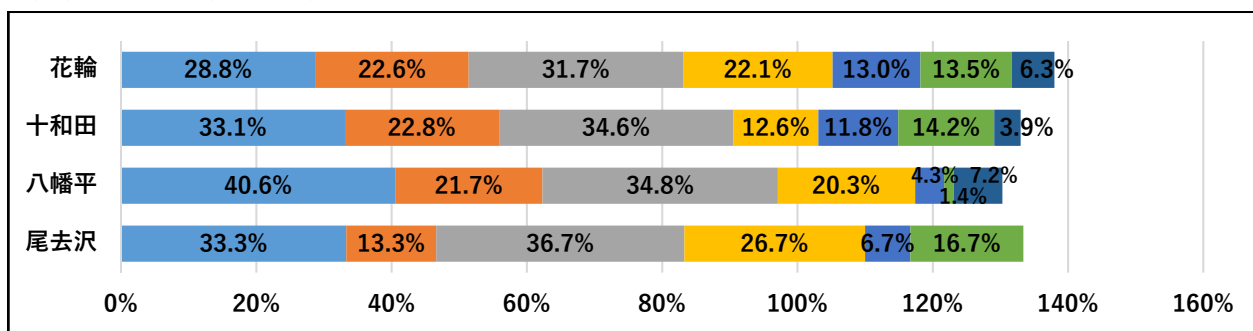
(1) 全体／男女別 (N=590)



(2) 年代別 (N=590)



(3) 地区別 (N=590)



(4) 分析結果

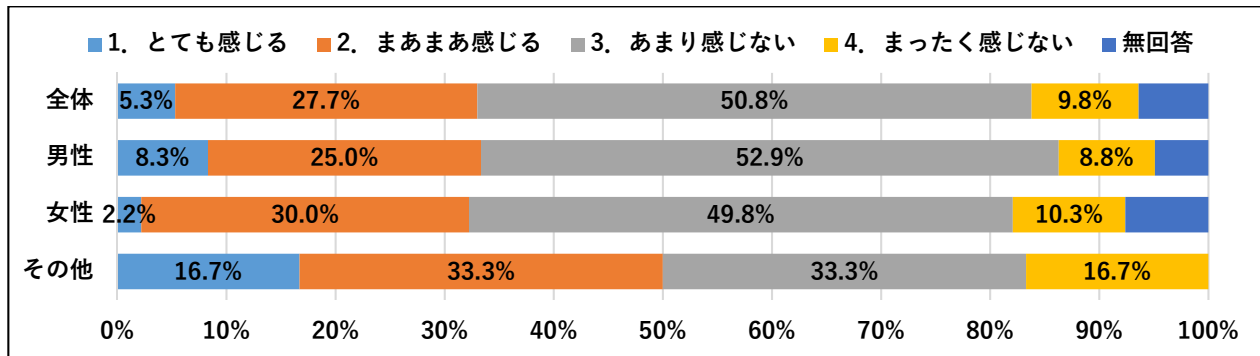
観光客などへおすすめしたい、提供する必要がある観光コンテンツについて、「温泉」と回答した方が全体の回答数の中で 33.4%と最も高く、次いで「自然景観」が 32.5%、「歴史・文化」が 21.7%、「食」が 19.2%となっています。

年代別では、70 歳以上の約半数が「自然景観」と回答しており、最も高くなっています。一方で 30 歳未満の若い世代では「イベント」と回答した割合が 27.3%と最も高くなっています。

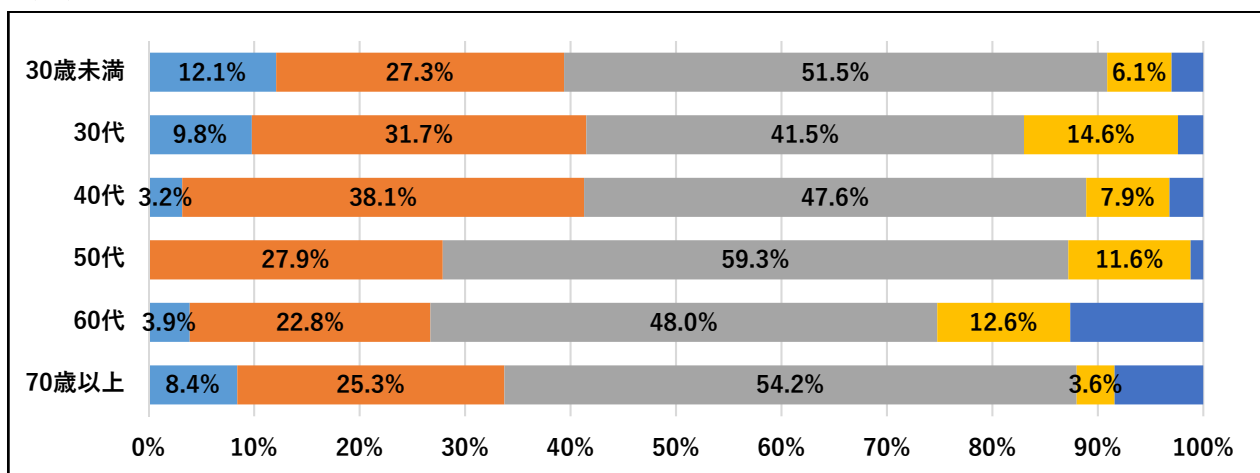
地区別では、八幡平地域で「自然景観」を選択した人が、40.6%と最も高くなりました。「温泉」を選択した人はすべての地域で 30%を超えています。

設問 7② 観光振興の取組みにより、本市の地域経済に寄与していると感じますか。

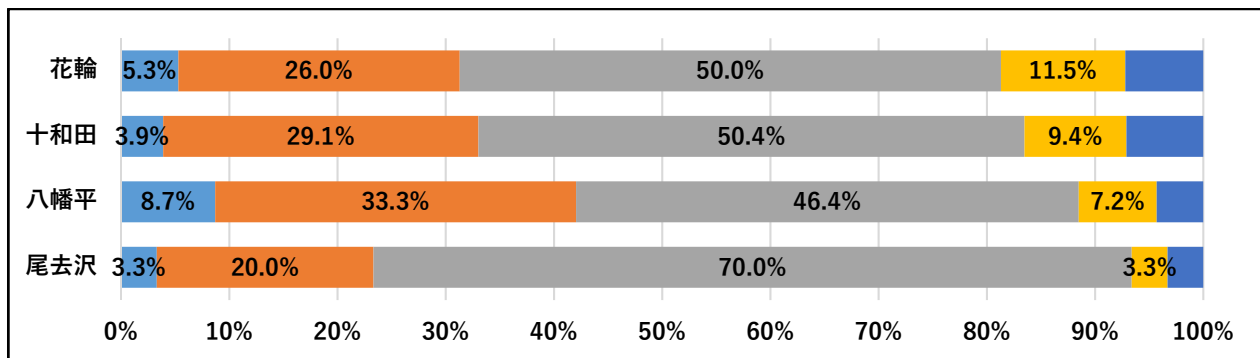
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

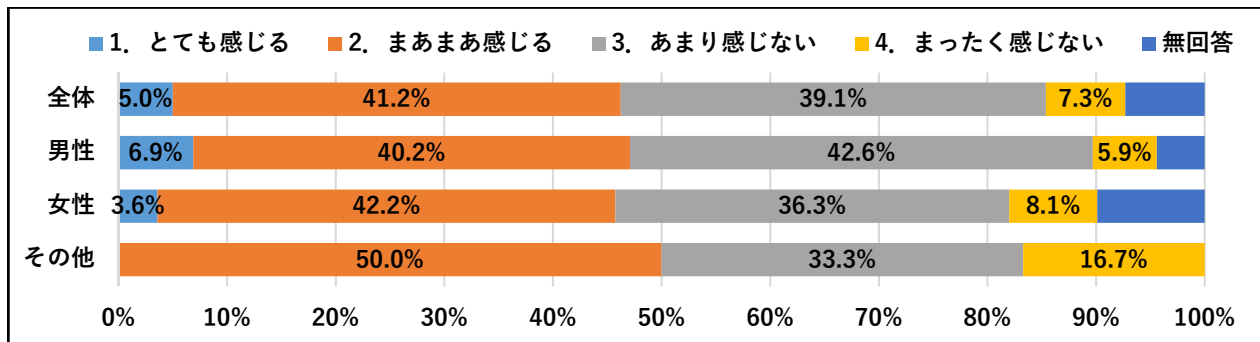
観光振興の取組みが、本市の地域経済に寄与しているかについて、「とても感じる」または「まあまあ感じる」と回答した人の割合は全体で 33.0%となっており、市民の半数以上が観光振興による効果を感じていないことがうかがえます。

地区別では、八幡平の「とても感じる」または「まあまあ感じる」と回答した割合が 42%と最も高くなっています。

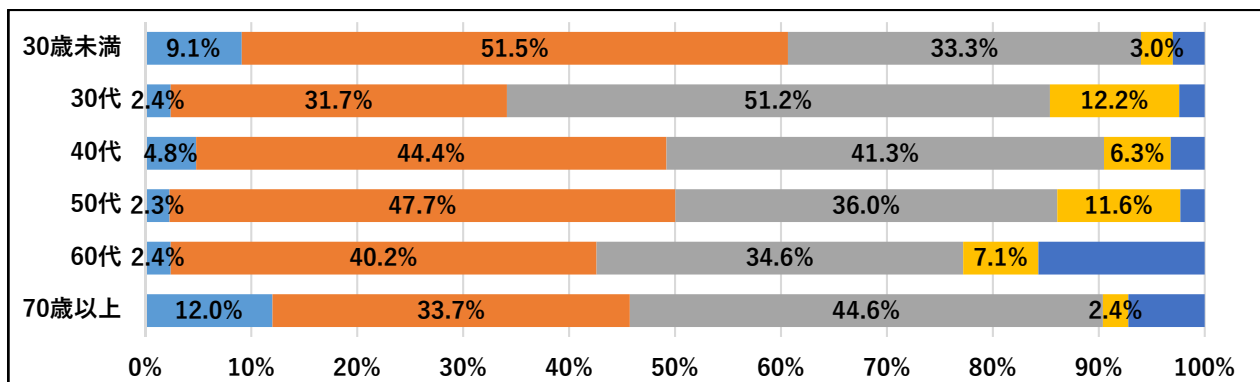
「あまり感じない」または「まったく感じない」と回答した選択理由として、「PR が足りていない」や「情報が入ってこない」といった意見が多く、観光振興に関する本市の取組みを、より効果的に周知していくことが求められています。

設問 7③ 観光振興の取組みにより、本市の伝統や文化が守られ、生かされていると感じますか。

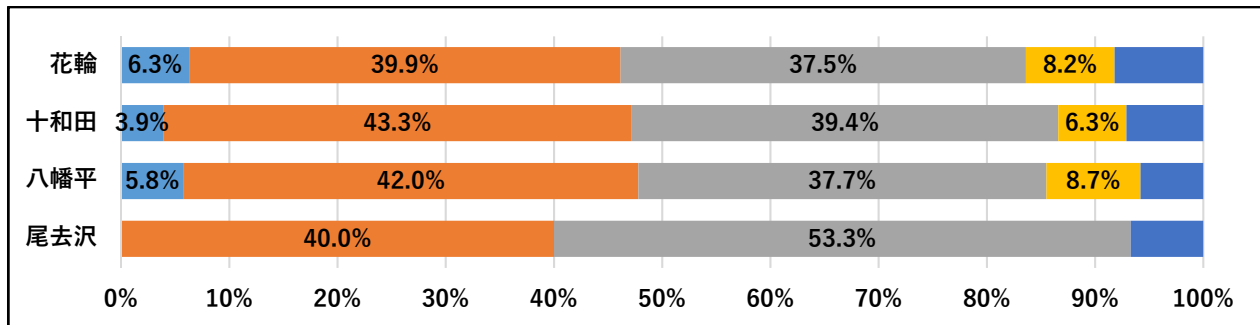
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

観光振興の取組みにより、伝統・文化が守られ、生かされていると感じるかについて、「とても感じる」または「まあまあ感じる」と回答した割合は46.2%であるのに対し、「あまり感じない」または「まったく感じない」と回答した割合は46.4%となり、それぞれが半数ほどに分かれる結果となりました。

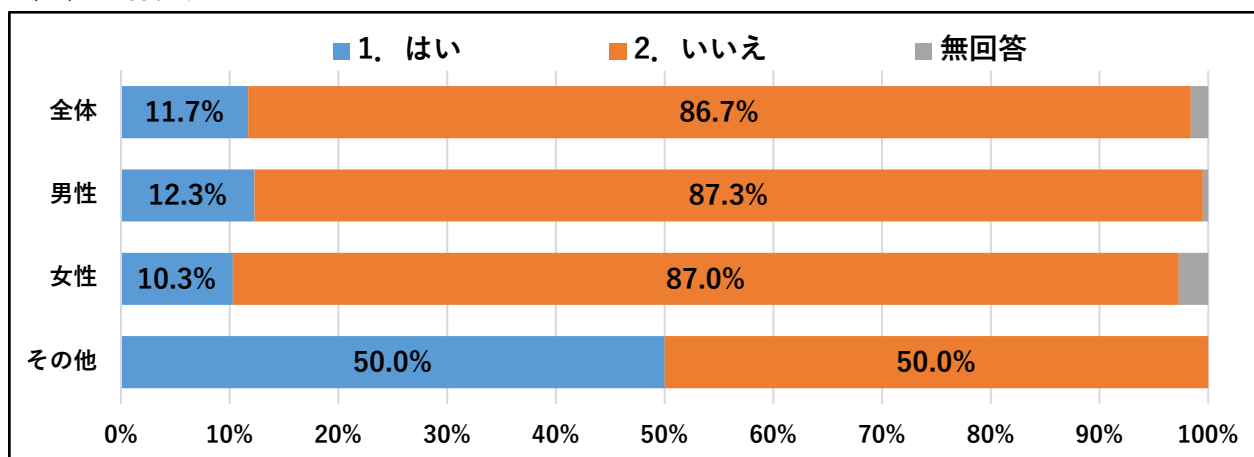
年代別では30歳未満の「とても感じる」または「まあまあ感じる」と回答した割合が60.6%と最も高くなりました。

花輪ばやしや毛馬内盆踊りなどの伝統芸能の継承のほか、大湯環状列石などの文化遺産の保存に繋がっているという意見が多く、本市の伝統芸能及び文化遺産の保存・活用に関する取組みについて、市民から一定の評価が得られていることがうかがえます。

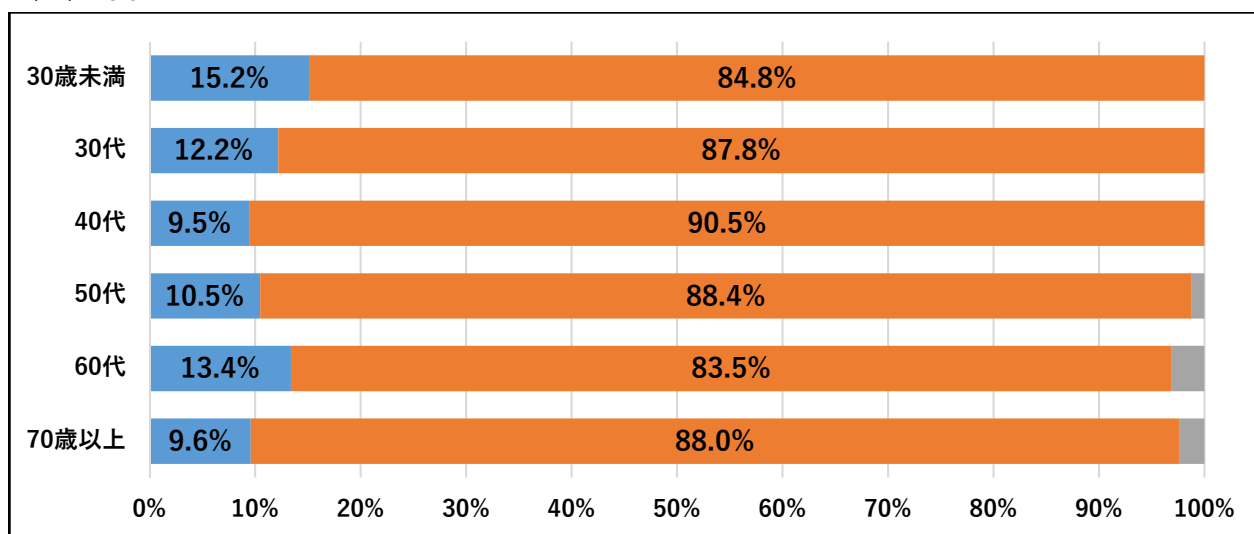
7 大館能代空港の利用について

設問 8 ① あなたは、令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日にかけて、空港を利用しましたか。

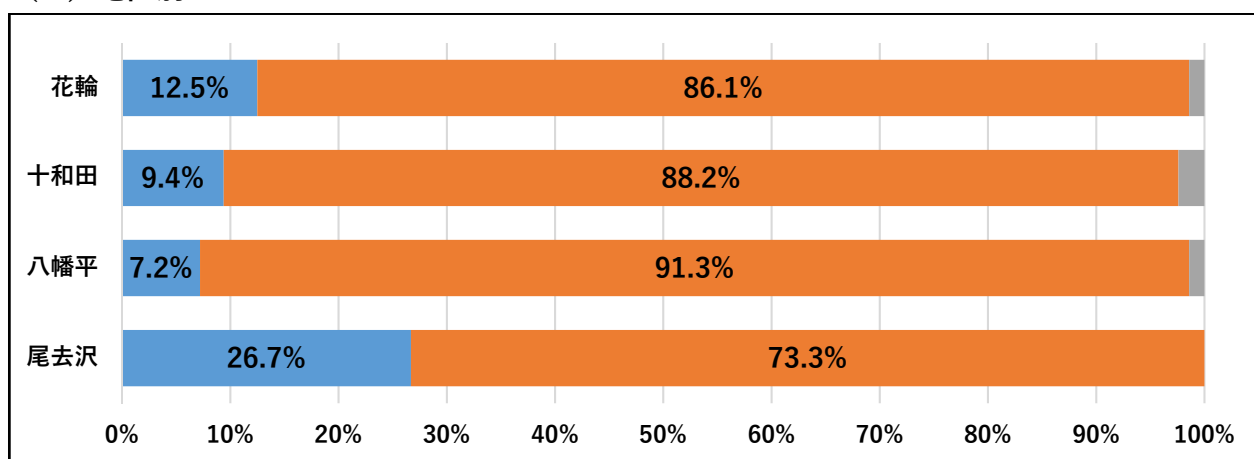
(1) 全体／男女別



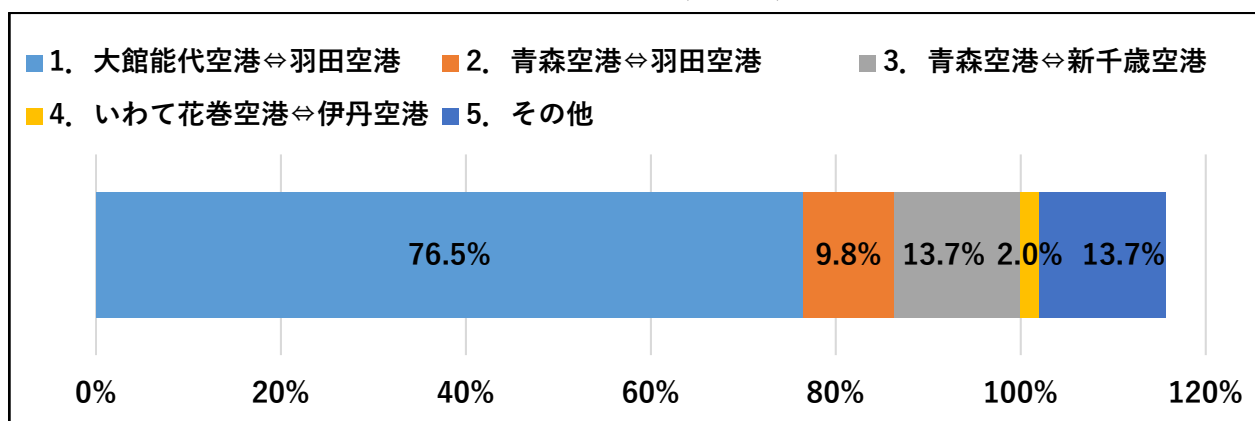
(2) 年代別



(3) 地区別



利用した空港（N=51）



（４）分析結果

昨年１年間に空港を利用した人の割合は 11.7%であり、前年度と比較して 0.7 ポイント減少しています。

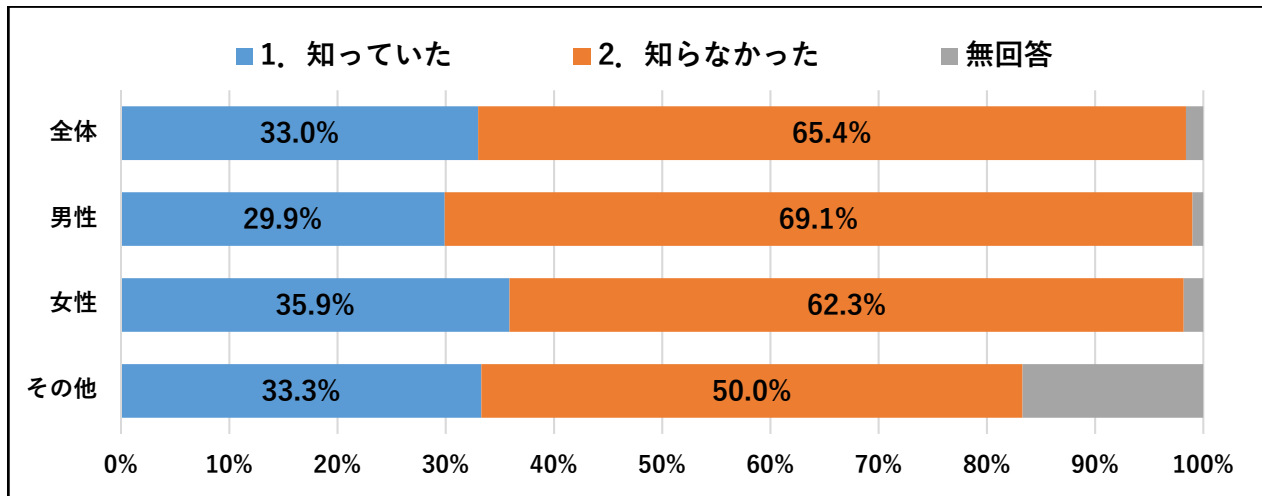
年代別にみると、30 代以下の利用が多く、前年と比較して 30 歳未満では 4.1 ポイント、30 代では 4.5 ポイント増加しました。一方で、40 代と 70 歳以上では 9 %台となり、低い利用率となりました。

利用した区間については、大館能代ー羽田間の利用が最も多く、空港利用者の 76.5%が大館能代空港を利用していることが分かりました。

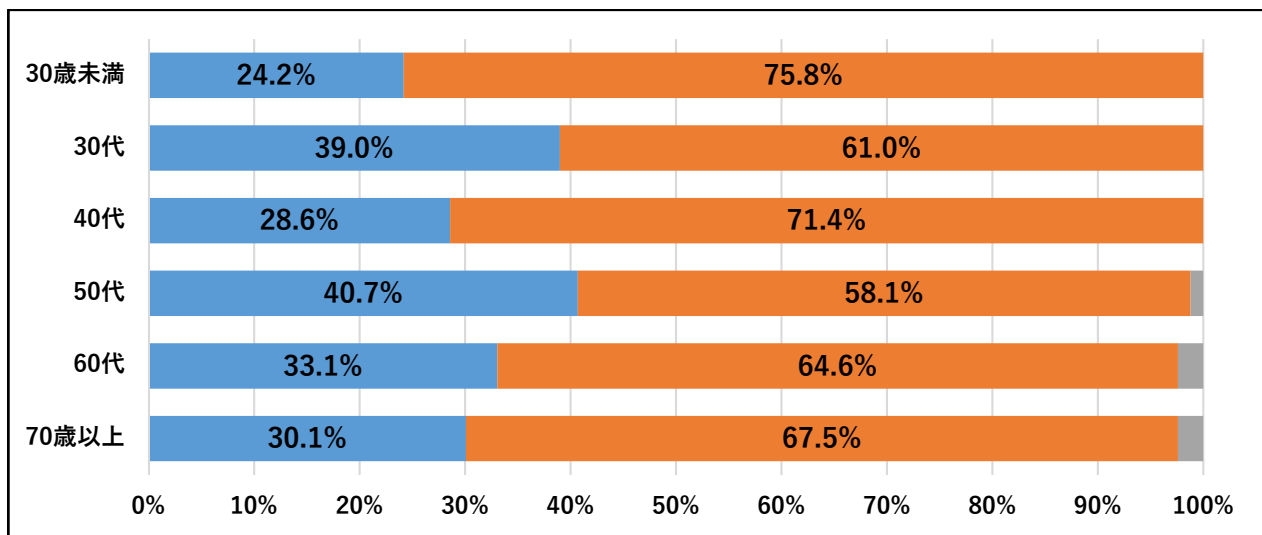
空港を利用した人の割合は依然として低いことから、引き続き空港利用促進施策を展開し、全体の利用者数を底上げする必要があります。

問8② 大館能代空港の利用促進を目的に、市民の方を対象に運賃助成（R6：5,000 円）をしています。あなたはこのことを知っていましたか。

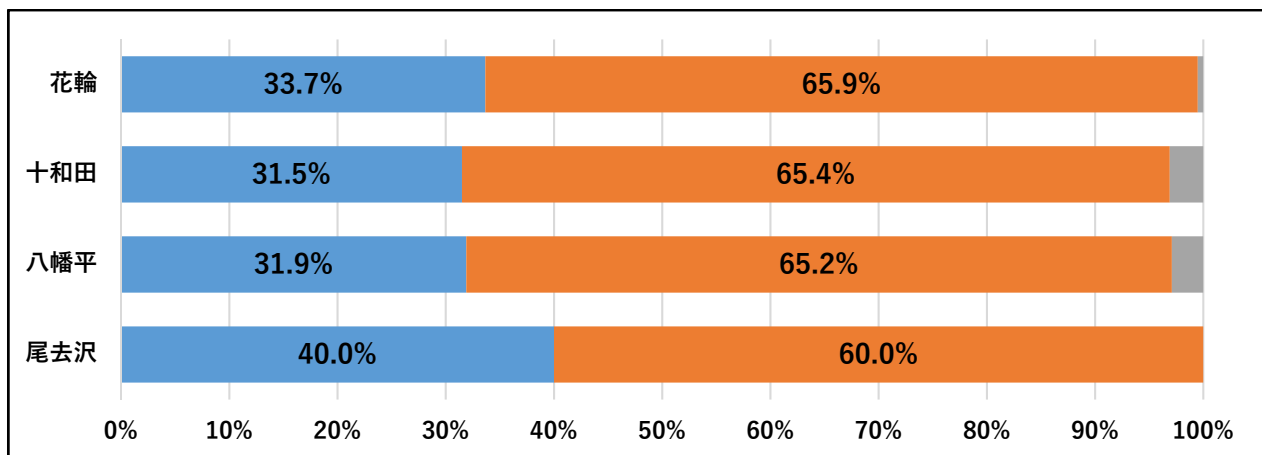
(1) 全体／男女別



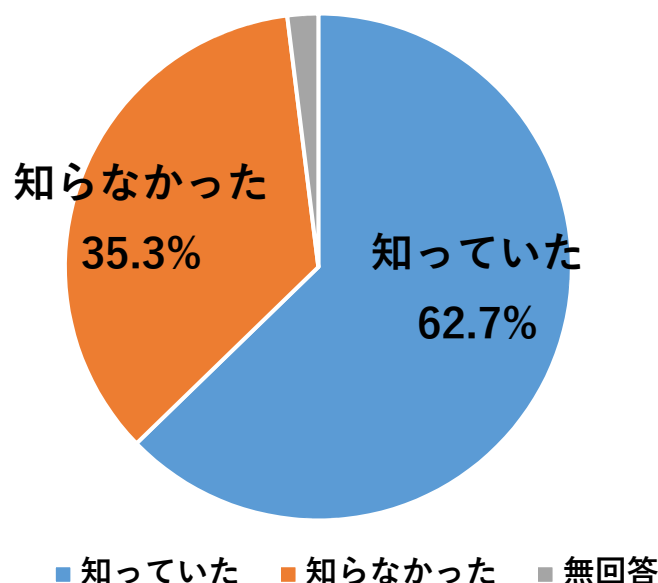
(2) 年代別



(3) 地区別



大館能代空港利用者における助成制度の認知率（N=51）



（４）分析結果

運賃助成制度について、「知っていた」と回答した割合は 33.0%で、前年度と比較して 9.1 ポイント増加しました。制度の認知度は徐々に向上してきているといえますが、依然として 6 割以上の方が制度の存在を「知らなかった」と回答しており、引き続き積極的な周知が求められています。

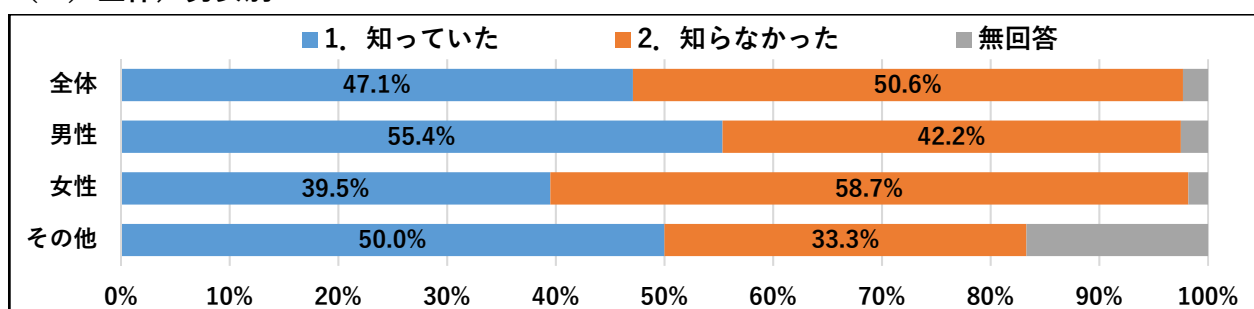
また、大館能代空港の利用者に限定した場合の制度認知率は 62.7%で、前年度比で 7.7 ポイント上昇しており、空港利用者の間では制度が徐々に浸透してきていることがうかがえます。

年代別では、「知っていた」と回答した割合は 30 歳未満が 24.2%と最も低くなっており、SNS を活用するなど若年層に対する効果的な周知が必要です。

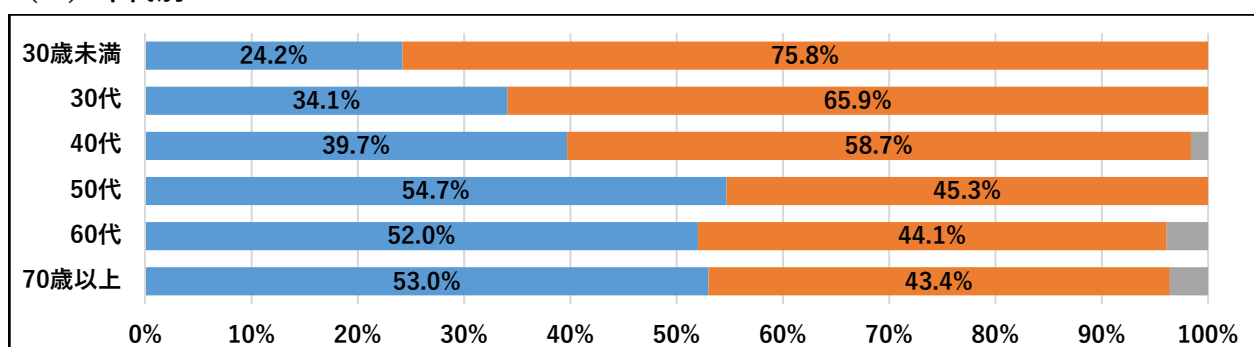
8 カーボンニュートラルについて

設問 9 鹿角市では、令和 4 年 3 月に「鹿角市 2030 ゼロ・カーボンシティ宣言」を行い、日本全体の目標である 2050 年より 20 年早い、2030 年のカーボンニュートラル実現を目指しています。このことを知っていましたか。

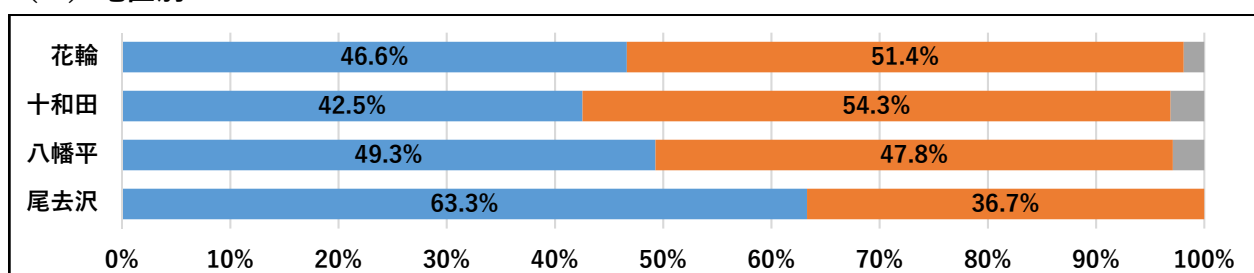
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

「鹿角市 2030 ゼロ・カーボンシティ宣言」を知っている人の割合は 47.1%で、前年と比較して 8.7 ポイント増加しました。

男女別では、男性の知っていた割合が 55.4%で、前年度と比較して 15.9 ポイント増加しました。

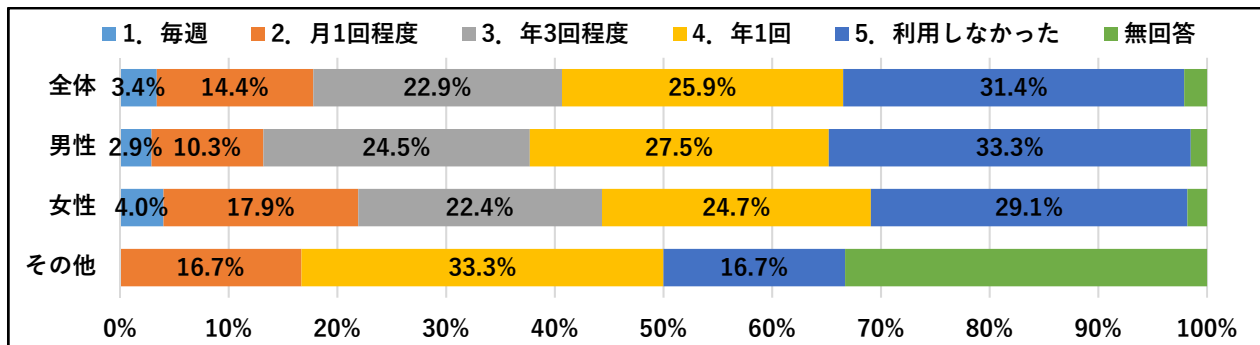
年代別では、全ての年代で前年度を上回り、特に 50 代以上の各年代で認知度が 5 割を超えました。また、30 代は前年度と比較して 11.0 ポイント増加しています。一方で、30 歳未満では 24.2%と、2.0 ポイントの増加に留まりました。

地区別でも、すべての地区で前年度を上回り、市内全体で認知度が向上していることがわかりました。

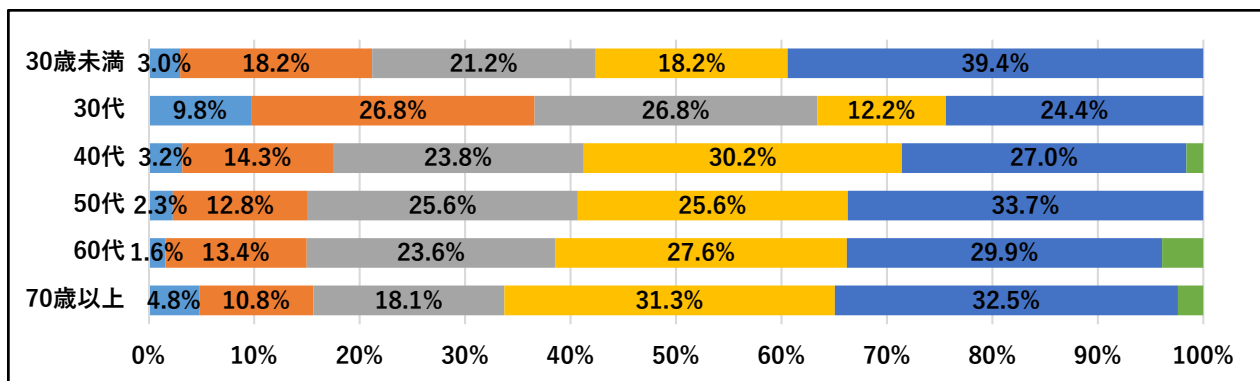
9 コモッセの利用状況について

設問 10 あなたは、昨年度 1 年間にコモッセをどれくらい利用しましたか。

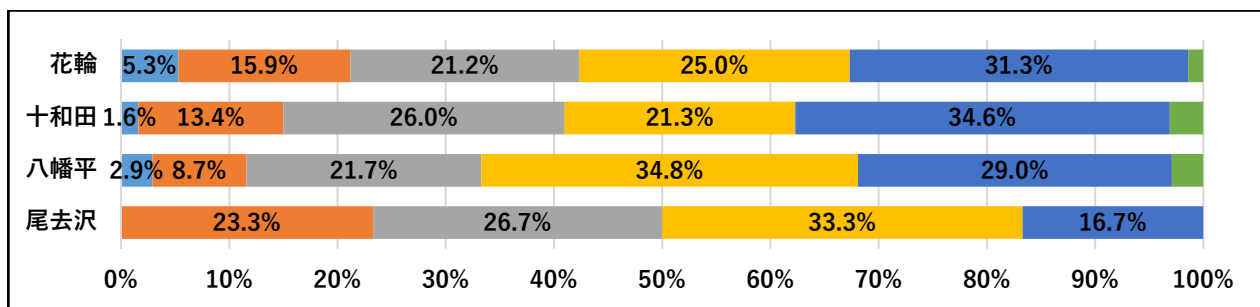
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

コモッセを利用した人の割合は全体で 66.6% となり、前年度と比較して 6.4 ポイント増加しました。

男女別では女性で利用した割合が前年度から 3.4 ポイント増加し 69.0% に、男性で利用した割合が 13.3 ポイント増加し 65.2% となり、男女ともに 60% を超えました。

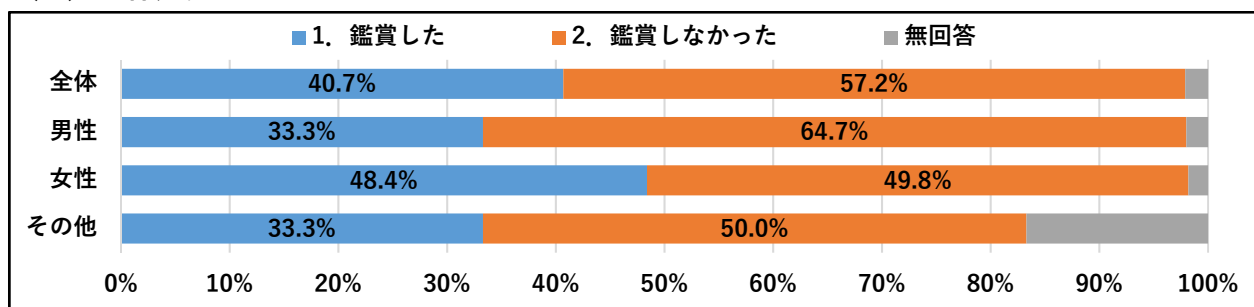
年代別では、すべての年代で利用率が 60% を上回っており、特に 30 代は 75.6% と最も高く、前年度と比較して 24.3 ポイント増加しました。

利用回数については「年 1 回」と回答した方が多く、今後も多くの市民が繰り返し利用できるような施設運営の工夫・改善が求められます。

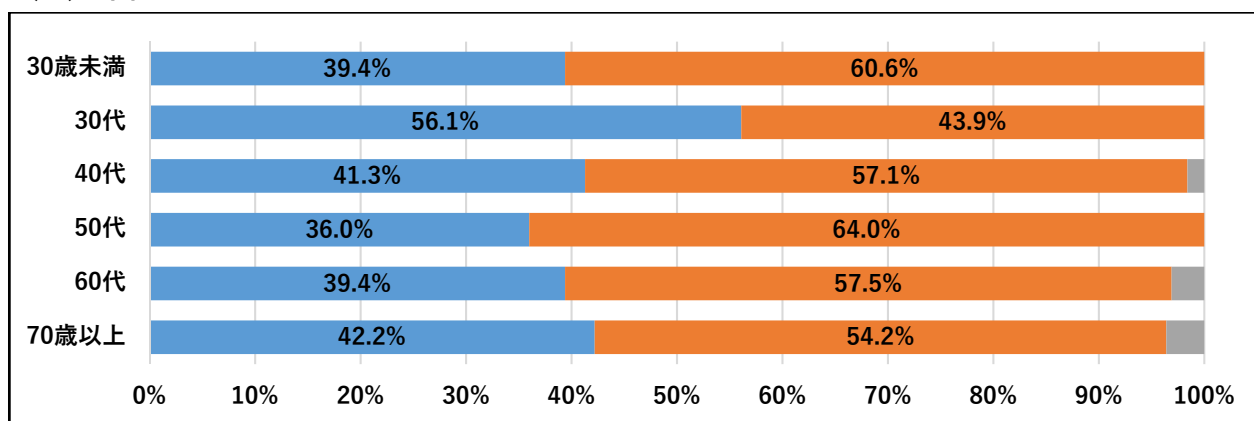
10 芸術鑑賞について

設問 11 あなたは、昨年 1 年間に市内外で文化芸術鑑賞（音楽、演劇、美術館、展覧会等）をしましたか。

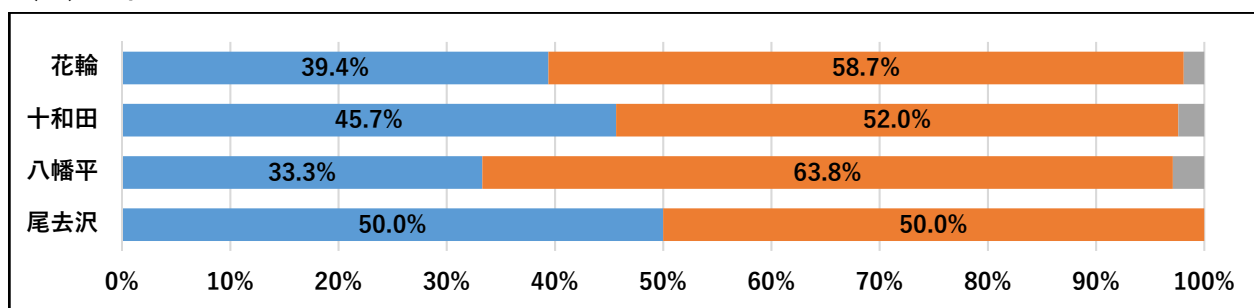
（1）全体／男女別



（2）年代別



（3）地区別



（4）分析結果

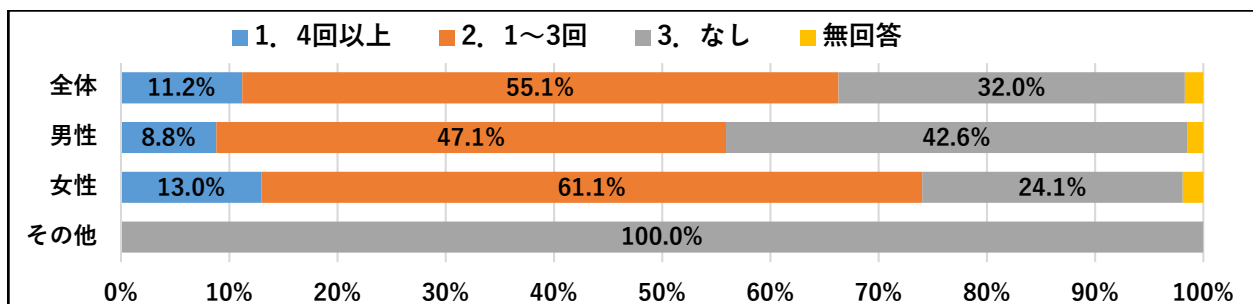
「鑑賞した」と回答した割合は 40.7%と前年度と比較して 3.0 ポイント減少しました。

年代別では 30 歳未満の「鑑賞した」と回答した割合は 39.4%と前年度と比較して 23.6 ポイント減少した一方で、30 代は 56.1%と、前年度と比較して 12.5 ポイント増加しました。

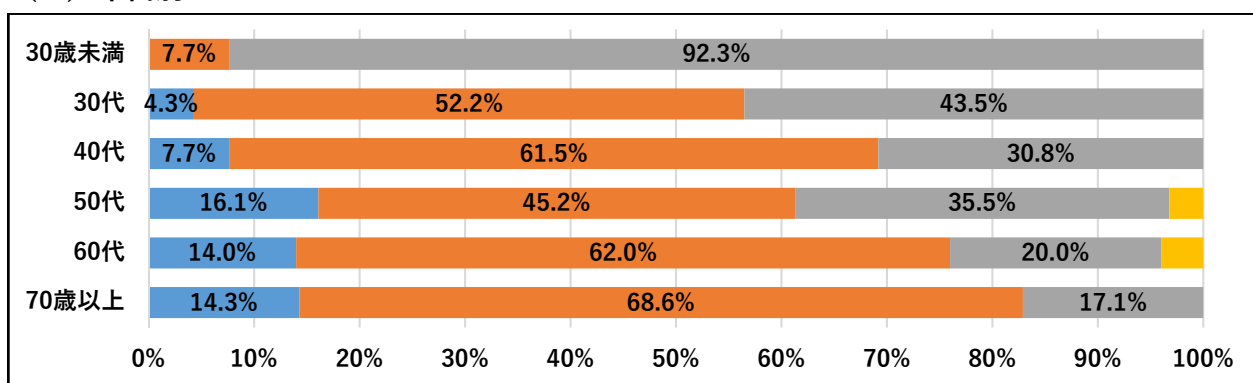
地区別では、花輪地区が 39.4%、八幡平地区が 33.3%となり、前年度と比較してそれぞれ 10 ポイントほど減少しました。一方で十和田地区は 45.7%で前年度と比較して 11.2 ポイント増加しました。

◆芸術鑑賞した人のうち、コモッセで何回鑑賞したか。

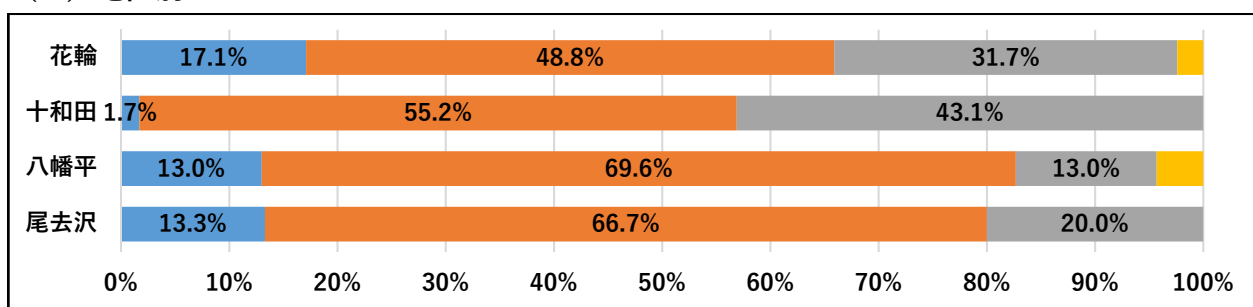
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

芸術鑑賞をした人のうち、コモッセで鑑賞した人の割合は66.3%で、前年度から7.3ポイント減少しました。

男女別では、女性は74.1%と1.2ポイント増加した一方で、男性は55.9%と15.7ポイントの大幅な減少が見られました。

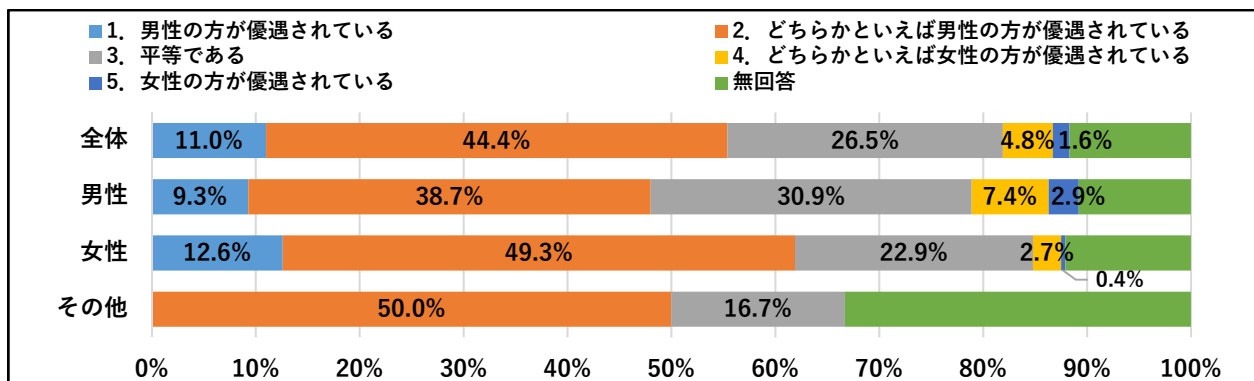
年代別では、特に30歳未満の若年層における利用率の低下が顕著であり、今後はこの世代が関心を持ちやすい演目や企画内容の工夫が求められます。

地区別では、八幡平地区が82.6%で5.7ポイントの増加、尾去沢地区が80.0%で14.1ポイントの減少となりましたが、両地区とも他の地区と比較して高い利用率を維持していることが分かりました。

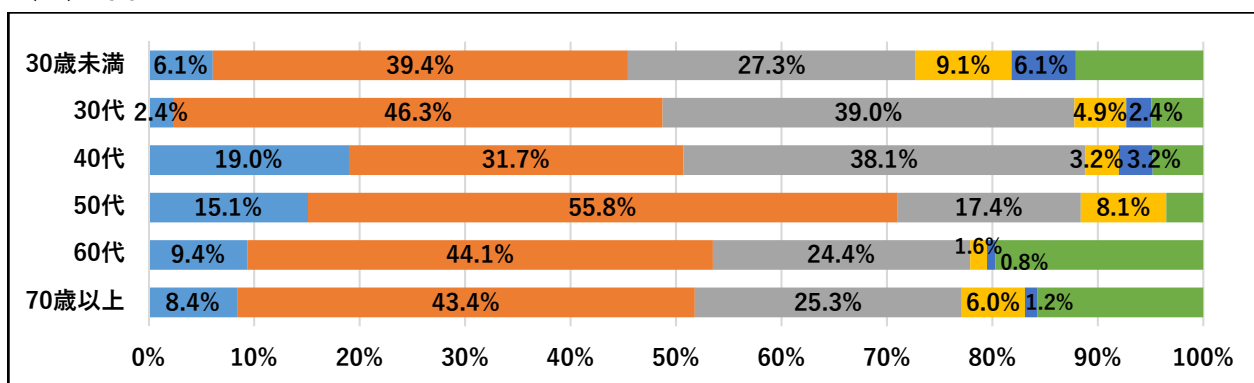
11 男女共同参画の状況について

設問 12① 男女の地位は平等になっていると感じますか。

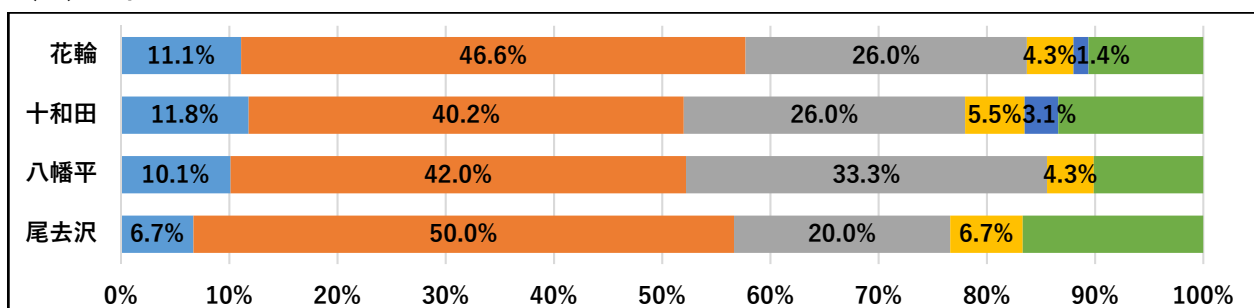
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

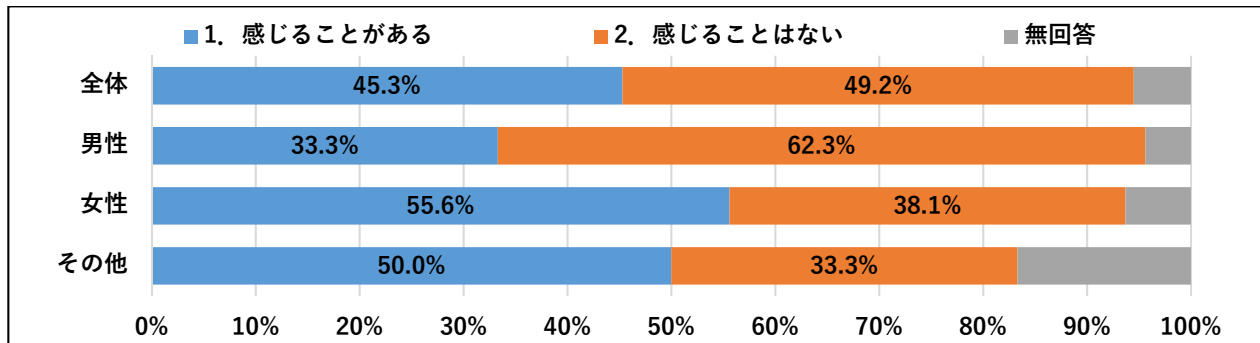
男女の地位について「平等である」と回答した人の割合は26.5%で、令和2年度に実施した前回調査（26.7%）と比較して0.2ポイント減少しました。

男女別にみると、「平等である」と回答した割合は男性が30.9%、女性が22.9%と男性のほうが高い傾向にありますが、「男性優遇」の回答（合計）は全体で55.4%と、前回調査から4.4ポイント減少しました。

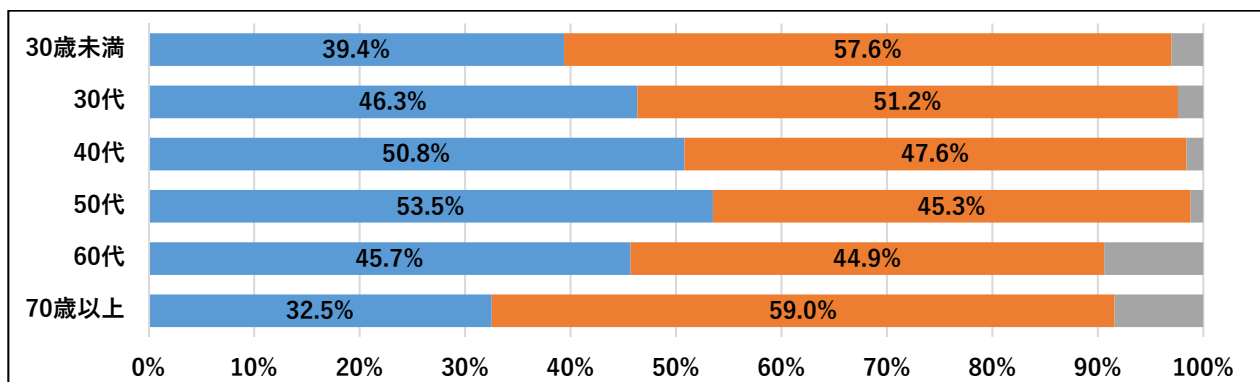
年代別にみると、30代・40代では約4割が「平等である」と回答しています。なお、30歳未満では「女性のほうが優遇されている」と感じている人の割合が15.2%に上っており、若年層における意識の変化がうかがえます。

設問 12② 日常生活において、性別役割分担意識を感じることはありますか。

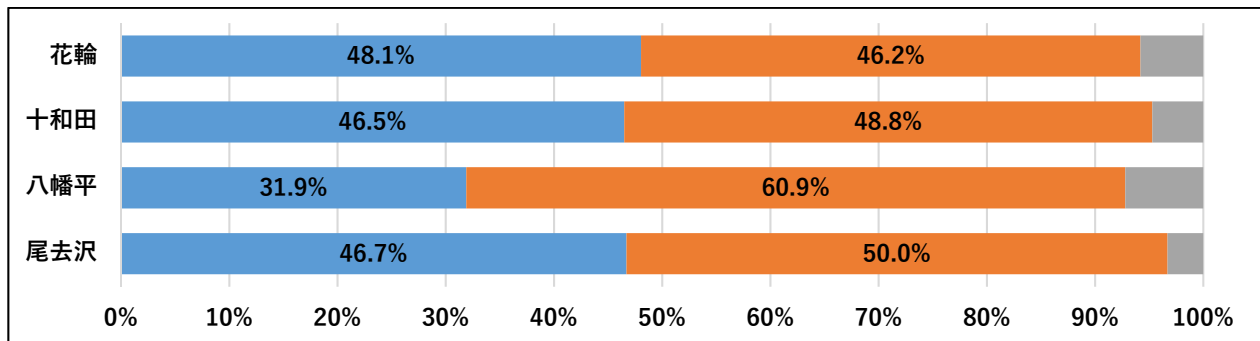
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

性別による役割分担意識について、「感じることもある」と回答した人の割合は 45.3%であったのに対し、「感じることはない」と回答した割合は 49.2%とやや上回る結果となりました。

男女別にみると、「感じることもある」と回答した割合は、女性は 55.6%と半数を超えており、女性の方が性別による役割分担を強く感じている傾向がうかがえます。

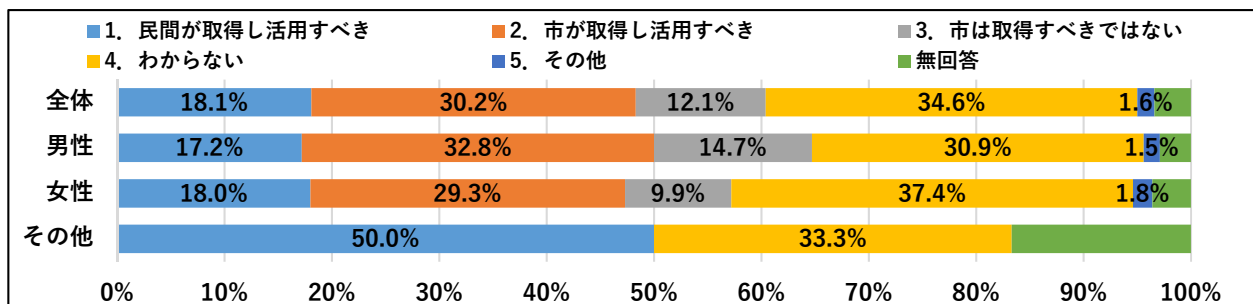
年代が上がるほど「性別による役割分担を感じる」割合は高まりますが、60 代以上では逆に低下します。これは、若年層の価値観の変化や、高齢層における性別分担の固定化による意識の低下など、世代ごとの背景が影響していると考えられます。

地区別では、八幡平地区において「感じることもある」と回答した割合が他の地区と比べて低い結果となりました。地域の行事や活動などにおいて性別にかかわらず住民が協力し合う機会が多く、性別による役割分担を意識しにくい地域性が影響しているものと推察されます。

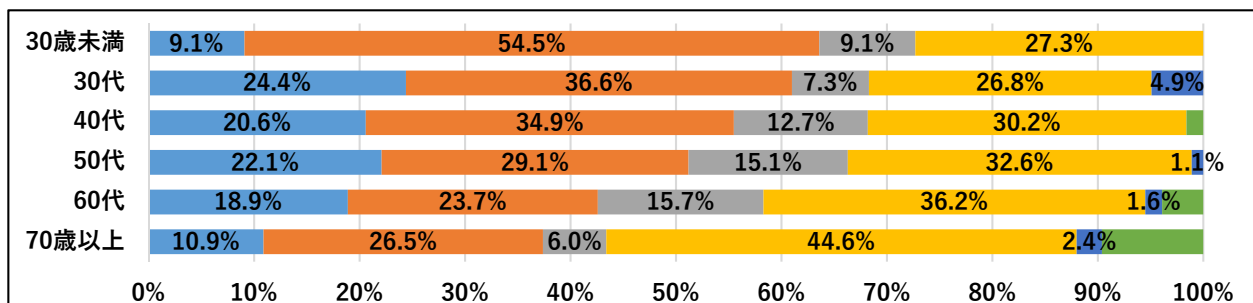
12 十和田高校跡地の活用について

設問 13① 跡地活用について、あなたの考えに近いもの一つに○をつけてください。

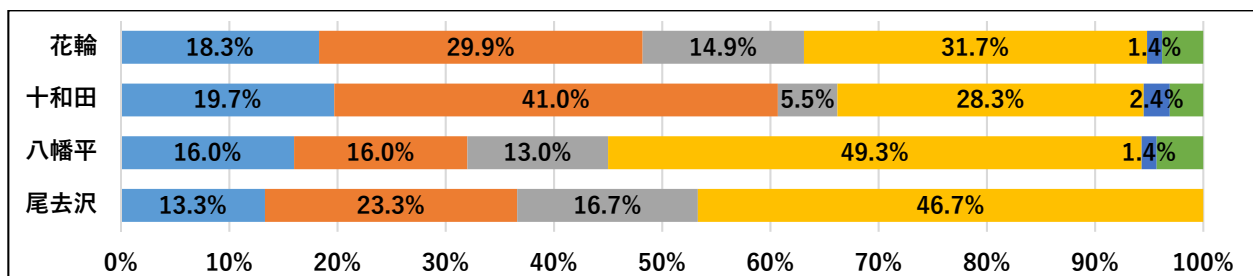
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

「市が取得し活用すべき」との回答が 30.2%を占め、市による取得・活用を望む意見が一定程度見られた一方で、「民間が取得し活用すべき」(18.1%) および「市は取得すべきではない」(12.1%) を合わせると 30.2%であり、市による取得に慎重であるべきとの考えも一定の割合を占めています。

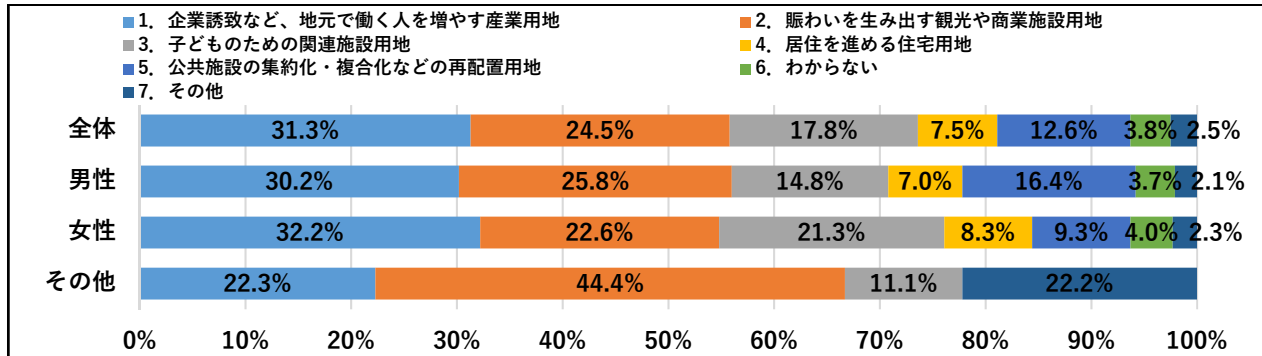
最も多かった回答は「わからない」(34.6%) であり、跡地活用に対する具体的な関心や判断意識が市民全体に広がっていないことが分かりました。

年代別では、「市が取得し活用すべき」と回答した割合は、30 歳未満で 54.5%と最も高く、以降、年代が上がるにつれてこの割合は低下しています。

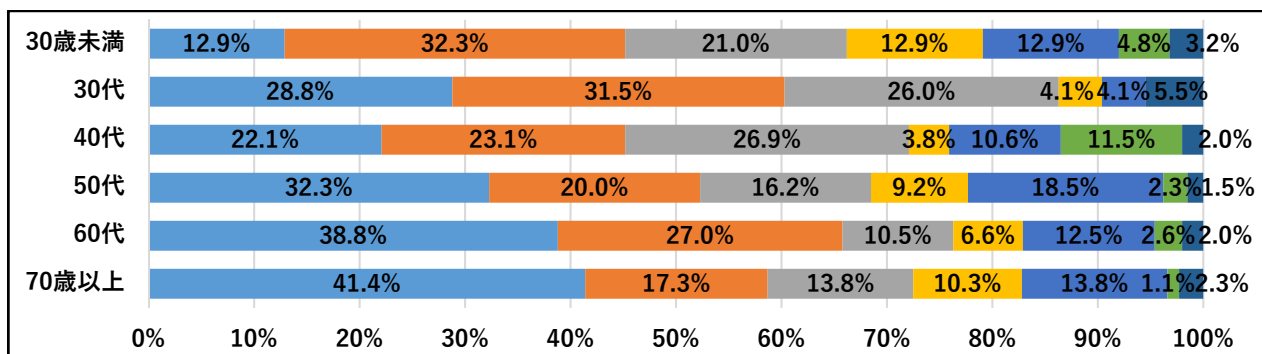
地区別では、「市が取得し活用すべき」と回答した割合は、所在地区である十和田地区が 41.0%と最も高くなっています。一方で「わからない」と回答した割合は、八幡平地区が 49.3%と最も高く、次いで尾去沢地区が 46.7%となっており、地域的な距離が関心に影響していると考えられます。

設問 13② 跡地活用の方向性として、どのようなものが望ましいと思いますか。（設問 13①で「市が取得」「民間が取得」を選択した方のみ回答。優先順位をつけて2つ選択し、1位を2点、2位を1点として集計）（N=611）

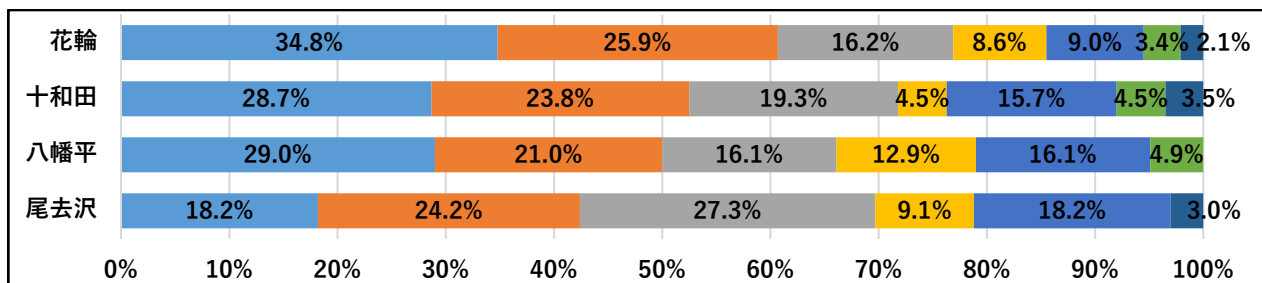
（1）全体／男女別



（2）年代別



（3）地区別



（4）分析結果

もっとも多くの回答を得たのは「地元で働く人を増やす産業用地（企業誘致など）」で、次いで「観光・商業施設による賑わいの創出」が挙がっており、地域ににぎわいをもたらす活用への関心が強いことが分かります。一方で、公共施設の再配置などの行政主導型の用途は、相対的に支持が低く、跡地の活用には即効性や経済効果を重視する意識が高いといえます。

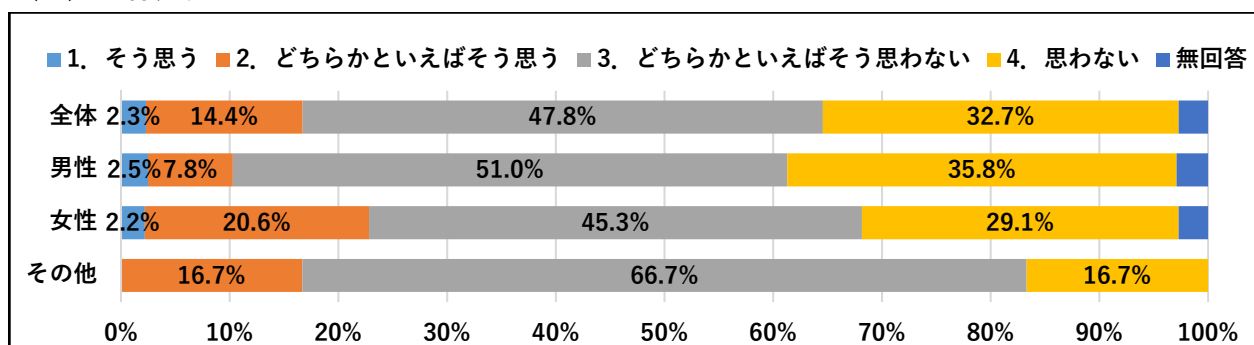
年代別では、30歳未満、30代では、「賑わいを生み出す観光や商業施設用地」と回答した割合が最も高い一方で、50代、60代、70歳以上では「企業誘致など、地元で働く人を増やす産業用地」と回答した割合が最も高くなっています。

地区別では、花輪地区、十和田地区、八幡平地区で「企業誘致など、地元で働く人を増やす産業用地」と回答した割合が最も高くなっており、尾去沢では「子供のための関連施設用地」と回答した割合が最も高くなっています。

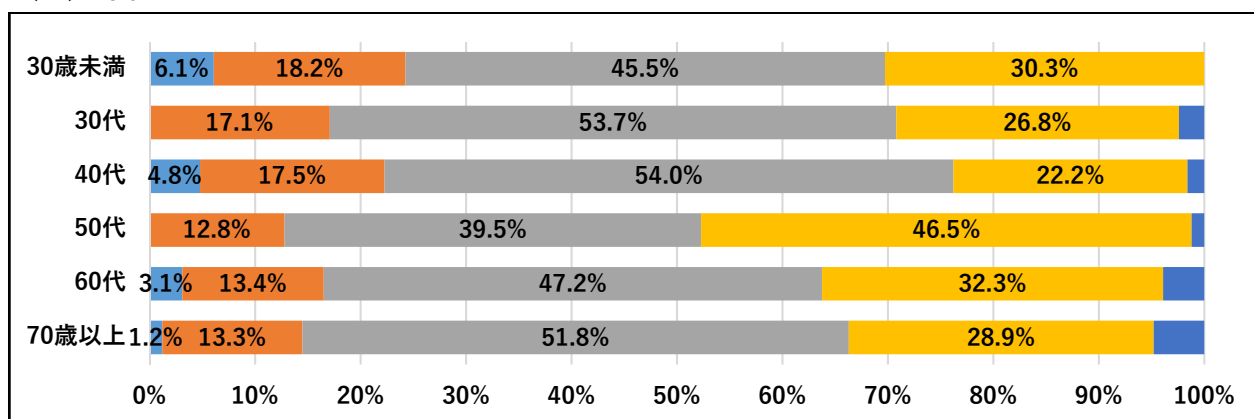
13 まちの満足度について

設問 14① あなたは、鹿角市の産業（会社、店舗、農業など）は元気で活力があると思いますか。

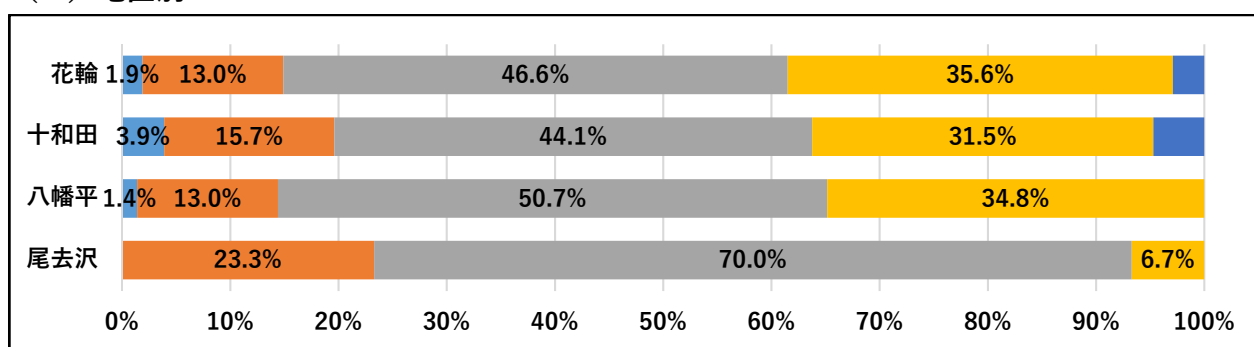
（１）全体／男女別



（２）年代別



（３）地区別



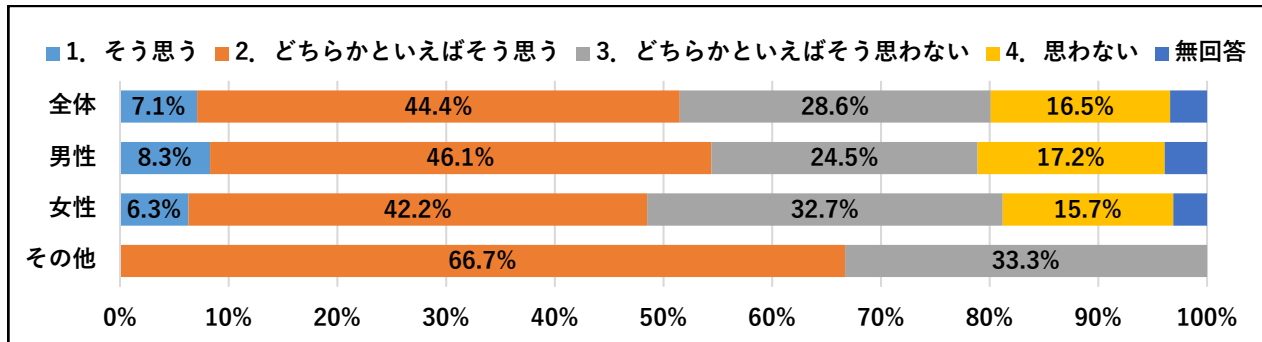
（４）分析結果

「市の産業は元気で活力があると思う」と回答した割合は 16.7% で、昨年度から 4.1 ポイント増加しましたが、令和元年度の基準値（19.5%）と比較すると 2.8 ポイント下回っています。

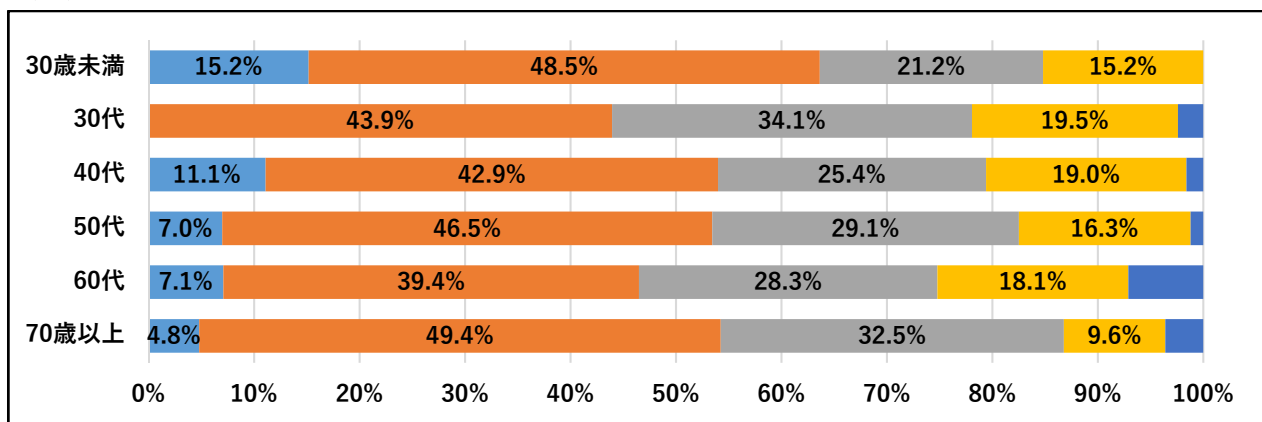
年代別では、30 歳未満では 5.4 ポイント、30 代では 0.9 ポイントといずれも減少しました。一方で、40 代は 6.1 ポイント、50 代は 4.4 ポイント、60 代は 7.5 ポイント、70 歳以上は 1.4 ポイントの増加が見られ、高齢層を中心に改善傾向が見られる一方で、若年層では「市の産業は元気で活力がある」と感じる割合が減少する傾向がみられました。

設問 14② あなたは、鹿角市が心身ともに健康な暮らしができるまちだと思いますか。

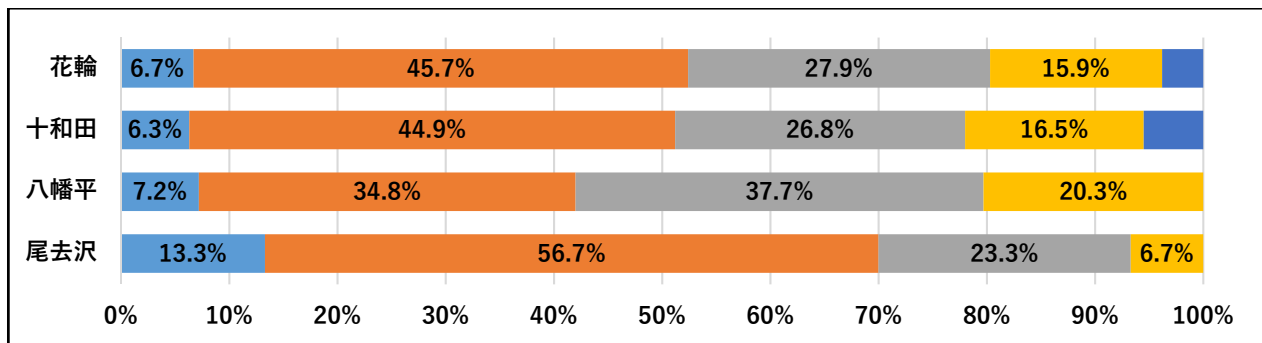
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

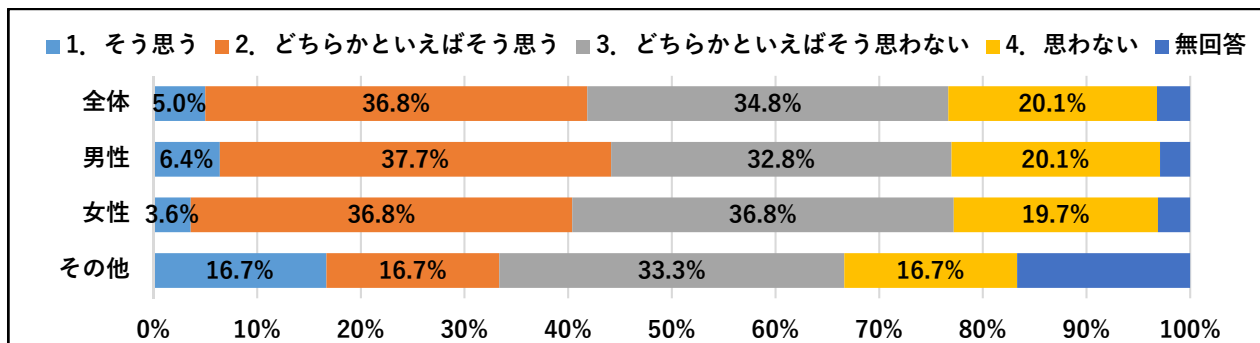
「心身ともに健康な暮らしができるまちだと思う」割合は 51.5% となり、昨年度 (44.8%) より 6.7 ポイント増加しました。一方で、令和元年度の基準値 (58.7%) と比較すると 7.2 ポイント低い水準にあります。

年代別では大きなばらつきは見られず、すべての年代で昨年度より増加傾向となっています。

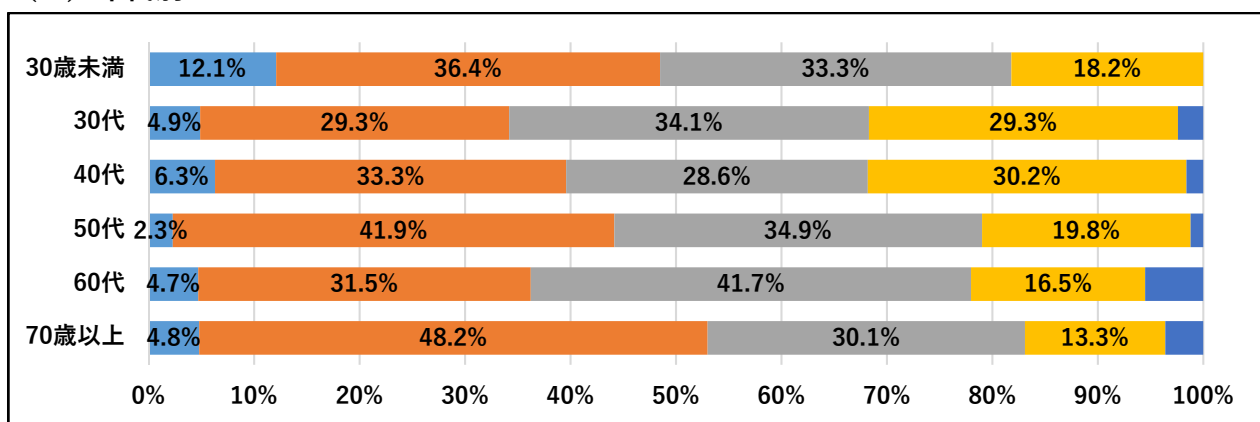
地区別では、尾去沢地区が 70.0% と他地区と比べて高く、特に昨年度からの伸び幅が 31.8 ポイントと顕著でした。

設問 14③ あなたは、鹿角市は生活環境が快適なまちであると思いますか。

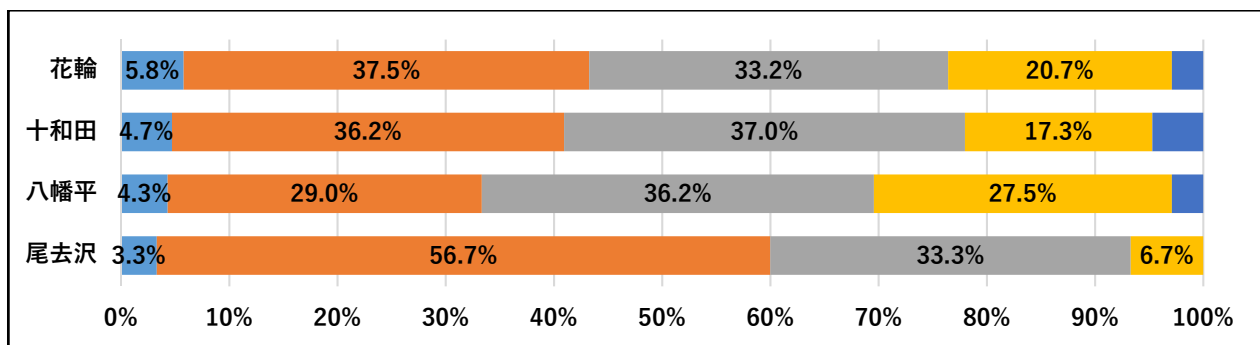
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

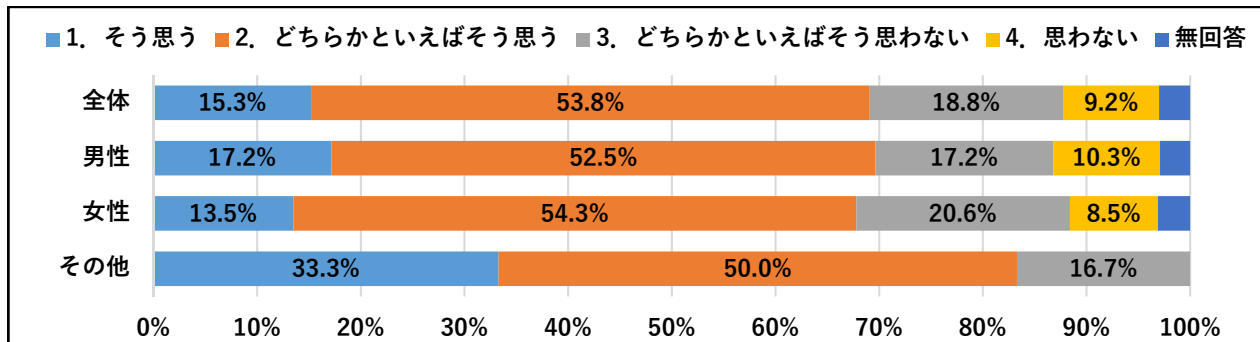
「生活環境が快適なまちであると思う」割合は41.8%となり、前年度（45.6%）より3.8ポイント、令和元年度基準値（49.7%）より7.9ポイント減少しました。

年代別では、前年度と比較して70歳以上を除くすべての年代で減少しています。

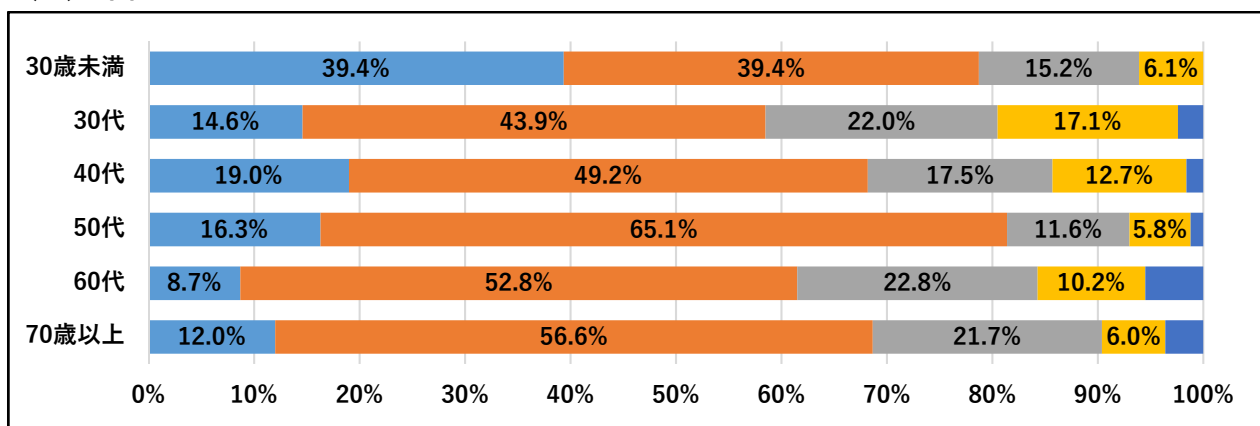
地区別では、尾去沢が60.0%とほかの地区と比較して高くなっているうえ、前年度と比較して15.9ポイント増加しています。

設問 14④ あなたは、鹿角市が安全で安心して暮らせるまちだと思いますか。

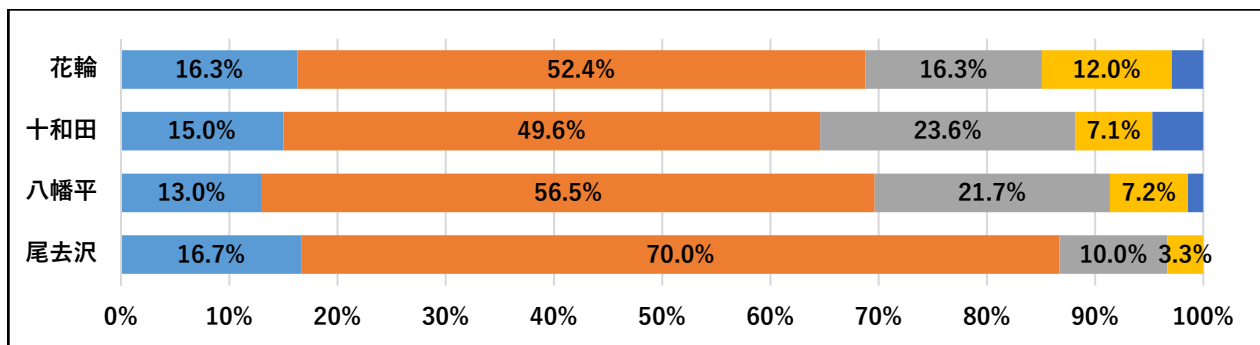
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

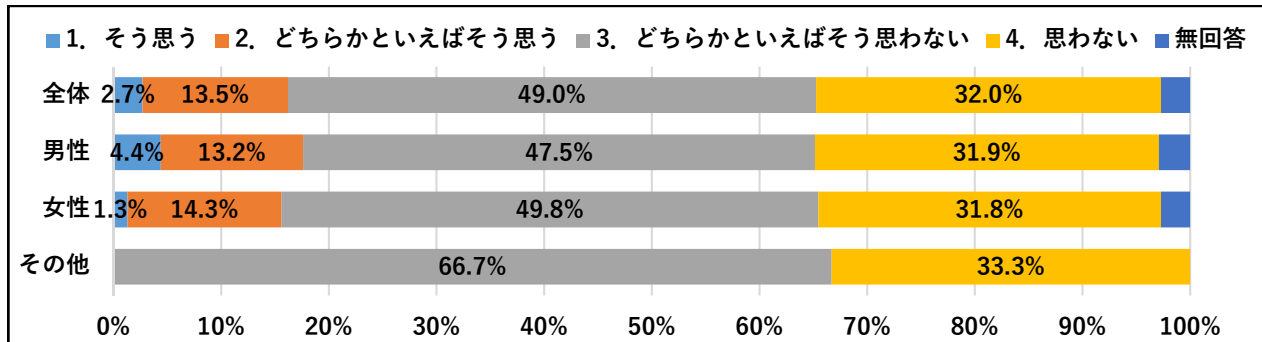
「安全で安心して暮らせるまちだと思う」割合は69.1%となり、前年度（70.0%）より0.9ポイント、令和元年度基準値（77.6%）より8.5ポイント減少しました。

年代別では、30歳未満が78.8%と前年度と比較して8.4ポイント増加しているほか、「そう思う」と回答した割合が39.4%とほかの年代と比較して高くなっています。

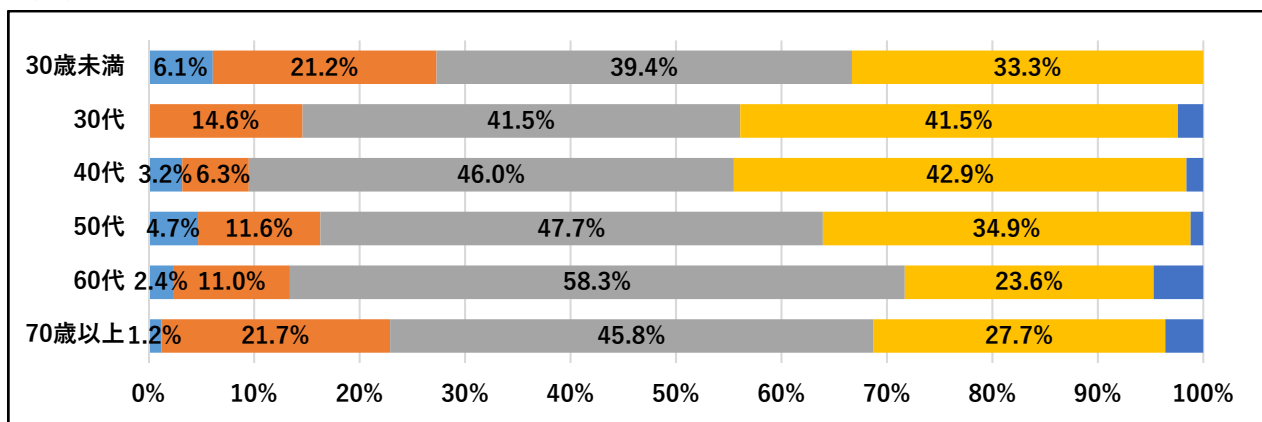
地区別では、尾去沢が86.7%とほかの地区と比較して高くなっているうえ、前年度と比較して19.0ポイント増加しています。

設問 14⑤ あなたは、鹿角市が市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか。

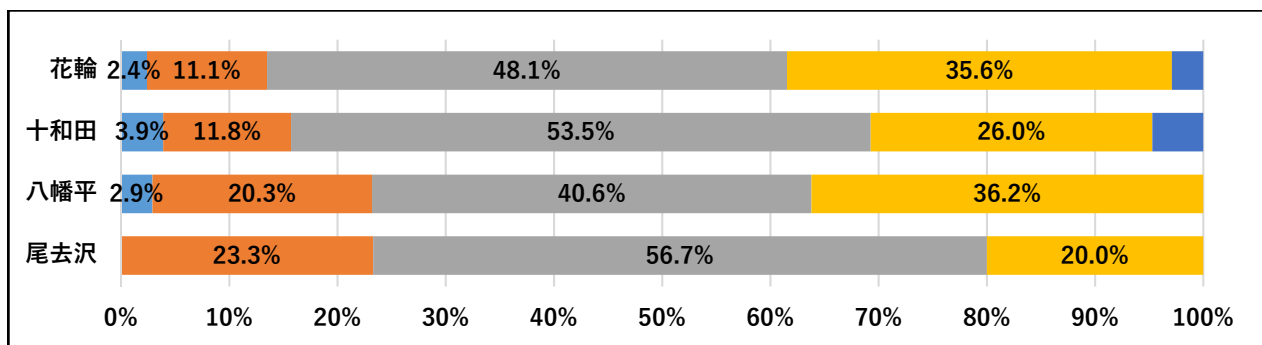
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

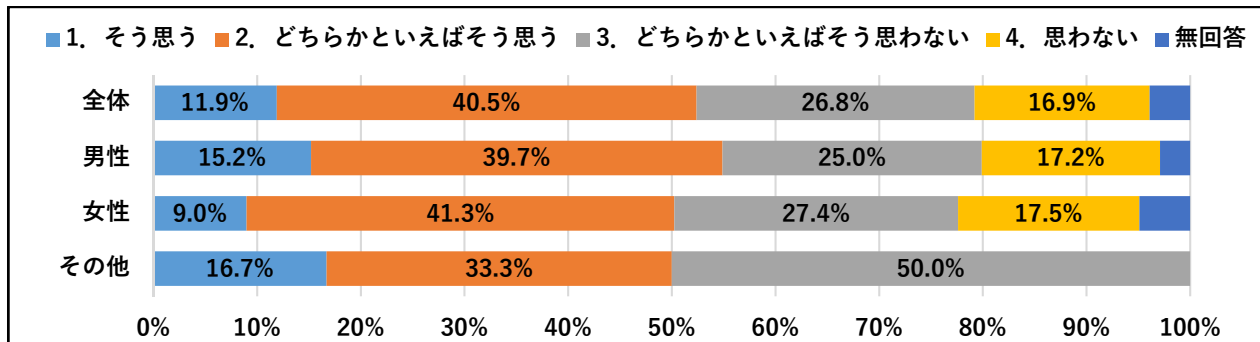
「市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思う」割合は 16.2%となり、前年度（21.4%）より 5.2 ポイント減少、令和元年度基準値（23.4%）より 7.2 ポイント減少しました。

年代別では、40 代が 9.5%と前年度と比較して 12.1 ポイント減少し、10%を下回りました。

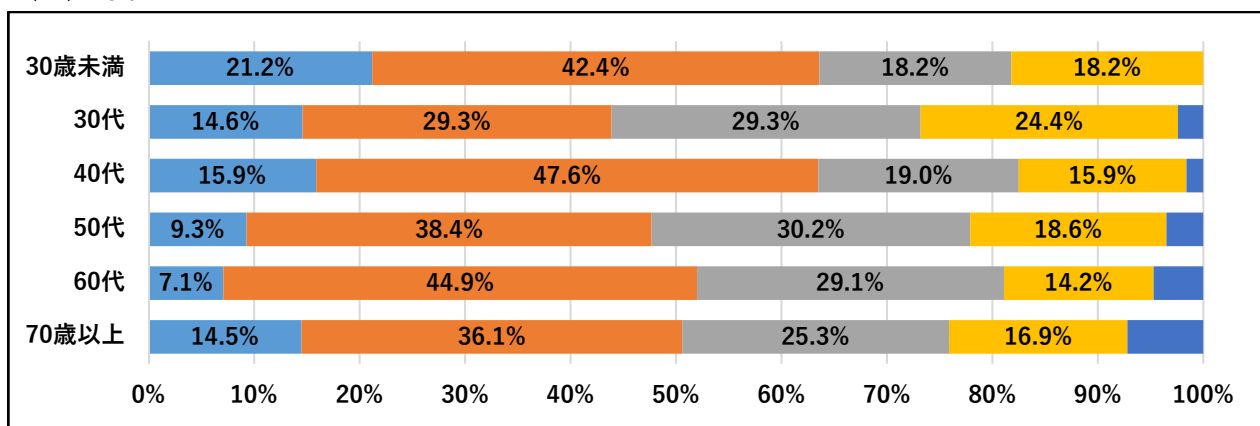
地区別では、すべての地区で前年度と比較して減少しました。

設問 14⑥ あなたは、鹿角市は文化遺産が豊富で誇れるまちであると思いますか。

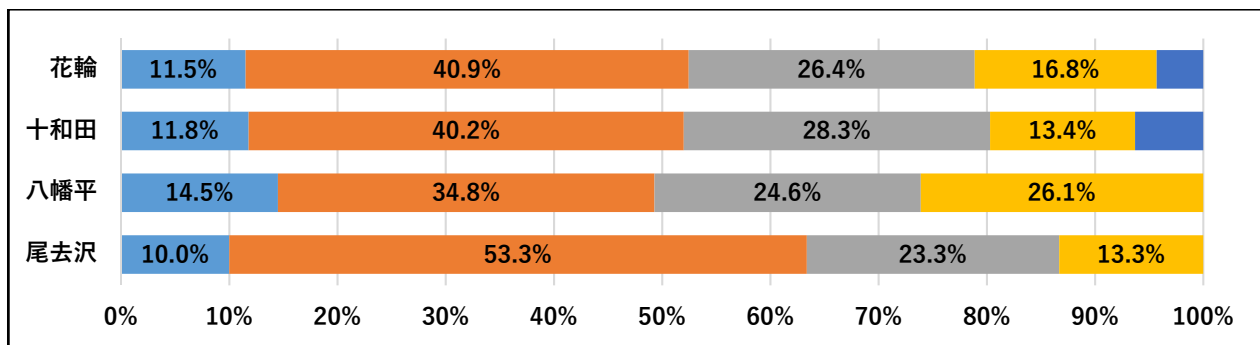
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

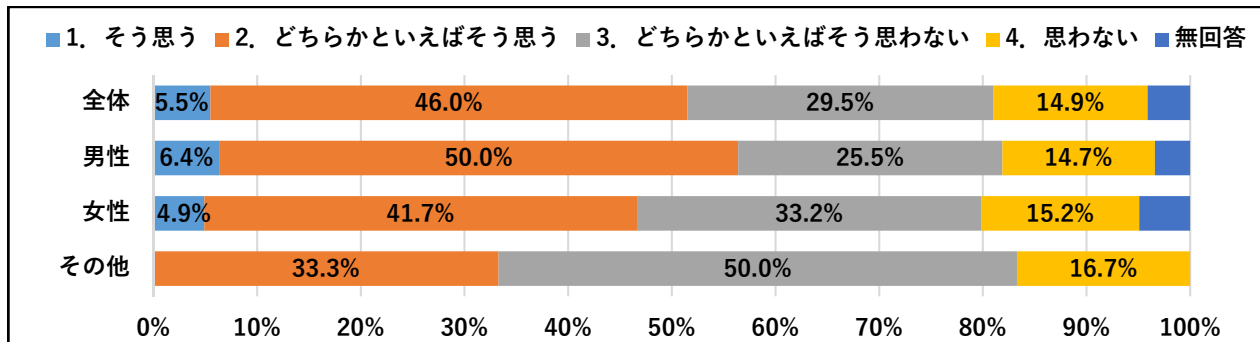
「文化遺産が豊富で誇れるまちであると思う」割合は52.4%となり、前年度（55.9%）から3.5ポイント減少し、令和元年度基準値（51.3%）より1.1ポイントの増加となりました。

年代別では、30歳未満は63.6%、40代は63.5%と、ほかの年代と比較して高くなっています。

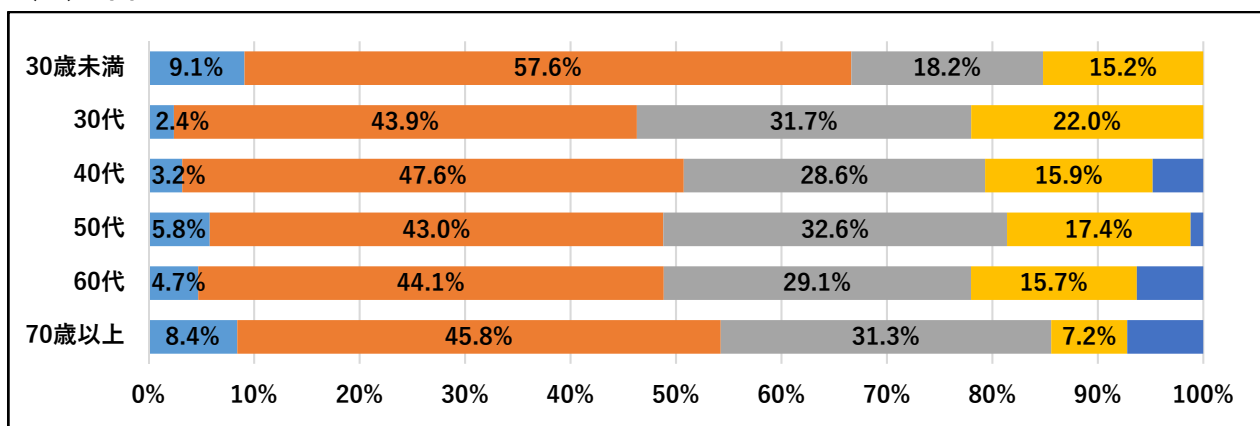
地区別では、尾去沢が63.3%と、前年度と比較して10.4ポイント増加しており、最も高くなっています。

設問 14⑦ あなたは、自分に必要な行政サービスが受けられていると思いますか。

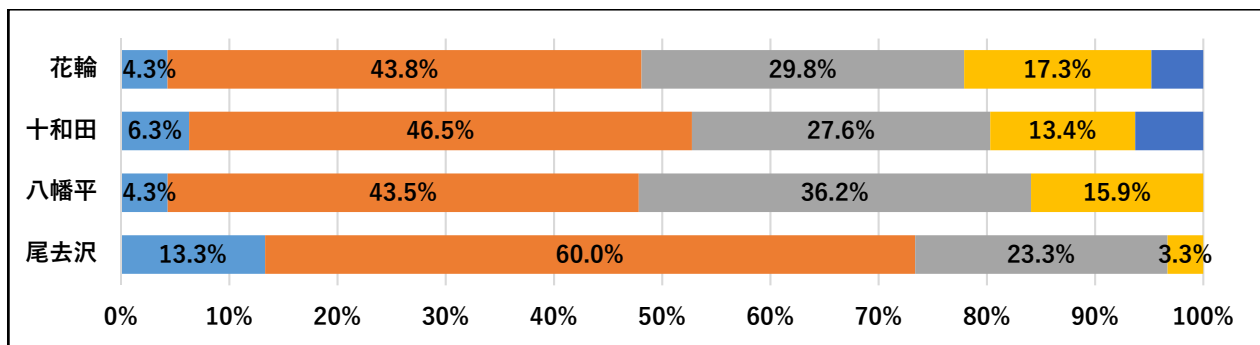
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

「自分に必要な行政サービスが受けられていると思う」割合は 51.5%となり、前年度（48.6%）より 2.9 ポイント増加し、令和元年度基準値（59.8%）より 8.3 ポイント減少しました。

年代別では、60 代、70 歳以上を除いてすべての年代で増加しました。特に 30 歳未満は 66.7%と最も高くなっており、前年度と比較して 14.8 ポイント増加しています。

地区別では、尾去沢が 73.3%と前年度と比較して 38 ポイント増加しており最も高くなっています。

14 自由意見

設問 15 で記述のあった自由意見では、133 人から 223 件の市政に関する意見や感想を記載いただきました。自由意見については施策別に整理し、それ以外を政策全般に関すること、職員・市長・市議会議員に関すること、市の窓口・行政手続きに関すること、アンケートに関すること、その他に分類し、下表に掲載しています。

(1) 施策別

基本戦略 1 活力を生む地域産業・生業を支える

取組方針 1 地域産業の成長への支援

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	40 代	収入が上がる努力をしてほしい
花輪	男性	60 代	各産業の成長スパイラルが個々のもので連携していない。産業の複合化、連携の強化が必要、観光産業の施設の連携、土産品の開発、販売など。商品開発のスピード、事業者の育成がないように感じる。
無回答	無回答	無回答	鹿角市の雇用についてですが、地元根差している企業を大切にしてほしい。お隣・岩手県では某自動車メーカーが、ある車種を岩手県工場だけで生産するからと 2000 人規模の雇用を確保したのに、景気が不安定になった途端一気にその 2000 人を解雇して人があふれ、岩手県全体の経済に物凄く悪影響が出た、と営業で回ってくる人から聞きました。誘致企業は傷が浅いうちに撤退する傾向があるので、鹿角市に根差している、誘致企業を含め地元企業を大切にしてほしいです。
無回答	無回答	無回答	鹿角市の主な産業である農業は、もう個人でやるのは限界だと思います。企業化して大規模農業を目指さないと商売としては成り立たないと思う。企業化することによって雇用を生み、労働環境も改善していくように市としても指導して欲しい。農業の中でも単純作業であれば障害者雇用も生まれるのではないのでしょうか。
花輪	男性	70 歳以上	この数年間、「地域活性化」ということで、藻谷浩介氏の講演会等を行っていたが、その企画の総括と今後の方針はどうなっているのか公表してほしい。
花輪	女性	70 歳以上	後継者のいない田んぼや畑の再利用

取組方針 2 意欲のある就労・就農への支援

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30 歳未満	仕事がない
花輪	女性	40 代	若い人たちのために会社や市がどうのこうの…って言っている割に若い人たちが働きたいと思えるようなメリットが全くないから、県外に行く人が多いのだと思う。市内で就職しても、いじめや嫌がらせが多く、会社自体が募集をかけているのにいざ就職すると、辞めざるを得ない方向に持っていったり、会社側が解雇したりすると会社側が訴訟されるからと言って、自主退職するよう頼まれたり、朝に急に解雇を言い渡されたり、給料を払わず、明細も出さない会社もあった。うわべだけの求人募集なら出すなと思った。鹿角市と職業安定所と企業がグルになっているとしか思えない。
花輪	女性	40 代	周りにも多々いるが、生活保護をもらっている人たちのほうが普通に働いている人よりも金額が多く、旅行に行ったり、ギャンブルに使う人もいて、おかしいと感じる。まじめに働いていても、給料が少ないから、働いていてはかばかしくなる。
花輪	女性	40 代	子育て世帯と高齢者にだけメリットがあっても、その中で働いている若い人達へのメリットが全くないことが不満です。
十和田	男性	40 代	若い人が働きやすい環境や仕事がたくさんあると、若い人が残ってくれると思う。

花輪	女性	50 代	若い人達が地元で働きたいと思えるような環境を作ってほしいです。
花輪	女性	50 代	人口減少(学校や仕事)対策、賃金上昇
花輪	女性	50 代	みな、県外、市外に行ってしまう。戻ってきても、仕事がない。
花輪	女性	50 代	若い人たちが、戻ってきて仕事する場が足りない！
八幡平	男性	50 代	鹿角市の人口減少に歯止めをかける為には、この町で暮らして行きたいと思わせなくてはならない。基本的な仕事での最低限度の給与の底上げが必要不可欠。
花輪	女性	60 代	とにかく魅力的な仕事がなければ、若い人は県外に行ってしまう。都会の企業と協力して、若い人が魅力を感じるようなクラウドソーシングで生計を立てられる仕組みを作り、市民が利用できるようにする。クラウドソーシングで、個人で生計を立てられるようにするのは至難のワザです。
十和田	女性	60 代	若者が働いて、家庭生活ができる給料にしてほしい。将来、子どもが大学に行けるお金を作れるようにしてほしい。

基本戦略 2 元気で健やかな暮らしを支える

取組方針 4 心身の健康づくりに取組みます

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30 代	なぜ母子保健を推進している中で保健師さんしか採用がないのですか。他の市町村では助産師さんの採用があるようです。はっきり言って新生児のお世話など保健師さんに相談しても役に立たないことが多く、助産師さんに相談することになってしまうので二度手間です。
八幡平	女性	30 代	フッ素のうがいに不安があります。歯は大切ですが、脳と環境には良くありません。子どもに行わせることに不安があります。現場の先生にも負担があるのでは…と思っています。
八幡平	女性	60 代	保健センターなど主催で週に 1 回とか月に 2 回とか、決まった曜日 日中の決まった時間に身体を動かせるようにいろいろな工夫されていると思いますが、働いている方には利用しづらいです。予防のため、ストレス解消のためにも高齢者も女性も使いやすいスポーツジムなどの誘致、行政もそれを利用推進していく事を切に希望します。
尾去沢	女性	70 歳以上	ささやかなお願いですが、公園等に子ども用の遊具の設置だけではなく、大人もストレッチや体力を付けられるような器具？道具？が片隅に備わっていたら公園にもぎわい、元気な高齢者が増えるかも。よろしくお願いいたします。

取組方針 5 適切な医療を受けられる体制整備

地区	性別	年代	内容
十和田	女性	30 歳未満	難病をもっている人へ特に金銭面でさらに助成してほしい。更新時の診断書代、他県までの交通費（高速代など）少しでも助成して頂けると負担が減る。助成がないと、難病を持っている分だけ診断書も増えるため、一つだけ持っている人より多く費用がかかる。受給者証、限度額 1 万円でもその他に他県に通院している場合、その分だけ高速代などの移動費もかかるため、実質通院費が 1 万 5000 円はかかる。他県へ通院しなきゃならない場合、2 ヶ月に 1 回でも 15000 円（限度額上限 + 高速代往復分）× 6 ヶ月でも 90000 円かかる。働いていても、多く給料をもらっている訳でもないため、生活がしづらい。
十和田	女性	40 代	医師、看護師の確保を強く望む。
八幡平	男性	40 代	鹿角で子どもを産める環境を作してほしい。
花輪	女性	50 代	地元でこどもを産むことができる環境を作してほしい。
花輪	女性	50 代	医療の充実
十和田	女性	50 代	かづの厚生病院も大きな病院だが、毎日やっている科がなかったり、不便すぎる。他県からも人がくるような病院にしてほしい。
花輪	女性	60 代	適切な医療を受けられる体制をつくってほしい。

花輪	女性	60代	個人病院開設等に市として、もっと補助をして地域医師の確保をお願いしたい。（ファミリークリニック開院はとてもよかったです。）整形外科を希望する声が多く聞かれます。
花輪	女性	60代	花輪でもお産のできるまちにしていだけるよう、よろしくお願いいたします。
花輪	男性	60代	厚生病院の小児科病棟廃止、産婦人科医不在のため大館市立病院での出産。こんなことでは移住促進しても若い人が来ない。安心して移住できる環境作りをする必要がある。
花輪	男性	60代	医療体制の整備
八幡平	女性	60代	医師確保。小児科を何とかしてほしい。
八幡平	女性	60代	病院 医師の不足の解消には時間がかかると思います。しかし、待つばかりはいられないです。
八幡平	女性	70歳以上	特に医療を考えてほしい。現在は市民の間で助かる命も助からないので怖いと言っております。
尾去沢	女性	70歳以上	病院機能問題についても徐々に受診する科が減ったり、市外まで通院しなければならないことも考えておかなければならなくなるのか、高齢者にとっては不安でなりません。健康年齢を維持し、病院とは無縁といえる高齢者を目指したいとは思っております。

取組方針 6 結婚の願望が叶うための応援

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	50代	若い人たちが、知り合って結婚につながる場が足りない！

取組方針 7 地域ぐるみの子育て支援の充実

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30歳未満	子育て世帯への支援を厚くしてほしい
花輪	男性	30代	病児?病後児保育の空きを電話だけでなくオンラインで出来るようにしてほしい。
花輪	男性	30代	子ども、教育のために、前例が無いほどお金を大胆に使う。誰が見ても驚くほど大胆かつ、共感が得られるような教育政策を打ち出すことで、変わって来ることがあると思う。少子化対策のためなどという名目ではなく、今いる子どもたちのために全力を注ぐことの出来る自治体であってほしい。
十和田	女性	30代	冬場でも幼児～の子どもたちが屋内で遊べる大きな施設があれば、親も子も助かります。（コモッセだけでは狭いし不十分）
十和田	女性	40代	出産前後だけではなく、子育て世帯に対する補助や病児保育などの施設の拡大。
花輪	男性	50代	若い人達とか関係無く、出産、育児、子育て、居住、などの支援を手厚くすれば、、
花輪	男性	60代	市民が安心して心豊かに暮らせるまちになってほしいと思います。少子化問題は特に重要な問題だと思います。子育てのしやすいまちづくりを第一に考え、そのために今までにない斬新な政策を期待します。
花輪	男性	60代	少子化対策

取組方針 8 高齢者のいきいきとした暮らしの支援

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	50代	高齢者の孤独死も多い今、若い人達もいずれ年をとります。年をとっても楽しく生きていけるような鹿角にしてほしいです。
十和田	女性	50代	国民年金で施設に母が入っていますが、毎月の支払が大変です。子育て支援も大事ですが、国民年金で施設入所している人にももっと手厚い支援をしてください。
花輪	女性	60代	私は昨年から仕事をしながら、オレンジサポーターやシルバーリハビリ体操などのボランティア活動を行っております。どの活動も、自分のためと思ってたけど行えばすごく楽しくて、どうしてもっとみんなに認知してもらえないのだろうか残念です。誰でも年を取りますが、自分のことは自分で、そして周りの人への声掛け、相手の顔を見て、話して元気で居続けられるような地域であってほしいと思います。市内の独居老人が認知症

			になっているのではないかと心配になっている。民生委員にはもっと地域に目を配ってほしいし、認知症予防もかねてのシルバーリハビリ体操なので、もっと広まればと思う。認知症の方は外出したくてもできないし、ましてや車の運転もできないので、オレンジサポーターの活動に使用する車を提供してほしい。また、シルバーリハビリ体操は身体の痛みが軽減したと話している方もいるので、もっと市で周知してほしい。
花輪	女性	70 歳以上	一人暮らしや高齢者世帯の交流の場
八幡平	女性	70 歳以上	今後高齢者が益々増えると思います。一人暮らしで健康にも自信が無く、生活が大変になります。安心して老後を過ごせるような住居や施設を望みます。
十和田	女性	70 歳以上	草木に小学校跡がありますが、使われていませんし、保育園もそのままの状態です。車も不便で楽しみも少なく、ここ何年かコロナのために集まりもなかったですし、私の耳に入る言葉は、「普段集まってみんなで話し合うこともできず、不満も積もり、自由に集まり、楽しみ会がある場がほしい」という年寄りが大勢います。そういう建物を利用して、足のない者のコモッセ利用できない人の場も考えていただきたいです。

基本戦略 3 快適で安らぎのある暮らしを守る

取組方針 10 衛生的で良好な生活環境の確保

地区	性別	年代	内容
十和田	女性	40 代	まだ市内で上下水道が整っていない地域がある。
十和田	男性	40 代	上下水道エリアの拡大

取組方針 11 安全・安心な住まいづくりの推進

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30 代	空き家問題に対して多方面からの支援をしてほしい。
花輪	女性	50 代	最近空き家や売家が増えてきているように思う。
十和田	女性	50 代	空き家がありますが、雪で壊れかけてます。でも費用がなく、まだ取り壊しができません。そんな大変な市民に市で貸付してくれたり、分割返済させたりできるようにしてほしいです。
花輪	女性	70 歳以上	後継者のいない家や墓の問題に対する明るい展望
花輪	男性	70 歳以上	空き家の老朽化対策を考えてほしい。

取組方針 12 地域に合った公共交通手段の確保

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	60 代	現在、中心市街地に居住し運転もしてあまり不便を感じていないが、免許返納後の公共交通利用に不安を感じます。（この先、便数など確保されているのか）
十和田	女性	60 代	住みよいまちというのは、やはり交通の便が良く、公共施設や病院、商業施設が近くにあり、不便を感じないまちということだと思っている。移動に車を使っている今はまだいいが、免許を返納したあとはどうなるのかと、すごく不安に思っている。
十和田	女性	70 歳以上	10 日に 1 度バスで買い物に出かけます。交通手段がバスですが、ほとんど人が乗っていません。大きなバスで申し訳ない気がします。
尾去沢	女性	70 歳以上	後期高齢者と呼ばれる年齢が間近に迫り、運転免許証の返納後の日常生活がどのように変わるのか、変えられるのか大変不安です。公共交通機関であるバスを利用するとなれば、市役所、病院等に向かう場合でもかなりの時間を要することになります。朝夕の時間帯以外は 1 本乗り遅れたらかなりのタイムロスになります。毎回一人でのタクシーの利用も不可能でしょう。どうか、交通弱者が増えることを真剣に考えてほしいです。

取組方針 14 緑と水の映えるまちの環境の保護

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30 代	熊をなんとかしてほしい。メールを送るだけが仕事なのか。
八幡平	女性	60 代	熊対策
尾去沢	男性	60 代	熊被害の対策をもっと考えてほしい
十和田	女性	70 歳以上	近所の空き家に棲みついた害獣により作物が荒らされ、思うように作れない。クマが怖くて出歩くのに不安

基本戦略 4 暮らしの安全・安心を高める

取組方針 15 災害への対応力のある地域づくり

地区	性別	年代	内容
十和田	女性	40 代	たいせつな情報ツールであるコミュニティラジオの電波が通らない地域がある。災害に強いまちづくりのために必要なことだと思う。

取組方針 17 災害に強いまちの基盤整備の推進

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30 歳未満	除雪後の砂利の掃除をお願いしたいです
花輪	男性	30 歳未満	ここ数年市内の除雪がしっかりされていないと思います。道幅が狭く、人のすれ違いも大変ですが、車両のすれ違いが困難な道路が多く感じます。デコボコで走行しづらいうえ、すれ違いも大変なので、除雪業者への指導、監視（現場巡回）を徹底してほしいです。市で通報してもその時だけで継続しませんので、よろしくお願いします。特に街中の道路は今まで以上の除排雪での安全確保をお願いします。
十和田	女性	30 代	市民向けに、除雪機や自動融雪設備設置費用の助成制度をつくってほしい。（昨今の大雪で高齢世帯のみならず、現役世代も大変です。）
十和田	女性	40 代	人の通りが多いのに歩道が整備されていない箇所もあり、子どもの利用や運転での事故につながる可能性も高い。そのような場所（中心市街地以外）にも目を向けてほしい。
八幡平	男性	40 代	アスファルト補修を早くしてほしい。
花輪	男性	60 代	市道の舗装が悪い。乗用車だと感じないかもしれないが、トラックだと配達の際に跳ねる
十和田	女性	60 代	田子から大湯へ、大湯から田子へのトンネル計画案はどうなっているのですか。
十和田	男性	60 代	冬期間、各町内会にタイヤローダーを貸し出し、ボランティア（定年退職後ひましている人々）で、昼間各町内を除雪してもらおう。集雪地の確保

基本戦略 5 未来に羽ばたく人材を育てる

取組方針 19 子どもから青少年までの生きる力の育成

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30 代	子どもを育て進学させるには大きな負担がかかるので奨学金等の制度を充実させてほしい。
花輪	男性	30 代	子どもは鹿角の未来そのものなので、学校教育を充実させてほしい。子どもは活気がある街にできるかどうかの鍵を握る存在だと考える。
花輪	女性	40 代	子育て支援。学力があっても大学進学を悩む程、一般市民の経済事情は厳しいです。
花輪	男性	40 代	小・中・高校での、イジメ問題
花輪	男性	40 代	中・高校への、市からの部活動コーチの派遣。何を指導しているのか分からない。挨拶（紹介）などが無い。子ども達は、知っているが親は知らない事が多い。部活動に来て、ただ見て、携帯を見て指導しない、一部にしか指導していない。努力が感じられない。結

			果を出せないなら、辞めてもらいたい。スポーツ少年団・クラブチームに市も、早く動いて下さい。人数も少ない市で、試行錯誤している時間が勿体無い。だから、鹿角市は弱い
花輪	男性	60代	いまあることを持続させることも必要だが、未来へつなげる子どもたちが地元に帰るよう施策をすること。世界に通用する子を育てる意識で、子どもの可能性を引き出す教育をしてほしい。英語教育やスポーツでの多様性を引き出せば、外へ出る子どもも多いけれど地元に残り産業などへの牽引役となるでしょう!刷り込みが必要です。
無回答	無回答	無回答	学校の統合問題も時代の流れからしても仕方のないことだとは思いますが、統合対象地域全体から見て、誰からも中間地点に見える場所でないと納得してもらえないのではないのでしょうか。日本全体で人口減少していますし、奇跡が起こらないことは子どもは絶滅危惧種のままでしょう。子育てにお金はかかるし、自分たちの将来(老後)も考えると簡単に子どもをもうけようとは思えないのでは？

取組方 21 自ら学び、行動する社会人の育成

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	70歳以上	コモッセを活用して子どもたちが舞台芸術の創作や鑑賞に関わる時間を今より多くして、どの地区の子どもも可能な限り均一な体験機会を作るよう工夫がほしい。また、年配の層でも、興味が湧く事業を展開するような工夫がほしい。
無回答	無回答	無回答	人口が減る一方なのに図書館などにお金をかける意味がわからない。

経営戦略 1 まちに人・モノ・外貨を呼び込む

取組方針 22 人や地域の活力を生む交流の促進

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30代	大学卒業後に地元で就職したら利子の支払い免除や一定年数の就業で以後の支払い免除など地元へ帰ってくる事がメリットになるような制度がほしい。(地元で働くにも免許の取得や車の購入などまとまった資金が必要なのでその部分を支援するような貸付制度など。)
十和田	女性	50代	移住者の長期定住率はどれほどなのか知りたい(子育て応援期間後も本市に定住するのか)
八幡平	男性	70歳以上	息子が高校卒業後に関東に就職し、その子どもの就学を期に、Aターンで鹿角に戻ってきました。その際に、鹿角に直接足を運ぶことが難しかったので、アパート探しに大変苦労しました。やっとアパートを見つけても、子どもが小さかったこともあり、近隣住民に騒音を注意されてしまいました。内見のために足を運ぶことが難しいAターンの方が、安心して住めるようなところがあれば、安心してこれだと思います。
無回答	無回答	無回答	移住者より地元に戻ってきてくれた人たちを大事にしてほしい。なぜ移住者が偉いのか?理由を教えてください。

取組方針 23 販売促進型農業と6次産業化を進めます

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	60代	農業に関して、米中心は良いけど、他の産品の開発、育成で複合化が必要。何をしているのか、外部からは見えない、見せてください。PRをもっと行うことが必要、やりたいことをやらせる。
八幡平	女性	60代	道の駅の活気が無い。地元の方でも毎度行きたくなる様な品物を並べてほしい。農作物、個人の作品 etc…目玉商品、例えばですがピザ窯で焼いたピザを販売するとか鹿角リンゴのアップルパイを販売するとか(某お寺のネコのアップルパイおいしかったです)。

取組方針 24 稼げる観光振興の推進

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30 歳未満	アイドルマスターというコンテンツと、鹿角市でコラボをしてみませんか？鹿角市は、豊かな自然に恵まれ、花輪ばやしや毛馬内盆踊りといった伝統的な祭りのほか、大湯環状列石や尾去沢鉱山などの歴史的な遺跡も残る、とても魅力的な地域です。しかし、その素晴らしさがまだ市外・県外に十分に届いていないように感じています。そこで、大規模なコンテンツと連携し、鹿角の魅力をより広く発信することを提案します。『アイドルマスター』は、今年で 20 周年を迎える人気コンテンツで、ゲーム・アニメ・劇場版・ラジオ・ライブなど、多彩なメディア展開を続けています。シリーズには、765 プロ、シンデレラガールズ、ミリオンライブ、SideM、シャイニーカラーズ、学園アイドルマスターなどがあり、それぞれに個性豊かなアイドルが登場します。中でも鹿角市と特に親和性が高いのが、伝統や自然を大切にしているアイドルたちです。例えば、花輪ばやしのような地域の伝統行事には、神社の家に育ち、和のお祭りに親しんできた「道明寺歌鈴」。日本文化を深く愛し、和の文化を大切にする「エミリー・スチュアート」は、外国人ならではの視点で鹿角の魅力を国内外に発信する役割も期待できます。また、自然豊かな田舎で育った「木下ひなた」は、きりたんぼづくりや果樹園体験といった企画にぴったりの存在です。さらに、温泉や地元のお酒にまつわるプロモーションには、落ち着いた大人の雰囲気を持つ「高垣楓」によく合います。こうしたユニークな設定を活かし、鹿角市の特産品や文化資源と結びつけたコラボ企画が可能です。例えば、花輪ばやしをテーマにした描き下ろしイラストや、観光地を巡るスタンプラリー、きりたんぼや北限の桃とのタイアップ、さらには声優による音声ガイドの実施など、SNS での話題づくりと観光誘致の両立が期待できます。アニメやゲームのファンは企画への参加意欲が高く、聖地巡礼にも積極的です。鹿角市の魅力を“推しと一緒に楽しめる場所”として届けることができれば、若年層や都市部への認知向上にもつながるはずです。“伝統”と“現代カルチャー”を融合させた、新しい地域プロモーションの形として、ぜひご検討ください。
花輪	女性	30 歳未満	大館能代空港の補助金制度についてももっと宣伝すべき。近々利用しようとしていたため、このままでは何も補助を受けないまま利用するところであった。
花輪	男性	40 代	マインランド尾去沢の存続と歴史的価値を見直してほしい。貴重な観光資源だと思うので、市が守るべき文化財だと思う。
花輪	女性	60 代	あんとらあのトイレと売店を棟続きにすることで、トイレの利用だけでなく気軽に産直売店や食堂に出入りできる建物にしてほしい。雨・雪対策だけでなく、経済波及効果にも影響すると感じる。
花輪	男性	60 代	インバウンドを呼び込み、稼げる観光の活発化
十和田	女性	60 代	観光の鹿角なので観光のバスや自動車が通る道路の草刈り、並木の整理を以前のようにきれいにしてほしい。
十和田	男性	60 代	個人的にですが、風力発電には反対です。観光を売りにするのなら、なおさらです。
八幡平	女性	60 代	JR 駅、バスステーション、スーパーの出入口に BOX を設置して、持続可能な観光づくりのアイデアを募集してみたいかがでしょうか。
花輪	男性	70 歳以上	芸術文化（演劇など）と観光 PR を連携して外に飛び出してアピールする事業を定期的に行う。
十和田	女性	70 歳以上	個人的なことを申し上げますが、先日弟がバイクで十和田湖に行ってきたが、「寂れたなあ、ほとんどの店が閉めていたよ。あれだと人は行かないし、船も午前 1 便、午後 1 便ほどだった」と言われました。昔のことを思うと寂しくなります。せっかく観光地を持っていて、大湯温泉も栄えていた時代があります。もう一度甦ってほしいですね。
十和田	女性	70 歳以上	"花輪は花輪、十和田は十和田というような地域間意識がまだ残っているように思います（八幡平、尾去沢もかな）
無回答	無回答	無回答	産業観光ですが、十和田湖はただ綺麗な場所と化し滞在型からはほど遠い物になりました。そんなところは当てにせず、黒又山を売り出したらいかがでしょうか？近所のストー

			ンサークルよりも価値があるかもしれません。遊びに来た友人はストーンサークルを見ても、ただ石が並んでいるとしか見えず、同じく価値がわからず集団で流れて来ている人も多いのではないのでしょうか。そこで黒又山です。『光の巨人(ウ○ト○マ○テ○ガ)が石像として封印され、復活した場所』としてその当時オタ系の間で騒がれたのが黒又山です。もちろん円谷プロは否定するでしょうが、そこは交渉して聖地にしてしまえば種類の違う巡礼という名の観光をしてくれる人々が増える気がします。いっそのこと鹿角市を聖地だらけにするべく、本でも漫画でも鹿角市をどんどん出してもらえるように下地を作ってほしい。どこかに伝手はありませんかねえ。
--	--	--	---

取組方針 25 スポーツの力でまちの魅力を向上

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30 歳未満	市政について古い習慣を取り外し前進的な政策を希望します。子育てに良い学校教育の無料化や、スポーツ選手の育成。有名アスリートを市から排出すればそれ自体が市の売りになるし若い人の増加につながると思う。
十和田	女性	50 代	思い切ってスポーツの国際大会などを誘致してみたりなどいかがでしょうか。ツール・ド・十和田～八幡平 素晴らしい自然環境です
花輪	男性	60 代	「スキーと駅伝のまち」として売り込むのであれば、何か行事をする。できないのであれば「スキーと駅伝のまち」をやめるべきである。競技人口減少の折、無理をする必要はないと思う。
花輪	女性	70 歳以上	スキー大会があっても、自家用車で行けないためとても不便で、現地で観戦したことがない。シャトルバスで行っても、買い物したものを持ち帰れないので、不便だと話していた人もいた。

取組方針 26 次世代産業の創出への取組

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30 代	色んな企業を誘致してほしい。
花輪	男性	30 代	鹿角には高速の IC が 3 ヶ所もあり立地がいいと思う。企業を誘致し、鹿角で働く人を増やす。高速 IC が近いと運送にも有利だと思う。そういう取り組みをして復活した町が北海道にあった気がする。
十和田	女性	30 代	若者が働きたくなるような企業誘致をもっとしてほしい。(IT 企業など)
十和田	女性	50 代	大企業誘致が出来たら良いと思う
十和田	男性	60 代	民間企業は基本的に営利が目的なので、わざわざ鹿角には来ない。補助金が終わればそれで終わり。お金のある都や国の施設誘致に力を入れるべき。
十和田	男性	60 代	産業振興に力を入れてほしい。人は「稼げる」場所に集まると思うし人が集まることでモノやカネも集まってくる。農業の産業化でも新事業(単なる工場誘致ではない)でもいいからとにかく稼げる場所がほしい、観光などというギャンプル色の強い「水商売」はそれからでも遅くないと思う。
十和田	男性	60 代	貧乏な市で、カーボンフリーへの助成など止めるべし。市外の資金のみで行うなら考慮の余地はあるが、その場合でも廃棄まで考慮すべき。
八幡平	男性	60 代	風力発電反対です

経営戦略 2 「世界遺産のまち」をつくる

取組方針 27 文化財の保存への取組

地区	性別	年代	内容
無回答	無回答	無回答	毛馬内盆踊り、花輪ばやし、大日堂舞楽…いずれもこのままでいけば維持できなくなりそうなので、協力者をもっと広く募集、応募しやすい環境を整えてほしいです。

経営戦略 3 まちの経営力を高める

取組方針 29 効率的な行財政運営の推進

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30 歳未満	旧十和田高校の利用について、十和田中学校も古くなってきているので、旧十和田高校を利用するのもありかと思います。昨今の犯罪等の見守りの観点から、道路沿いの場所のほうが安心して子どもたちを見守ることができると思います。
花輪	男性	30 代	子どもを自然の中で遊ばせたいと思い鹿角に帰ってきたが、熊が出没するため自由に遊ばせてあげられない。旧十和田高校跡地は、青森県十和田市の『JC キッズパーク』のような屋内遊び場を作ってほしい。
花輪	男性	30 代	十和田高校跡地に家族連れで遊べる大規模商業施設あればいいのでは。高速近く、県外から人が来やすいと思う。
八幡平	男性	40 代	市が昔建てたものが使われていない。物が多い。無駄な金。(尾去沢中学校の道路を挟んだ山にある建物、トン八向いの公園)
十和田	女性	50 代	財政や人材の負担軽減や高齢化対応のためにも、DX や AI 活用、自動運転車の普及は本格的に取り組んだ方が良くと思う
花輪	男性	60 代	ゴミ、交通、土木、建築等は、10 年後、20 年後、働くことのできる人は減少します。市政を取り巻く環境も変わります。問題解決型の行政と合わせて、改善型行政もしっかりと考えていただきたいと思います。
十和田	女性	60 代	小学校、中学校の廃校の跡地をどうするか。何か利用すべき建物を活性化できないのですか。鹿角市の議員さんたち、まちづくり、明るく住みやすい鹿角にならないのですか、と思います。
十和田	男性	60 代	市の中心部を花輪地区から移せないものかと思う。花輪地区は正直言って地理的にこれ以上の発展は無理だと思っている(平地の狭さ、積雪量)十和田高校跡地を何とか活用できないものか、例えばソフトウェア系企業を誘致するという手段も考えられる(2011 年にポリフォニーデジタルが本社機能の一部を豊洲から福岡に一部移転した実績あり)積雪期に物流が制限される鹿角においてデータを扱うソフトウェア系企業は向いているのではないかと思考する(東北道が開通していることが後押しになる可能性)
無回答	無回答	無回答	勤務先は近隣市町村から通勤している社員がいるので仕事柄市民税を見る機会があります。そこで感じるのは鹿角市の市民税が高いということです。これは納税者が少ないという事なんだろうと思っています。行政サービス云々という以前に収入が少ないのはかなりの痛手だろうし、アンケートに載っている質問や今現在行っているサービス等を見ても、支出を抑えようと考えているのがわかります。が、交通弱者を見捨てるようなことはすべきではないと思います。

取組方針 30 未来技術の導入を進めます

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	50 代	デジタル化推進のセミナーをしている組織がデジタル化されていない。いまだに紙文化。その印刷代をもっと他に使うべき。新しい発想力を持ってほしい
十和田	女性	50 代	どこの職場も今はパソコンができないといけません。家にはパソコンもなく、やってみたくても鹿角では教室もなく、初めてパソコンをやってみたい人向けの教室を開催してほしいです。

取組方針 32 コンパクトなまちづくりの推進

地区	性別	年代	内容
無回答	無回答	無回答	コンパクトシティの構想は理解できますが、余力のある人は中心市街地に引っ越せますが、そうでない人達はできないから僻地に住むしかないと思います。鹿角市内に引っ越す事を条件に、引っ越した後解体費用を助成するとか、更地にすることを条件に跡地の固定資産税を免除する等、中心市街地に誘導する策を実施したら少しは進むのではないのでしょうか。

(2) 政策全般に関すること

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30 歳未満	若者への支援を厚くしてほしい
花輪	男性	30 歳未満	若者が鹿角市に住みたいと思う魅力が全くない
花輪	男性	30 歳未満	帰省してきた人と鹿角市に住んでいる人が楽しむ場所がない
花輪	その他	30 歳未満	観光にしても産業にしても冬の雪の対策を考慮してまちづくりをしないと雇用を生み出すコンテンツが生まれない。
十和田	男性	30 歳未満	市が活性化してほしいその思いはみんな同じで、すごい伝わります。活性化するには鹿角市がどういう所なのかなんかの特色があるのかそこを周知してもらうしかありません。鹿角市はこれが有名です！これがあります！ん？まずそれどこ？このクエスチョンにすらなってません、知られてないからです。ほかの県に行っても市に行っても行政関係じゃない方に街の人に聞いてみてください。近くの県ですら知らない、「あー高速のインターでそんなとこあったな」そのレベルです。何を鹿角市の特色で売っていくのかじゃなくどのようなやり方で売っていくのかだと思います。何を売っていくのかなんて簡単です、どうやって売っていくかです。周知されれば観光客が来て、色んな人に知られれば、移住者が増え地域が盛り上がって、地域にお金がおりていい循環になっていくと思います。
花輪	男性	30 代	子どもに住ませたいまちに
花輪	男性	30 代	政策をスピード感を持って行ってほしい。また、市政に興味のない人達にですら感じられるくらいの政策実行してほしい。とにかく思い切ってやってほしい。お米大臣の小泉さんは賛否両論があっても 1 週間で備蓄米販売を実行しました。スピード感。それが一番市民が評価するポイントじゃないでしょうか。
花輪	女性	40 代	このアンケートを基に、市民と対話する機会を増やしてほしい。「すでに実施しています」というのなら、その中身を知らない人たちにどう周知するか見直して実施してほしい。行政にとって耳の痛い話をどう政策に活かすか、市民（特に若者）と考えていただきたいです。もっと言うと、今まで行政に関わったことがない方と時間を共にしてほしい。市民が望む中身ある政策をお願いします。そのために、取り組んだ内容のフィードバックをできる限りしてほしい。
花輪	女性	40 代	経済的に苦しい人が、鹿角での暮らしに満足するのは難しいです。低所得者層でない中間層の人たちに対する支援が必要だと思います。
花輪	男性	40 代	魅力ある市政をお願いします。
十和田	女性	40 代	質問の取組例に、外国人に対する生活支援（I ターン等も含め）と書いてあるが、元々の鹿角市民にも支援してください。働く場所の提供（企業誘致）など、人口も少ないせいか、市県民税が高い。
十和田	女性	40 代	鹿角市にインターチェンジが2つもあるが、市内がほぼシャッター街で、生かしきれていないと思う。
十和田	男性	40 代	アンケートに書かれている政策のほとんどがまと外れ。
十和田	男性	40 代	ほとんど全てが 40 代オーバーへ向かっている。A ターン等ではなく若者が出て行かない、出て行きたくない市が出来れば良い。
十和田	男性	40 代	人口減少は関東圏以外の全国で起こっていることなので、あまり悲観せずにその中でどうやって経済を動かして行くかだと思う。鹿角の美味しい食と良い温泉は他地域に負け

			ていないと思う。大変な時代で市役所の政策企画にはご難儀をお掛けするが、私たち市民もっと市の政策や自分達の町に関心を持って共に持続可能な市を作って行かなければならないと思う。
十和田	男性	40 代	Think globally act locally.
八幡平	男性	40 代	子どもに金をかけても高校卒業すれば都会に行くので魅力があるまちにしてほしい。
八幡平	男性	40 代	人口減少を何とかしてもらいたい。
花輪	男性	50 代	目に見えてわかる政策をやってほしい
十和田	男性	50 代	他過疎地域同様、鹿角市も独自で成り立たせることは非常に困難な状況にある。国や県からの援助に頼らざるを得ない部分もあるが、県の中での鹿角市の扱いがどのようなものなのか、他市町村と比較した際に同等の扱いを受けられているのか、受けられていない場合は何が原因なのか、しっかりと検討してもらいたい。
尾去沢	女性	50 代	たとえば、「第7次鹿角市総合計画後期基本計画」など、もう少し理解しやすい言葉にしてくれると、皆さんが気軽に答えることができるようになると思う。
尾去沢	女性	50 代	人口の増える仕組みやクマ対策、医師の確保などにしっかり道筋をつけていただき、官民で対応していけたらと思います
花輪	女性	60 代	住みたい街（鹿角）にしてください。
花輪	男性	60 代	県外の自治体で取り組み、効果を上げている事例を収集し、鹿角市で実行できることを多く出してほしい。
花輪	男性	60 代	安くない市民税を払っています。その割に費用対効果が悪いと思う。
花輪	男性	60 代	人口増
十和田	女性	60 代	一般市民自体が鹿角市の良さを知る必要がある。市外の人に鹿角市の良さを聞かれても、「我が市には良いところが何もない」と答える人が多く感じる。特に、中高年の人に多い。だから子どもにも市が子育てにいくらお金をかけても地元に戻ってこない実情。それぞれが家族に頼らず、自分の老後を他人に任せすぎ。小さい時から育てられた地元に感謝し、将来の都市づくりに貢献できるような市民が増えてくれることを望みます。せっかくの学歴を地元で活かせるような人づくりでありたい。
十和田	女性	60 代	第1期から6期まで何をしてきましたか。計画は市民に知らせたのか。
十和田	男性	60 代	「まち・ひと・しごと」の創生戦略になるでしょうけど、今年度から「医療ビジョン」の策定も始まると聞いています。人口減の問題も含めすべての部門、部署での総合的な会議(方向性などを確認するなどの)はやっているのですか？ないのならあればいいと思います。
十和田	男性	60 代	山積する問題を多々抱えているからこそ「基礎体力」は必要ではないだろうか。
十和田	男性	60 代	民間との連携や協力をもっと推し進める必要があると思う。
十和田	男性	60 代	他の市町村でもそうですが人口減少は避けられないので少しでも食い止められるように頑張ってください。
十和田	男性	60 代	人口減少化社会においては、過去の常識や成功体験が通用しなくなる場合があります。官民ともにこれをしっかりと認識するべきですし、痛みを伴う変革にも取り組まざるを得ないかと。
八幡平	女性	60 代	広報で確認できる様にしたい
八幡平	女性	60 代	新しい事業を始める事も大事かと思いますが、今ある資源 環境を維持して行くためにも、それをつなげる次世代の育成も緊急の課題かと思っています。
花輪	女性	70 歳以上	市の野外放送で、熊の注意、子どもたちの見守り放送、災害時の気象放送を検討してほしい
花輪	男性	70 歳以上	法律で自治体が総合発展に資する計画策定が定められているが、その内容は広範囲にわたっており、一定の理解を示すが、一般市民向けには難解すぎる。策定後は毎年度当初の広報でその年度で重点的に取り組む事業をいくつか紹介してくれたらありがたいし、市民の関心度も高くなると思う。市ホームページを閲覧している市民は限定的であることをもっと知ってほしい。

花輪	男性	70 歳以上	行政の方向性があまりよく伝わってこない。もっと分かりやすい言葉で伝えてほしい。
十和田	女性	70 歳以上	買い物が終わってから店の中で待って時間を過ごします。市日などありますが、お店を見たりすると気分がいいし、少ししか買わないですが楽しいです。待っている人と話す機会もあります。難しい基本計画などと言われても答えることはできませんが、お年寄りの人にも暮らしやすい生活ができますようによろしくお願いします。

(3) 職員・市長・市議会議員に関すること

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30 歳未満	せっかく若い市長になられたのでこれからどんどん若者目線で若者が住みたいと思える街に変えていただきたいです。鹿角市から出ていった人たちも戻ってきたくするような街に変えていただけることを期待しています。
花輪	その他	30 歳未満	市の職員のやる気が全く見えない。やる気のでるシステムを作った方がいいと思う。
花輪	女性	50 代	新市長に期待。鹿角市を目に見える形で良くしてほしい。
花輪	男性	50 代	新しい市長には 2 期くらいはがんばって、市を立て直してほしい。
花輪	女性	60 代	議員が市の人口に対し多すぎると思う。何の仕事をしているのかわからないし、朝の 9 時ころある議員が孫か子どもかわからないけど、みんな働いている時間帯に子守りをしている現場を何度か見ているので、気分が悪い。
花輪	女性	60 代	市職員は議員等の部下ではない。職員が快適に働ける役所を希望。市役所職員には笑顔と接客の丁寧さを求めます。
花輪	男性	60 代	税金を払っている市民にとって能力のない職員は必要ない。金を返してくれ。上に小言を言われたくらいで影でグジグジ。ガキではない。根性を見せろ。悪い習慣を断ち切り、市民のための本当の市政を実現してもらいたい
花輪	男性	60 代	一部議員のパワハラ問題について、うやむやにせず、キッチリけじめをつけてほしい。その中に当選した議員がいること自体が、今の鹿角市を物語っていることを危惧しています。
十和田	女性	60 代	市に対する期待はしません。議員 18 人も鹿角にいないのに、市民の代表に聞いてください、と思います。望むことは 1 つです。議員たちがもっと動くべきです。それからではないでしょうか、第 7 次計画は。
十和田	女性	60 代	笹本市長に期待しています
十和田	男性	60 代	鹿角市長が若い方になり市議会議員も新しい方や女性が 3 名おられるので魅力的な町になるように期待しています。
花輪	女性	70 歳以上	行政のことは何もわからないが、市役所に行って税金を払うときに対応してくれる若い職員の不愛想な態度が一番気になる。
花輪	男性	70 歳以上	新市長が若返ったので期待しています。
花輪	男性	70 歳以上	新市長のもと、市民の為に一生懸命汗をかく事を望みます。私達市民も協力は惜しみません。
十和田	男性	70 歳以上	議員のパワハラ問題についてとても悲しく感じた。市外の人に対して観光で来てほしいのに、逆効果である。何もない鹿角なら何をすべきか考えるのが議会ではないのか。正直者が馬鹿を見るくらいの気合の入った議員はいないのか。これが基本だと思います。
十和田	男性	70 歳以上	人口減少の中、市議会の定員が多いと思う
八幡平	女性	70 歳以上	対応の悪い職員がいる
無回答	無回答	無回答	市民の声を聞きます。とよく市長や半端な議員連中が言っているが、聞かれたことがない。いつ聞いてくれるのか？

(4) 市の窓口・行政手続きに関すること

地区	性別	年代	内容
八幡平	女性	30代	窓口等での対応で、不満があるとよく周りから話を聞く事が多いです。人間同士なので、うまくいかない事も承知ですが、市民に寄り添った対応をしてもらえれば、より良い市政になると思うので頑張ってください。
花輪	その他	30代	窓口ごとにアンケートを配置し、どの職員がどれだけ職務を全うしているのか、市民の目で監視する必要がある。
花輪	その他	30代	総合案内について、業務をよく分かっていない方が担当するより、その方を外し浮いた人件費でAIを導入した方が市民のためになる。
花輪	その他	30代	窓口に手続きをしに行っても、対応できない職員が多すぎる。公務員の1人として、仕事に責任感をもって取り組んでほしい。
十和田	女性	40代	福祉保健センターとコモッセに行った際、窓口で場所を尋ねたところ、言葉を発せず、指で「あっち」みたいな態度をとられて腹が立った。どちらも窓口に座っていたのは男だった。態度が悪い人は前に出さないでください。鹿角市のイメージダウンです。県外から常に人が集まるような魅力的な市にしてください。
花輪	男性	50代	ホームページのリンク先が思っていたものと違っていたりして必要な情報をうまく得られないことがある。(いつの間にか市ではなく県のページに飛んでいたりする)
十和田	女性	60代	マイナンバーカードや免許証の更新など、いろいろな手続きがありますが、できることなら、一回の来庁で済ませたい。
十和田	男性	60代	選挙の投票率の低さについて、全国的にも、全県的にも、とても不満を感じています。選挙管理委員会に！
花輪	女性	70歳以上	選挙の投票所が減らされて、車運転できない人は、とても不便だと話していた。老人には冷たい仕打ちだと思った。
花輪	男性	70歳以上	中々用がなく、久しぶりに市役所へ行くと対応がよく、感謝します。
無回答	無回答	無回答	選挙に関しては、投票会場を減らした結果、市民の選ぶ権利を奪うことになりました。巡回投票車があっても当日投票できない交通弱者は期日前投票すらできずに終わってしまいます。選挙のある、無しにかかわらず日頃から巡回投票車の存在を周知徹底させ、もっと市民の心の準備期間を作ってほしいです。(年寄りには忘れるって！)

(5) アンケートに関すること

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	40代	アンケートなのに催促のハガキ送るのはどうなんですか！？アンケートで強制ってイラッとする！
花輪	男性	50代	このアンケート自体、本当に必要か疑問に思う。民意はもっと奥底にあると思う。
花輪	女性	60代	質問が難しすぎます

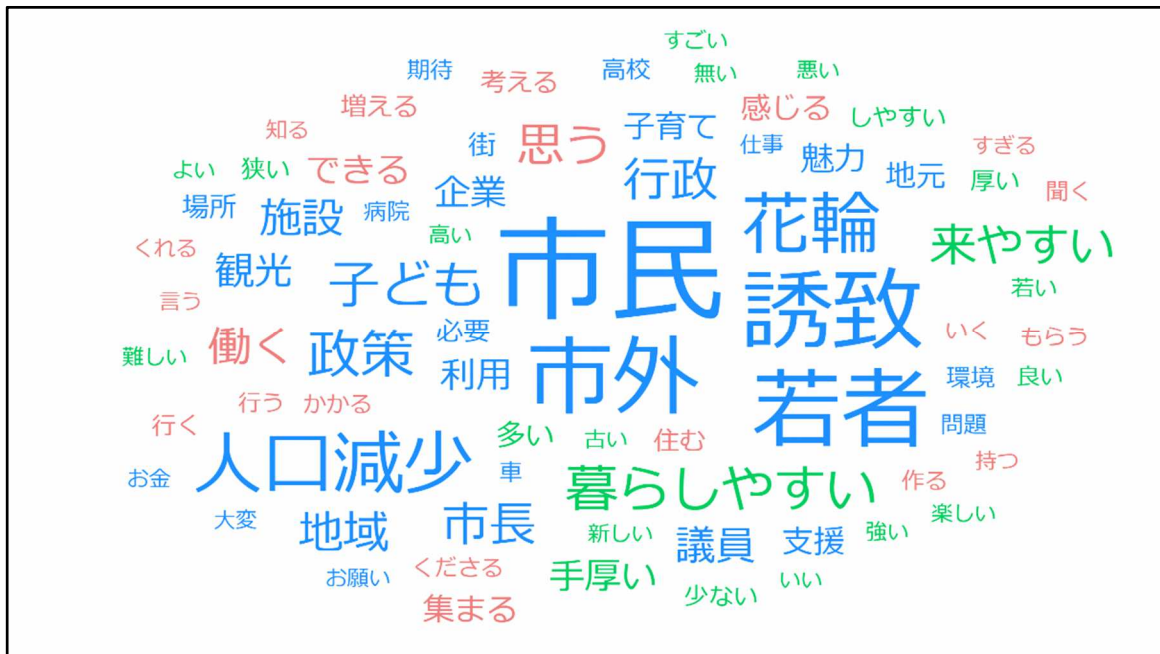
(6) その他

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30歳未満	外扇ノ間から出る道が1本しかない。(通勤帰宅の時に国道に出れない。狭すぎて譲れない。災害があって川が氾濫し橋が崩れたら逃げ道がない。)
花輪	男性	30歳未満	店がない(ドラッグストアばかりで食事するチェーン店もない)
花輪	男性	30歳未満	何をするにも市外に出なければならない
十和田	男性	30歳未満	子育てで支援や高齢者の保護も重要だが高校生の流出を少なくさせるような政策を強化した方がいいと思う。賃金面だけではなく食品以外の買い物や娯楽など中高生が鹿角で魅力のあるような商業施設がなく大館や弘前、盛岡に行く割合が多いと思うのでその辺も意見として考えてもらえると幸いです
十和田	男性	30歳未満	マックができてほしい

花輪	男性	30代	もっと市外へ向けたアピールをして活気のある街になれば良いと思います。(インフルエンサー等に街の魅力を発信してもらう等)
八幡平	男性	30代	ここに書く事が分かりませんが、商業施設やゲームセンターやカラオケ、ボウリング、イベントなどで若者が集まるのではなく、普段手頃に遊べる場所が必要だと思います
花輪	女性	40代	桜山公園のトイレを洋式に変えてください
花輪	女性	40代	小坂町のように、みんな1人1人に平等にすべてやってほしい。例えば商品券についてもメリットのある人とならない人との違いがはっきり分かりすぎる。
花輪	女性	40代	大きな商業施設(大きなイオンなど)など、若い人や家族で遊びに行くとすると、我が家も含めですが、皆、盛岡や弘前、大館などまで行かねばなりません。鹿角には、マックもすき家もミスドありません。これでは、若い人はどんどん出ていき、若い人は入って来ないのではないかと思います。若い人でも楽しめる街になればいいのになと思います。
花輪	女性	40代	自然豊かである鹿角ではあると思いますが、どこへ行くにも車で移動。週末は、いくつのゲームコーナーかコモッセ。天気が良ければアルパスの遊具で遊べますが雨が降れば遊べる場所もない。多少お金を払ってでも天気に左右されず家族でも個人がゆっくり一日過ごせるような場所ができればいいのにと鹿角にきてから十数年思っ暮らしています。どの世代でもそうですが暮らしやすい街になっていくよう願っています。
十和田	男性	40代	民間の事ではあるが、マクドナルド、スターバックス、スシロー、ユニクロがあれば他地域へ買い物に行かないと思う。タケダスポーツが無くなったのでスポーツ用品を買いに他地域へ行かなければならない。結果、他地域へ人が流れ経済の損失があると思う。
花輪	男性	50代	鹿角市の認知度を上げる事例えば、かづの市、かづの高校、かづの花輪駅など、読みにくい漢字を平仮名に変えとか
十和田	女性	60代	他県の人々が来たいと思うようなテーマパークを考えてほしい。
十和田	女性	60代	働くだけでなく、楽しめる場所もあってほしい。
十和田	男性	60代	施設を市街地に作るための補助
八幡平	男性	60代	毛馬内にビジネスホテルを誘致してほしい。企業や小坂の大手企業が来ても泊まるところが大湯か花輪しかない
花輪	女性	70歳以上	花輪までのバイパスがほしい
十和田	女性	70歳以上	十和田毛馬内三の丸の外灯について、設置はされているが、電気が点いていない。深夜まではいらないが、21時ころまでは点けていてほしい。
十和田	女性	70歳以上	カーリング施設を作してほしい。「まちピアノ」みたいな誰でもできる施設があったら良い。
十和田	男性	70歳以上	きりたんぼ FM のスポンサーとなり、鹿角市への提言を老若男女自由気ままに投稿窓口を設ける。広報かづのにもコーナーを設ける。活力活量を貪欲に市民から求める。
無回答	無回答	無回答	同じ人を集めるには短絡的かもしれませんが、フェス！いいと思います。バーナイトみたいにほぼ無名人ではなく、有名どころを目指して活動してはいかがでしょう？あの道が悪い男鹿でも頑張っているんですから、三県に跨っている鹿角でできないわけがないと思います。鹿角は青森にも岩手にも簡単に行ける場所ですから逆に入っても来やすい、観光地としては最高の土地だと思います。
無回答	無回答	無回答	年を取ってから介護等を理由にUターンしてくる人がいますが、戻ってきてからも10年以上働ける体力を残して帰って来いと御触れを出してほしい。でも、出せませんよねえ。と、ということで、子どものうちから税金の仕組みを徹底的に学ばせ、税金をまともに納められる内にUターンすること、ふるさと納税は返礼品無視で地元で納税することを覚えてもらいましょう。
無回答	無回答	無回答	交通アクセスだけはいいので、大型ショッピングモール等を誘致すれば自然と人が増えると思う。
無回答	無回答	無回答	年配ドライバーの運転の荒さを警察等と連携してなんとかしてほしい。

(7) AI テキストマイニングの活用による分析

設問 15 で記述のあった自由意見について、AI テキストマイニングにより可視化しています。テキストマイニングは、大量のデータから必要な情報を抽出するのに役立ちます。ユーザーローカルのテキストマイニングツールにより解析しており、単語をスコア化し、スコアが高い単語を複数選び出して、その値に応じた大きさを図示しています。



(ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) による分析)

スコア順に解析した結果、最も高いスコアとなったのが、「市民」です。市民自身の暮らしや安心を第一に考える視点が多くの意見に共通しており、市政に対して「市民のために働いてほしい」という強い期待が込められていることを示しています。こうした結果から、市長や議員、職員には、市民の声に真摯に耳を傾ける姿勢や、対話の機会を増やす取り組み、そして現場に寄り添った行政運営が一層求められているといえます。

2 番目は「誘致」です。市民の多くが企業誘致による雇用創出や地域経済の発展を期待しています。企業誘致の方向性については、鹿角市の特性を活かし、雇用や住民の暮らしを豊かにするような、多様で持続可能な企業の誘致を望んでいることがわかりました。

3 番目は「若者」です。若者の市外流出を懸念する意見が多く見られ、その要因として、若者が就きたいと思えるような魅力的な仕事がないことや、賃金や子育て支援など、生活を支える環境整備が不足していることが挙げられています。こうした結果から、若者が鹿角市に定着し、安心して将来を築いていけるよう、仕事と生活の両面から支援を強化してほしいという強い期待が伺えます。

4 番目は「市外」です。高齢者が市外まで通院しなければならない現状に不安を感じている意見が寄せられたほか、鹿角市が持つ魅力が市外に十分に伝わっていないといった意見が寄せられました。

5 番目は「人口減少」です。市が直面する人口減少という大きな課題に対して、若者や働き盛り世代の市民が定住できるような施策を求める意見がある一方、人口減少を避けられない現実として

受け止め、悲観せずその中で新しいアイデアで経済を活性化させることへの期待も示されています。

その他にも、「子ども」では、市内で出産できる環境を求めるほか、子供を大学進学させるために、経済的な支援を求める意見が寄せられました。「政策」では、今までにない斬新な政策に期待する意見のほか、市民の目からわかりやすく、成果が目に見えてわかるような政策を求める意見がありました。

これらの貴重なご意見につきましては、全庁で情報共有するとともに、次年度以降の事務事業と後期基本計画の策定に反映できるよう検討していきます。

資 料

令和 7 年度市民アンケート回答票

令和7年度市民アンケート

紙による回答用

はじめに

- 1 約15分で回答が終了します。
- 2 回答の難しい設問は飛ばしても大丈夫です。
- 3 インターネットでのご回答が便利です。 →→→



(・約10分で終了 ・投函不要 ・いつでもどこでも回答可)

鹿角の未来を共に創りましょう！

あなた自身について、おたずねします

設問1 あなたの住んでいる地区、性別、年代をお答えください。

①住んでいる地区	1 花輪	2 十和田
	3 尾去沢	4 八幡平
②性別	1 女性	2 男性
	3 その他(答えたくない・わからない)	
③年代	1 30歳未満	2 30代
	3 40代	4 50代
	5 60代	6 70歳以上

鹿角市の政策についておたずねします

設問2 あなたは、市が進めている取組（※）にどのくらい満足していますか。また、今後のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えていますか。それぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

基本戦略1 活力を生む地域産業・生業を支える

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
①	地域産業の成長に対する支援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
②	市民等の意欲のある就労・就農に対する支援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③	市内外からの産業の担い手の確保	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

基本戦略2 元気で健やかな暮らしを支える

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
④	健康診査の推奨や運動による心身の健康づくり	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑤	適切な医療を受けられる体制の整備	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑥	結婚の希望が叶うよう応援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑦	地域ぐるみの子育て支援の充実	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑧	高齢者のいきいきとした暮らしの支援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

※市が進めている32項目の具体的な取組方針について
ご興味のある方は、右の二次元コードからアクセスいた
だき、ご一読ください。



第7次鹿角市総合計画
前期基本計画（概要版）

取組の例	
①	・市内企業の設備や人材育成支援、製品の価値を高める取組み ・農林業経営者への支援、農業用地の整備及び被害の防止
②	・求職者への支援と快適な職場環境の形成 ・女性・若者の活躍促進（資格取得、テレワークの導入） ・農林業従事者への支援など
③	・Uターン、Iターン就職者への支援 ・外国人労働者の受入環境の構築



取組の例	
④	・健康診査と感染症予防 ・生活習慣病予防と健康意識の啓発 ・母子保健の充実
⑤	・病院機能の充実 ・医療従事者の確保
⑥	・男女の出会いの場の提供 ・結婚支援
⑦	・出産・育児に対する経済的支援 ・子育て環境の充実
⑧	・高齢者に対する生活援助 ・高齢者に対する介護・認知症予防



市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑨	障がいや国籍にかかわらず誰もが尊重され、社会参加できる地域づくり	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

基本戦略3 快適で安らぎのある暮らしを守る

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑩	上下水道による衛生的で良好な生活環境の確保	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑪	安全・安心な住まいづくりの推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑫	地域に合った公共交通手段の確保	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑬	ごみの適正処理と資源リサイクルの推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑭	緑と水が映えるまちの環境を保全	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

基本戦略4 暮らしの安全・安心を高める

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑮	自助・共助による災害への対応力のある地域づくり	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑯	火災や救急に対する体制強化の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

取組の例	
⑨	・障がいのある人への生活援助や就労支援 ・生活困窮者や引きこもり等に対する自立支援 ・外国人に対する生活支援

取組の例	
⑩	・水道水の安定供給 ・下水道等による生活排水対策
⑪	・市営住宅や民間住宅における住環境の向上 ・空き家等の適正管理
⑫	・公共交通を支える仕組みの構築 ・公共交通網の維持確保
⑬	・ごみの削減やごみ出しマナーの向上 ・資源リサイクルの推進
⑭	・自然環境や景観の保全 ・不法投棄や鳥獣被害の防止



取組の例	
⑮	・地域レベルでの防災力の向上 ・災害時の迅速な情報提供
⑯	・火災予防、応急手当の啓発と専門職員の育成 ・消防施設、設備及び消防団活動の充実



市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑰	災害に強いまちの基盤整備の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑱	防犯や交通安全の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

基本戦略5 未来に羽ばたく人材を育てる

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑲	子どもから青少年までの生きる力の育成	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑳	地域の特色ある教育活動の実施	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
㉑	自ら学び、行動する社会人の支援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

経営戦略1 まちに人・モノ・外貨を呼び込む

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
㉒	人や地域の活力を生む交流の促進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
㉓	販売重視型農業と6次産業化の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
㉔	稼げる観光振興の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

取組の例	
➡ ⑰	・道路や橋の安全確保 ・水道管の耐震化
➡ ⑱	・消費者トラブルの未然防止・拡大防止 ・交通事故防止の推進

取組の例	
➡ ⑲	・児童生徒の学習環境や通学環境の充実 ・児童生徒の学力向上 ・健全な青少年の育成
➡ ⑳	・家庭・地域社会・学校の連携 ・ふるさと教育やキャリア教育の推進
➡ ㉑	・市民の自発的な学習活動の促進 ・コモッセなどの文化・芸術拠点の機能の充実



取組の例	
➡ ㉒	・市外在住者による本市の地域課題解決に向けた活動の促進 ・地域間交流の充実 ・移住や定住の促進
➡ ㉓	・農畜産物の生産拡大や、加工により価値を高める取組みの推進 ・農畜産物の消費・販路の拡大
➡ ㉔	・本市の観光資源の魅力向上 ・インバウンド客の受入態勢づくり



市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
②⑤	スポーツの力によるまちの魅力向上	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
②⑥	次世代産業の創出	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

経営戦略2 「世界遺産のまち」をつくる

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
②⑦	文化財の保存	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
②⑧	ヘリテージ・ツーリズム（文化遺産の観光資源としての活用）の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

経営戦略3 まちの経営力を高める

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
②⑨	効率的な行財政運営の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③⑩	未来技術の導入の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③⑪	多様な主体（自治会や各種コミュニティ）の力で共に発展するまちづくりの推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③⑫	コンパクトなまちづくりの推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

取組の例	
②⑤	・スポーツと観光による交流人口の拡大 ・全国級の大会の開催や、選手及び役員の育成・確保
②⑥	・デジタル化への対応による本市への企業参入の促進 ・カーボンニュートラルの推進及び次世代エネルギー産業の育成

取組の例	
②⑦	・伝統芸能の後世への保存や担い手の育成 ・文化財の維持管理と市民意識の向上
②⑧	・市民の歴史文化に親しむ機会の創出 ・本市が有する文化遺産の海外発信



取組の例	
②⑨	・公共施設の効率的な維持管理 ・市民サービスを支えるための市税や税以外収入の確保
③⑩	・ICT（情報通信技術）の進展に適切に対応できる環境整備 ・市民サービス向上に向けた未来技術の導入
③⑪	・まちづくりに係る地域人材の育成・活動支援 ・お互いに支え合える自治会活動の充実
③⑫	・中心市街地の空き家等を利活用した居住人口の集積 ・まちなかエリアの交通アクセスと魅力の向上



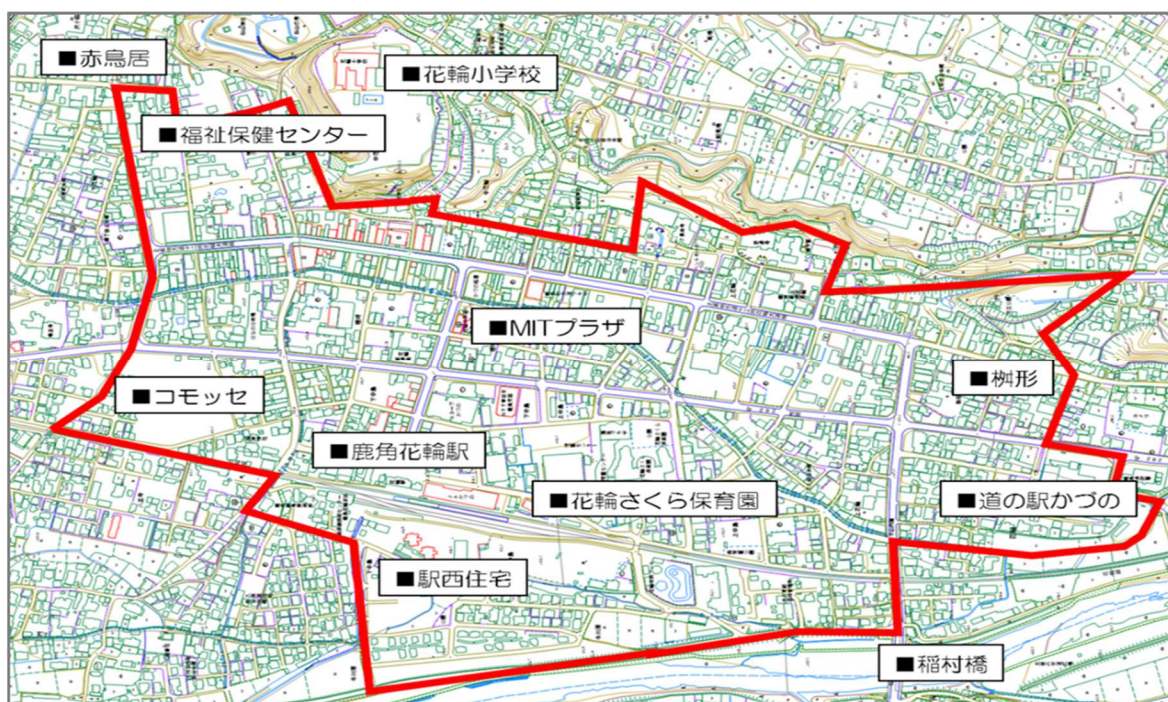
運動の実施状況についておたずねします

設問3 あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。

1. ほぼ毎日	→	主に行っている運動や活動： _____ 1回あたりの時間： 約 _____ 時間 (約 _____ ハ、
2. 週に1回程度	→	
3. 月に1回程度	→	
4. ほとんど行っていない	→	

中心市街地についておたずねします

ここでのいう中心市街地は、線で囲まれた以下の区域を指します。



設問4 あなたは、中心市街地の生活環境（住みごこちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

1. 満足している	不満と感じる理由 _____ _____ _____
2. やや満足している	
3. やや不満である	
4. 不満である	

学校の再編（統合など）についておたずねします

設問5 現在、市内には小学校が6校、中学校が4校あります。児童生徒数の減少により、学校の小規模化が進んでいます。児童・生徒にとって望ましい学校規模にするために学校を再編統合することについてどのようにお考えですか。

※国の指針では、学校の適正規模は、1学年あたり、小学校では2～3学級、中学校では4～6学級としています。

1. 統合した方がよい

2. 統合することもやむを得ない

3. 統合しない方がよい

そのように回答した理由

公共交通についておたずねします

設問6① バス（予約型乗合タクシーを含む）または鉄道（以下、「公共交通機関」といいます。）の利用頻度はどれくらいですか。

1. 週2回以上利用

2. 週1回くらい利用

3. 月に1回以上利用

4. 年に数回利用

5. 数年間利用したことがない

利用した目的は何ですか（複数回答可）

1. 通勤・通学

2. 通院

3. 買い物

4. その他

設問6② あなたは、普段の生活で、公共交通機関による移動に不便を感じていますか。

1. 感じる

2. 感じない

3. あまり利用しないのでわからない

不便を感じる理由

観光についておたずねします

設問 7 ① 本市では、持続可能な観光地づくりを進めようとしています。あなたは、本市で観光客などへおすすめしたい、提供する必要がある観光コンテンツは何だと思いますか。

1. 自然景観
2. 歴史・文化
3. 温泉
4. 食
5. 体験プログラム
6. イベント
7. その他

具体的にどのようなものが
必要ですか

設問 7 ② 本市の観光振興の取組みは、地域経済に寄与していると感じますか。

1. とても感じる
2. まあまあ感じる
3. あまり感じない
4. まったく感じない

そのように回答した理由

設問 7 ③ 本市の観光振興の取組みにより、本市の伝統や文化が守られ、生かされていると感じますか。

1. とても感じる
2. まあまあ感じる
3. あまり感じない
4. まったく感じない

そのように回答した理由

大館能代空港の利用についておたずねします

設問 8 ① 令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日にかけて、空港を利用しましたか。

1. はい	→	どの区間を利用しましたか（複数回答可） 1. 大館能代空港⇄羽田空港 2. 青森空港⇄羽田空港 3. 青森空港⇄新千歳空港 4. いわて花巻空港⇄伊丹空港 5. その他（ ）空港⇄（ ）空
2. いいえ		

設問 8 ② 大館能代空港の利用促進を目的に、市民の方を対象に運賃助成(R6:片道 5,000 円)をしています。あなたはこのことを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

カーボンニュートラルについておたずねします

設問 9 市では、令和 4 年 3 月に 2030 年までにカーボンニュートラル（※）を達成することを宣言しました。このことを知っていましたか。

※地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出量と森林による吸収量のバランスをとることを言います。

1. 知っていた
2. 知らなかった

コモッセの利用状況についておたずねします

設問 10 あなたは、昨年 1 年間にコモッセをどれくらい利用しましたか。

1. 毎週 2. 月 1 回くらい 3. 年 3 回くらい 4. 年 1 回 5. 利用しなかった	→	利用しなかった理由

芸術鑑賞についておたずねします

設問 11 あなたは、昨年 1 年間に市内外で文化芸術鑑賞（※）をしましたか。

※文化芸術とは、音楽、演劇、舞踊、映画、メディア（アニメーション、漫画）、美術館、展覧会、コモッセのギャラリー展示などを示します。

1. 鑑賞した	→	そのうちコモッセで何回鑑賞しましたか 1. 4 回以上 2. 1～3 回 3. なし
2. 鑑賞しなかった		

男女共同参画の状況についておたずねします

設問 12① 男女の地位は平等になっていると感じますか。

1. 男性の方が優遇されている 2. どちらかといえば男性の方が優遇されている 3. 平等である 4. どちらかといえば女性の方が優遇されている 5. 女性の方が優遇されている	そのように回答した理由
--	-------------

設問 12② 日常生活において、性別役割分担意識（※）を感じることはありますか。

※「男性は仕事」「女性は家事」をするものなどといった性別による固定的な考え方のことを言います。

1. 感じることもある	→	どのような場面で感じますか
2. 感じることはない		

旧十和田高等学校跡地の活用についておたずねします

現在、旧十和田高等学校は県が所有し、管理しています。県では、旧校舎が築46年を経過し老朽化が進んでいることに加え、校舎機能に特化した施設であることから民間への譲渡は望めないとし、基本的には解体する方針を示しています。

設問 13① 跡地活用について、あなたの考えに近いもの一つに○をつけてください。

1. 民間が取得し活用すべき	}	1. 2を選択した方は 設問 13②へ
2. 市が取得し活用すべき		
3. 市は取得すべきでない	}	3. 4. 5を選択した方は 設問 14へ
4. わからない		
5. その他 ()		

設問 13② 設問 13①で「1. 民間が取得し活用すべき」「2. 市が取得し活用すべき」を選択した方におたずねします。

あなたは活用の方向性として、どのようなものが望ましいと思いますか。
下の表から順に2つまで選び、□に番号を記入してください。

1 番目

2 番目

- | |
|--------------------------|
| 1. 企業誘致など、地元で働く人を増やす産業用地 |
| 2. 賑わいを生み出す観光や商業施設用地 |
| 3. 子どものための施設用地 |
| 4. 居住を進める住宅用地 |
| 5. 公共施設の集約化・複合化などの再配置用地 |
| 6. わからない |
| 7. その他 () |

まちの満足度についておたずねします

あなたが思うまちの満足度について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

設問 14① 産業（会社、店舗、農業など）は元気で活力があると思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 14② 心身ともに健康な暮らしができるまちだと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 14③ 生活環境が快適なまちだと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 14④ 安全で安心して暮らせるまちだと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 14⑤ 市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 14⑥ 文化遺産が豊富で誇れるまちであると思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 14⑦ 自分に必要な行政サービスが受けられていると思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 15 市の政策・事業・各種手続き等について知りたいことや、市に対する提言、今年度策定する第7次鹿角市総合計画後期基本計画に望むことがありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。紙による回答の場合は、同封の返信用封筒（切手不要）に本票を封入し、**6月13日（金）までに** ポストにご投函ください。

〈問い合わせ先〉 鹿角市総務部政策企画課総合戦略室 電話：30-0201

令和 7 年度
市民アンケート実施結果報告書

令和 7 年 8 月
鹿角市総務部政策企画課総合戦略室
電話：0186-30-0201
FAX：0186-30-1122
E-mail：kikaku@city.kazuno.lg.jp